男子バスケットボール部出雲北陵高等学校



出雲北陵高等学校男子バスケットボール部

九連覇の軌跡 —信頼と絆—

印発編発 九連覇の軌跡 刷行集行 (有) 出 出 平成十四年二月二十八日 土 江 明 文
 二 雲 北 陵 高 等 学 信頼と絆― 平田市東福町一九八四—一 社 校 校

県大会九連覇の偉業松江勢の厚き鉄壁を打ち破りし\*デルモピレーの勇士にも似た働きで華麗なるプレーと 九名の北陵のバスケの選手たちよ常勝松江勢に挑みし名声をほしいままの永い年月 北陵に永遠に刻まれん青春の思い出として君たちの勇姿と篤き友情とともにその熱き戦いぶりは 校長 水 谷 に

九人の熱き選手たちへ

헰

名の兵士戦ったギリシャ軍の中でも勇敢なスパルタ王レオニダスに率いられた三百戦ったギリシャ軍の中でも勇敢なスパルタ王レオニダスに率いられた三百、デルモピレーは第三回ペルシア戦争中の陸戦地の一つ。ペルシアの大軍と









三年間に思いを寄せて三年分の喜怒哀楽	想い出	、 then the test of test	息子と北陵バスケット	出雲北陵高校男子バスケットボール部卒業生に贈る言葉	追想と〝北陵スピリット〟に感謝	保護者寄稿	三年間のバスケット生活で	三年間を振り返って	三年間を振り返って	三年間の思い出	高校の三年間	三年間の思い出	三 年 間	高校生活で得た宝	出雲北陵高校で培った三年間	旅立ちの言葉	全国大会の記録	男子バスケットボール部の記録
	清	Î																
	水																	
藤 清	石	福	山	植	手		清	戸	福	石	藤	清	山	植	手			
原 水	本繁		下	野	島		水	田	岡	本	原	水	下	野	島			
夫 恵 季 美 子	ま 純 ゆみ 江	i 多 喜 夫	幸	淳	勇				裕	Æ	宏	慎	明	裕	幹			
子 子 · ·	み 江	. 夫 ·	美 ·		人		篤 •	満 ・	喜 •	彦 •	光 ·	平 ·	博 •	之 •	人			
66 65				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·														

編集を終えて 	歷代保護者会長	男子バスケットボール部住所録	指導者としての思いく雑感	去りゆく君たちへ	出会い	バスケ道中膝栗毛	すばらしい体験	九連覇の栄光に寄せて	私達の宝物	九連覇達成の主力選手の卒業に寄せて	卒業に寄せて	教職員から	<b>〝おめでとう〟そして 〝ありがとう〟</b>	卒業にあたり贈る言葉	北陵バスケットは宝物	をありがとう!!	北陵バスケット	大好きな北陵バスケット
		• • • •														植 野		
• • • •																眧	植 野	
			顧問							教頭	副校長					恵	頌	
		•	松	泉	篠	松	椿	永	中	坂	水		松	戸	手	(植野裕之の祖父母)	子(植野裕之の妹	植
		•	本		原	浦		見	村	本	谷		本	田	島	之の	野裕	野
			克	<b>`</b>	勝		英		宏	清	厚		ゆかり	育	由美子	祖父	之の	美重子
			己 •	則 ·	利 ·	謙 •	史 ·	廣 •	子 •	美 •	志 ·		р	美 •	子 ·	母	妹 ·	<u></u> 子 ·
: 94	: 93	: 92	: 87	: 85	: 83	: 82	: 81	: 80	: 79	: 75	: 73		: 71	: 71	: 70	: 68	: 68	: 67

九連覇の記録

平成十三年十一月	平成十三年 六月	(平成十三年 五月	平成十三年 四月	(平成十三年 二月	平成十三年 一月	平成十二年十一月	平成十二年 六月	平成十二年 四月	平成十二年 一月	平成十一年十一月
島根県高等学校バスケットボール選手権大会 優勝	島根県高等学校総合体育大会 優勝	中国高等学校バスケットボール選手権大会(準優勝)	中国高等学校バスケットボール選手権大会島根県予選 優勝	中国高等学校バスケットボール新人大会(優勝)	島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会 優勝	島根県高等学校バスケットボール選手権大会 優勝	島根県高等学校総合体育大会 優勝	中国高等学校バスケットボール選手権大会島根県予選 優勝	島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会 優勝	島根県高等学校バスケットボール選手権大会 優勝

◆ けず嫌いの性格が全身にみなぎる山下明博(大田一中卒)、静かな闘志を内に秘めチームを盛り上げた清水慎平(大田一中卒)、下級生か
● 卒)、冷静にボールを運び、つなぎに徹した石本正彦(岡見中卒)、思い切りの良いスリーポイントを得意とする戸田満(西郷中卒)、負
◆ 番果敢にプレーする植野裕之(湖南中卒)、スリーポイントの名手藤原宏光(久野中卒)、身長一九○㎝の名センターの福岡裕喜(西郷中 4
◆ それは、常に冷静で、部員をまとめ導くキャプテンの手島幹人(島大附属中卒)、どんなピンチを迎えても元気の良い声を出し、ここー
● 現三年生九名はこの九大会すべてに活躍、勝利に貢献しております。
◆ この二年に亘る九連覇には、丸亀明彦(大田一中卒)、和田孝典(多伎中卒)、松岡倫(浜田三中卒)などの先輩たちの活躍はもとより、
◆ にとって、特筆すべき活躍であります。
◆ 全国大会へのアベック出場、平成十一年の吹奏楽部の全国大会金賞受賞、合唱部の宝塚国際室内合唱コンクール奨励賞受賞とともに本校
◆ 三位入賞など女子柔道部の活躍、平成十年春の野球部の甲子園出場、平成十一年のなぎなた部のインターハイ優勝、吹奏楽部、合唱部の ◆
◆ ました。これは女子柔道部の平成七年からの県高校新人柔道大会三連覇、八、九年度の県総体二連覇を含む三名の全日本柔道大会個人第 ◆
◆ 手権島根県予選大会、県総体を二年間勝ち続け、昨年秋、県選手権大会三連覇を達成、実に県大会九連覇という輝かしい記録をうち立て
▲ 着実に実力をつけ、現在の三年生が一年生の秋の県選手権大会で初優勝を成し遂げました。以来、県高校新人大会(JOTK杯)、中国選 ↓
▶ 男子バスケットボール部は、平成三年現監督松本克己先生が女子バスケットボール部顧問を兼務することで創部されました。それから
◆ いました。実に、インターハイ出場二度を含む五度目の全国大会での悲願の勝利でありました。
● 戦突破を果たし、関係者はじめ全校が喜びに沸きました。中国大会での優勝、準優勝はありましたが全国大会ではいつも初戦で敗退して
◆ 戦し藤原・植野両選手のスリーポイントシュートをはじめとした全選手の活躍で10-71で勝ち、永年の念願でありました全国大会での初
▶ 昨年の暮れ、男子バスケットボール部は全国高校バスケットボール選抜優勝大会(ウインターカップ)で佐賀県代表の佐賀東高校と対
校長 水 谷 熟
男子バスケットボール部の県大会九連覇を称えて(出雲野から抜粋)
● ● ● ● ● ● ● ●

-1 -

者の一団、吠える様に声を張り上げ椅子を叩く者、知らない者でもあたり構わず互いに握手を繰り返す。	<b>*</b> -(  - <b>*</b>
優勝の瞬間にはいつも感動させられます。接戦であればなおさらです。抱き合って飛び跳ねる同級生、手をまえに突き上げて喜びを表	-( )- <b>-(</b> )-
たのです。生徒は半年の間に著しく成長していたのです。	·dl· - • • dl
壁を破っての県大会初の制覇です。この半年前の中国大会県予選大会では松江市内の四校とのリーグ戦で延長、接戦とはいえ全敗してい	l. <b>●</b> -([])
選手がミドルシュートを決めて59-58と逆転するという際どい勝利でした。準々決勝では松江高専を下しており、松江勢四校の厚い厚い	<b>●</b> -(  -•●
な劇的な大逆転勝利でした。前半を21-39の18点差で折り返し、終了直前の後半十九分五十九秒和田選手からの絶妙なパスを受けた福岡	►.()! <b></b> (
決勝戦は前半リードを許したもののやや楽に試合を進め逆転勝利で終わりましたが、準決勝の対松江商業戦はまさに薄氷を踏むよう	}·. <b>◆</b> -( }·
来あまり言葉も交わしてない県バスケットボール界の長老ともいうべき先生に祝福されて嬉しくなったことを思い出します。	<b>◆</b> -db- <b>◆</b>
た渡辺晴夫先生にいきなり「おめでとう!」と声をかけられ握手を求められました。時間を見ると後、三十四秒残していました。国体以	►.()):
一の逆転負けということも十分予想され、最後まで気が抜けない気持ちでいました。ゲーム終了のまじかに大田市から観戦に来ておられ	()· <b>•</b> ••()·
しました。その後本校は試合を優位に進め遂に県大会初優勝に輝いたのです。終始、点に開きがありましたが、勝負であるからには万が	•••(  ·••
リードされていましたが後半次第に点差を詰め後半六分過ぎ丸亀選手がオフェンスリバウンドを奪い、そのままシュートし逆転に成功	►-(  · ◆-
この県選手権大会は、会場が市内の出雲商業高校の体育館でしたので強豪松江東との決勝戦には応援に出かけました。前半38-40と	@- <b>◆</b> -@
感しました。事実、秋の県選手権大会で先輩に混じって出場し本校初の県大会優勝を成し遂げたのです。これが九連覇の幕開けでした。	• <b>•</b> •()•••
と読み取れました。また、実に皆な仲が良いのです。このとき、私は、次の大会ではこの生徒たちは「何かやってくれるに違いない」と予	►-() <b>●</b>
ないことをいつまでも少年のように無心に繰り返していました。その様子から、皆なバスケットボールが好きで好きでしょうがないのだ	<b>⊕-</b> •••₩
何回かするように決めてあるゲームのようでした。顔にいっぱい汗を流しながら、実になごやかに、楽しそうにゲームとも遊びともつか	·• <b>•</b> ••( )·• <b>•</b>
しょう。この生徒たちは次の試合に何か期するものがあるのだと私は直感しました。一方のシュートが成功すると相手側が腕立て伏せを	►.( )· ◆·
を伸ばしていたのにいつのまにか揃って頭を坊主にしていたことでした。先生の指示とも考えられず、生徒同士で話し合って決めたので	d) <b>. ⊕</b> -d)
では五名の一年生の男子バスケットボール部の生徒が二名と三名に分かれてゲームをしていました。まず驚いたのはこのあいだまで髪	•••( )·•
彼らが一年生であった平成十一年、県総体に破れた後の夏のある日のこと、体育館のステージ側でなぎなた部が練習しており、入口側	►.(  ·
この現三年生の部員には忘れられないシーンが思い出されます。	d) <b>. ⊕</b> -d)
らも慕われたチーム一の元気者清水篤(大田一中卒)の九名です。	• <b>•</b> ••(

▲ ② 近づく試合に向かって脇目も振らずまっしぐら。モチベーションは高く、持続させている。
● ① 決して時間が長いわけではないが、集中した練習をよくする。ゲームの研究も熱心である。
◆ 校チームが優勝できたのか、九連覇も成し遂げることができたのか素人ながら考えてみました。
▲ 野球部が春の甲子園出場を果たしたときもそうでしたが、十分恵まれているとはいえない本校の体育館で練習を積みながら、何故、本
➡ 手ぐらいでしょう。 そんな生徒をまとめ優勝まで導いたのは松本監督の手腕でありましょう。
◆ 九名の中には中学時代にバスケットボール部員でなかった生徒も多く、強豪チームのメンバーとして活躍した生徒は手島選手、植野選 ◆
▲ 気して副校長、教頭、選手の保護者、選手の生徒と握手を交わしながら勝利の味をかみしめていました。
● ケットボールに打ち込んでいましたから、この両校の対照的な文字を見た時、選手たちの気持ちを察し私も目頭が熱くなり何時になく上
◆ した。保護者の方から贈られた我が校の横断幕に書かれていた文字は「ひたむきな心」とあり、本当に選手たちはいつもひたむきにバス
▲ 本校側の応援席から一斉に歓声が上がりました。その瞬間相手側の応援席の横断幕の「常勝 松江東」の文字が私の目に飛び込んできま
◆ シュートが決まり逆転しました。その後、焦る相手のファールを誘いフリースローで加点し、結局52-47で接戦を制し初優勝しました。
▲ リースロー二本を決め47-47と同点にし、その直後、冷静な松本監督も小躍りして喜ぶような、藤原選手の値千金のスリーポイント
▲ ますが再逆転を許し、一進一退の攻防のあと膠着状態が続き、残り四分から試合が再び動き始めます。 残り一分三十秒で福岡選手がフ
▶ 手島選手の三ポイントシュートが決まり七点差に縮めて終えたのが反撃の始まりでした。後半に入るや本校の猛攻が続き数分で逆転し
↓ しまいました。福岡選手がやっと二つのシュートを決めましたが、その後も10~15点差のまま攻防を繰り返します。そして前半終了直前、
▲ 決勝戦では試合開始直後から、本校はどうしても波に乗れず十数本のシュートを打ちますが一本も入らず、始めの数分で12点差が開いて
▶ ウインターカップ大会出場のため新メンバーではあまり練習していませんでしたので、どの程度戦えるか不安でした。ことに松江東との
翌十二年の一月、県高校新人大会のときはとても感動的でした。選手権大会の選手の多くがそのまま残り出場していましたが、暮れの
● ち合えたことは幸運でした。
▶ 張感から一気に解き放たれ、歓喜に変わる至福のときを迎えるのです。私も、生徒の努力が実るこの瞬間に何度か居合わせ、喜びを分か
● の仕方、その場の雰囲気や勝利決定や審査結果発表の瞬間が迫る速さに違いがあるからでありましょうが、いずれにしてもその瞬間、緊
↓ で勝利したとき、吹奏楽や合唱コンクールの審査結果発表で「金賞ゴールド」と告げられたときと微妙に違っているのです。会場や応援 ↓
✔ 顔を見合わせ微笑み合う者などなどいろいろです。バスケットボールで勝利したときに見られるシーンや気持ちの高ぶりは、野球の試合 ↓

<b></b>	· •••••(  - ••	►.()!	()· <b>•</b> ••())·	<b>.</b>	►.())	()· <b>•</b> ••()·	<b>.</b>	•.()•. <b>•</b>	()· <b>•</b> ••()·	•••()·••	►.())·	¢⊢	. <b>.</b>	•-(  •	-d)- <b>-</b> -d)	••••••	•(  •	.()· <b>≁</b> -()	• <b>•</b> ••()•
でした。私も皆さんと出会い喜びを分かち合うことができたことを嬉しく思います。	皆さんの努力と功績を心から称え、祝福します。皆さんはいつ会っても気取るでもなく自然体で、溢れる若さと品位を感じさせる高校生	で育んだ友情を生涯大切にして欲しいと思います。皆さんのような素晴らしく充実した部活動、高校生活を過ごす人は稀でしょうから。	内とはいえ遠く離れた中学校から優勝経験のない本校に集まり、互いに励まし合って仲良く九連覇を成し遂げた九名の生徒たちは、本校	終わりに、これまで男子バスケットボール部にご支援頂きました保護者の皆様はじめ多くの方に感謝とお礼を申し上げます。また、県	思議です。	ムは普段からひき締まっているが、負けるチームには張りつめた空気が感じられず、どことなく服装も態度も緊張感に欠けているから不	いました。勝ち進んだ本校の選手と自分たちとどこが違うか観察させ学ばせたいのだ、ということでした。本当にそのとおりで勝つチー	ました。その高校の監督は、負けたものには負ける理由がある。勝つチームの選手は平素の行動、態度からして違っている、と話されて	次の日の試合のためホテルに残っていました。関東地区のある高校の選手は個人、団体とも初戦で負けたにもかかわらず全員が残ってい	こんなことがありました。昨年、熊本インターハイに出場した本校なぎなた部は目覚ましい活躍で個人、団体とも全員初日を勝ち進み、	体育系によらず心身とも強靭で健全な青年の育成を目的としているからです。	の試合を目指して毅然としている、校訓どおりの「剛い」生徒、「剛い」チームに育ててほしいと願っています。部活動の本旨は、文科系、	ているように思います。私は勝つにこしたことはないが勝たなくてもいい、常に勝利を目指し、勝って奢らず負けても卑屈にならず、次	良き指導者は、練習、試合のときはもとより、普段の生活にも目が行き届いているのです。勝つチームの生徒は普段の生活態度から違っ €	を上げるのは良い指導者によることは、口には出さないが誰もが知っていることです。私はこのことを「公然たる秘密」と呼んでいます。◆	などの理由があげられます。しかし、このような立派な生徒集団に仕立てるのが指導者、監督の力量でありましょう。部活動で良い戦績	⑤ 練習、試合のときはもとより、普段の生活態度に問題がない。勉学によく励む。	④ 手島キャプテンを中心にして上級生、下級生を問わず仲が良く、チーム内にトラブルがない。	③ スター気取りの選手は一人もおらず、勝負に対して純粋で邪心がなく、一生懸命、全力投球、ひたむきに突き進む。

-4 -

温 カ> いただいた人たちからく見守って

未たした時	些出を留	決勝進	出雲北陵高校が初めて県大会で決勝進出を果たした時	勤しましたが、出雲
上高校と転	任の矢・	て現在	三刀屋高校、松江工業高校、そして現在の矢上高校と転	私はその後、三刀目
			じました。	予感めいたものを感じました。
になるとの	可存在に	ダー 的	同時に、将来島根県バスケットボール界のリーダー的存在になるとの	同時に、将来島根県
く思ったと	たいへん嬉しく思	こと	に勤務することになったとの知らせがあり、た	に勤務することにな
雲北陵高校	ブ度出手	のり、ム	年ではないかと思います。松本先生から電話があり、今度出雲北陵高校	年ではないかと思い
から平成元	頃です	いた何	二度目の出会いは私が浜田高校に勤務していた頃ですから平成元	す。二度目の出会い
見えていま	にのを必	りした	六十一年に広島県の学校に転勤が決まりがっかりしたのを覚えていま	六十一年に広島県の
たが、昭和	いまし	して	判部を引っ張っていく人物であると密かに期待していましたが、	判部を引っ張ってい
れは将来審	で、これ	たの	ットボール協会の審判部長をしておりましたので、これは将来審	スケットボール協会
は島根県バ	1時私は	その当	先生は審判員としても非凡な才能の持ち主で、その当時私は島根県バ	先生は審判員として
ます。また、	ってい	に残っ	て部員と一緒になって汗を流している姿が印象に残っています。また、	て部員と一緒になっ
のコーチとし	ル部の	ボール	講師として生徒に国語を教える傍らバスケットボール部	講師として生徒に国
<b>晨林高校の</b>	は松江豊	先生は	和五十九年だったと記憶しています。その当時先生は松江農林高校の	和五十九年だったと
一年後の昭	わって	が終わ	さて、私と松本先生の出会いは、くにびき国体が終わって二年後の	さて、私と松本先生
		す。	トボール部を代表して心からお祝い申し上げます。	トボール部を代表し
理バスケッ	い いっぽう いっぽう いっぽう いっぽう いっぽう いっぽう いっぽう いっぽ	島根圓	表すとともに学校関係者、また保護者の皆様に島根県高体連バ	表すとともに学校関
いし敬意を	刀にた	ぬ努力	が発刊されるにあたり、選手諸君のたゆまぬ努力にたいし	念誌が発刊されるに
儿連覇の記	い大会	部県内	出雲北陵高校男子バスケットボール部県内大会九連覇	この度、出雲北陵
修	塚	飯	県高体連バスケットボール部専門委員長高体連バスケットボール部専門委員長	島根県高体連バスケットボー中国高体連バスケットボー
				-
部	レ	ボ	念誌発刊に寄せて  雲北陵高校男子バスケットボ	記念誌発刊

進を期待します。

中国大会をも制した今、つぎなる目標、全国制覇に向けてさらなる精	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信	るほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし	成功するためには、運に恵まれること、根気よくやって、鈍いと思われ	がたい努力があったものと思います。「運根鈍」という言葉があります。	ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くし	苦労があったと思います。また、選手諸君も様々なプレッシャーと闘い	く覚えています。文字どおり0からの出発でその間、人には言えないご	本先生がポツリと「優勝するまで十年かかった」と言われたのを印象深	校バスケットボール選手権大会であったと思いますが、試合終了後松	ところで、島根県大会で初めて頂点に立ったのは三年前の島根県高	めいたものを感じました。	の文単朴ヨカ吾しくも私カ豊晳をしていた朴江コ第言杉で「作カ伊絵
		て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信るほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信るほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし成功するためには、運に恵まれること、根気よくやって、鈍いと思われ	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信るほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしが乃するためには、運に恵まれること、根気よくやって、鈍いと思われがたい努力があったものと思います。「運根鈍」という言葉があります。	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信成功するためには、運に恵まれること、根気よくやって、鈍いと思われががら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くし	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くし苦労があったと思います。「運根鈍」という言葉があります。苦労があったと思います。また、選手諸君も様々なプレッシャーと闘い	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くして、があったと思います。また、選手諸君も様々なプレッシャーと闘いさす。こと、根気よくやって、鈍いと思われるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そして、知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信だがら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信をころで、島根県大会で初めて頂点に立ったのは三年前の島根県高 したい努力があったものと思います。「運根鈍」という言葉があります。 ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くし ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くし るほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし るほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そし	て人知れずの努力の積み重ねが九連覇という結果につながったと確信たい努力があったものと思います。「運根鈍」という言葉がありたと思います。文字どおり0からの出発でその間、人には言えないごで見えています。文字どおり0からの出発でその間、人には言えないごで、「「「人」であったと思います。「正根鈍」という言葉があります。 ながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしながら九連覇という偉業を成し遂げた陰には、これまた筆舌に尽くしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしるほどに粘り強いことが必要である。良き師、良き友と巡り会い、そしのたい努力があったものと思います。

— 5 —

三田尻女子学校	山口県バスケットボール協会理事長
/]	١
朼	2

徹

大会九連覇、おめでとうございます。

校関係者に感謝。

されるよう期待します。 根県レベルアップのため、中国地方のレベルアップのために粉骨砕身大きな財産を得られたことと思います。これからも、チームのため、島「勝ちたい」という思いの強さがみんなのレベルアップにつながり、



山口県高体連バスケットボール部専門委員長 西 村

修

ようとしております。 早いもので平成三年、松本先生に初めてお会いしてから10年が過ぎ

松本先生やスタッフのご努力に、ほんとうに頭が下がる思いです。ようなひたむきでさわやかなチームを作られたことは驚きとともに、れからわずかの間にチームを進化させ今年のように、皆の見本となるっ年生に山田哲也君がおりましてチームとしても能力はあるんですが一平成八年に初めて三戸杯(防府)に参加をしていただきました。当時、

持っております。一で忍耐強く、生徒の人間的成長を見届けられる人というイメージを一で忍耐強く、生徒の人間的成長を見届けられる人というイメージを松本先生はバスケットの技術指導はもちろん、本当に生徒のことが第国体や中国大会、また三戸杯などで一緒に、飲むことも多いのですが

います。 います。 この度は誠におめでとうござ ご活躍とご発展をお祈りし今後とも、切磋琢磨しながら末永くお付き 最後になりますが、出雲北陵高校バスケットボール部のますますの

出雲北陵高校の諸君に感謝の意をこめて	
鳥取県高体連バスケットボール部専門委員長 三 島	覚
私達米子工業高校のチームが、初めて出雲北陵高校の体育館を訪わ	ど 訪 わ
し、義臣 ノムム室と出血してくれと耳が卩象こもつにいたけが、か思いたのは、一昨年の秋だったでしょうか。その時、坊主頭の一人の少年が	「年が
ば、あれが手島君だったんですね。当時は、監督の松本先生とは以前かれ食言し、私えるとなど、、オブニアモシーをすっています。	以前見か
ら懇意にさせてもらっていたものの、君達のチームに対しては、そのか	ての松
本先生が率いている強いチームという程度の知識しかなく、よくも厚	くも厚
かましくその本拠地に乗り込んでいったもんだな、と思います。そんか	てんた
私も、今では、こうして君達一人一人の名前も人柄も思い浮かべること	ること
ができるようになりました。それぐらい君達とは、数多くの練習試合を	武合を
こなし、或いは中国大会等で素敵な出会いをしてきたということです	こです
ね。私自身は、よくぞこんな弱小チームに付き合っていただけたな、と	な、と
思っているのですが、君達はどんな出会いの時でも、笑顔で私達を迎え	ど迎え
てくれ、礼儀正しく挨拶をし、そして常に全力のプレーを見せてくれま	くれま
した。そんな君達の姿は、いつも私達の目標でした。	
私は米子工業高校に赴任して五年目になりますが、今年ようやく金	やく全
国高校選抜優勝大会に初出場を遂げることができました。私達のチー	のチー
ムの選手は、そんなに能力があるわけではありません。もちろん、監督	、 監 枢
が優秀なわけでもありません。しかし、そんなチームでも優勝し、全国	、 全 国
大会に出場できたことには、根拠があります。それは、個々の選手同士	同士
更には選手と監督同士に、こうして出会えた「偶然」を大切にし、それ	、それ

持ちは、忘れてほしくないと思います。そして、三年生は、今度はその う。それらの人達や松本先生の今日に至るまでのご苦労に感謝する気 のです。君達のチームにも、きっとそういった人達の存在があるでしょ られているという気持ち(伝統)が、私達に大きな勇気を与えてくれた が今日の私達のチームの基礎を作ったのであり、そうした人達に支え ボール生活を全うして巣立っていった先輩たちの存在です。彼等こそ 負け続けても卒業のその日まで練習に参加し、三年間のバスケット た要因は、これだけではありません。忘れてはならないのは、これまで ちでいっぱいです 課題を目標として常に示してくれました。本当に、君達には感謝の気持 ことを信じさせてくれると同時に、チームが向上するための具体的な くプロセス(練習)があったからです。そして、ここで重要なのは、そ を必然的な絆に育んでいこうとする気持ち(信頼)と、それを育んでい のチームが理想とするものであり、私達の夢が実現可能なものである の練習の機会に君達の存在があったということです。君達の姿は、私達 ただ、私達のチームが今年こうして大きな躍進を遂げることができ

ル部に栄光あれ! 拙文でなかなか意を尽くしませんが、松本先生をはじめ君達に対す 聞いております。今後は、良き先輩として、後輩たちのために素敵な

「道」を切り開いていってほしいと思います。

が、それぞれの人がそれぞれの道でバスケットボールを続けられると

先輩として巣立っていくことになります。進路は人様々ではあります

— 7 —

広島県少年男子監督 広陵高校 滝 口 貴 夫
この度、出雲北陵高等学校バスケットボール部の記念誌発刊にあた
り心よりお慶び申し上げます。
三年間の間に開催されたすべての県大会に優勝されたということは、
まさしくひとつの時代を確立されたということであると思いますし、
ナームを率いる松本先生とは公私ともに長年おつきあいをさせていた
たいております関係上、喜んでペンをとらせていただきました。
全国大会に出場経験の無かった私の学校へわざわざチームを連れて
こられ、「お互い県大会優勝に向けて頑張りましょう!」と鎬を削り
あっていたことがついこの間のように思われます。出雲市から広島県
の安佐南区沼田町 (広陵高校所在地)までは優に三時間以上かかる道の
りであるにもかかわらず、多いときは年に三回~五回も来ていただい
たことがありました。
松本先生はバスケットボールに対する情熱と、チームに寄せる思い
人れがとても強い先生でありますし、私自身もそうであるように、クラ
フ活動を取りまく環境が学校の先生方や保護者の方々の理解と協力に
よって整っている中での県大会九連覇であったのではないかと思いま
<b>Ja</b> °
おかげさまで私のチームも平成十二年は創部以来初優勝という記念
すべき年になり、インターハイに出場させていただくことができまし
た。その時も松本先生をはじめ島根県の先生方にはたくさんの御祝い
の言葉をいただき、自分の周りの環境に改めて感謝したことを覚えて
おります。
島根県は三年後にインターハイを控えておられます。北陵高校のバ

とになりました。このとき感じた事は、粘り強いディフェンスからのブ ます。 というものを感じたことを憶えています。 た。このとき前半は27対27。しかしながら我チームは、すでに、いっぱ り、恩返しができたかなと思います。 ていただきました。そのおかげもあり青陵も中国大会出場の常連とな けられたのではないでしょうか スケット部は間違いなくインターハイの開催に向けて勢いと弾みをつ 春を迎えました。かなりの自信を持って望んだ春季県大会で無念の三 いの状態であったと思います。結局49対52で敗れ、北陵が優勝というこ 最初であり、このときは、運も手伝って決勝で対戦することができまし まだ弱小であった青陵高校と幾度となく練習試合をしていただき鍛え ませんでしたが、今後とも末永くおつきあいの程、宜しくお願いいたし レイク、正確なシュートカ、どれをとっても、点差に見られない力の差 それから、我チームもスタミナの強化、ディフェンスの徹底をはかり さて、北陵との対戦は、平成十二年二月岡山で行われた中国新人が 私事ばかり書かせていただき、記念誌発刊の御祝いの言葉にはなり 松本先生とは、松江招待試合等を通じて、いろいろとお世話になり、 岡山県少年男子監督 出雲北陵高校との戦いを振り返って 岡山県立倉敷青陵高校 岸 本 哲

也

— 8 —

で、そして中国大会で県大会の苦い思いをはらすべく、何とか決勝に駒
 で、そして中国大会で県大会の苦い思いを
 はらすべく、何とか決勝に駒
 は、その後ともよろしくお願いをいたします。
 います。今後ともよろしくお願いをいたします。





卒業を祝して
松江高等専門学校 森山 恭 行島根県バスケットボール協会 副理事長 森山 恭 行
ご卒業おめでとうございます。バスケットボールに明け暮れた三年
間を振り返り、満足感に浸っていることと思います。成長を見守った人
間として少しだけお祝いの言葉を書かせて頂きます。お付き合いくだ
さい。
「学生達の成長に自分の関わりを実感できた時の喜びは教師冥利に
尽きる」。これは、私がHP上で紹介している指導観の中の一文です。松
本先生もきっと同様ではないかと思っています。皆さんが入学する前
に二人で能代工業を訪ねました。内容というよりは、妥協の許されない、
張り詰めた雰囲気の練習に圧倒されたことを憶えています。そのイ
メージを懐に大切にしながら、みんなの個性を育ててこられたのだと
想像しています。「ひたむきな心」それを表現することは容易なことで
はありません。
皆さんが一年生の時から回りの人にそう感じ取らせていたと言えば、
嘘になります。しかし、遠く親元を離れての下宿生活、或は早朝に家を
出発しての登校、そして三年間、色気を捨て(?)頭を短くしながらバ
スケットボールに懸けた。そんな姿が皆から好感を持たれるチームに
なっていったのだと思います。長い間、北陵高校を見てきましたが、最
も「ひたむきな心」の応援旗に相応しいチームであったように思います。
手島君、植野君、藤原君の三名とは三年前の。MATECHバスケット
ボール教室〟からの付き合いです。三名とも「スキあれば手を抜く」が
見え見えの中学三年生でした(笑)。手島君はきっと気づいていないで

きません。気持ちがなければ、動こうとしなければ何も進みません。皆で練習することがありました。ベスケットボールのプレーでも学年くのはとても嬉しいことでした。バスケットボールのプレーでも学年くのはとても嬉しいことでした。バスケットボールのプレーでも学年さるようになっていました。そして、チーム全員に腕を振って精一杯走ろうとする姿が見えるようになってきました。 山に登る道を知っていても、登ろうとしない時間の様子は目を疑いてい追で練習することがありました。その不られない時間の様子は目を疑いたようとする姿が見えるようになってきました。

山に登る道を知っていても、登ろうとしないものには登ることはで 当ません。気持ちがなければ、動こうとしなければ何も進みません。皆 きません。気持ちがなければ、動こうとしなければ何も進みません。皆 ざれでしょうが、北陵高校のバスケットボール部を卒業したことを誇 りとして、益々成長してくれることを期待します。私は常々教え子に うっていることがあります。「どんな関わりでもいい、必要な人間にな れ」ということです。シュートの上手い選手だけではチームは成立しま せん。後輩の悩みを聞いてやる部員、誰よりも熱心にモップを掛ける部 見がいてこそ良いチームができます。地域の中で、会社の中で、家族の 員がいてこそ良いチームができます。地域の中で、会社の中で、家族 ます。

-10-

島根県少年男子監督 情報科学高校 真 田 直 幸
二月四日の夜、「記念の文集を作るので、何か書いてください。」と松
本克己先生から依頼の電話をいただき、軽い気持ちで「いいよ」と返事
をしましたが、電話を切ってから「何を書こうか」はたと困ってしまい
ました。そこで、古い資料を見ていたら、私が監督をした三年間に、出
雲北陵高等学校から多くの選手が島根選抜に入り、活躍をしてくれま
した。それら選手のことと、特に印象深い今年度の選手について書かせ
てもらおうと考えました。
私が監督を引き受けたのは、平成十一年度からですが、平成十一年十
一月十四日に島根県選手権大会で宿敵松江東高校を破り全国大会の切
符を手にし、出雲北陵時代が幕を開けたと記憶しています。
平成十一年度は、和田孝典君と丸亀明彦君の二名選抜しました。丸亀
君のジャンプ力と走力は素晴らしく、活躍してくれました。また和田君
は3Pシュータのように思われていましたが、彼のデフェンス力は
チームでも1、2を争うもので、相手のエースを押さえてくれました。
結果として本大会には出場できませんでしたが、各自が特色を出した
良いチームでした。
平成十二年度は、松岡倫君をキャプテンにし、児玉吉治君、手島幹人
君、藤原宏光君、福岡裕喜君、植野裕之君の六名を選抜しました。松岡
君は、腰痛に悩まされながら真面目にプレーをし、他の選手を引っ張っ
てくれました。児玉君は、真摯なプレー態度で松本先生からの信頼が厚
かった選手です。二年生の四名は来年に向けて、良い経験を積んだと思

た。MVPです。

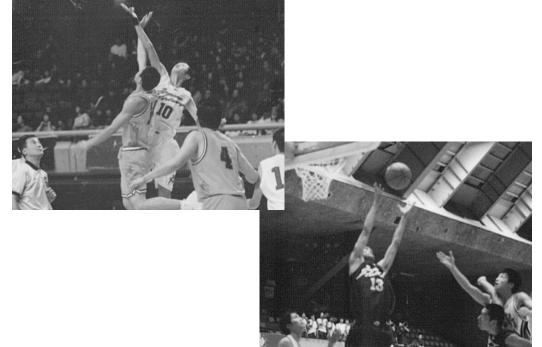
素晴らしい

・"出逢い"

しかったことが今でも思い出されます。 力が実り、第50回国民体育大会に出場することができました。本当に嬉 抜チームと接することができ大きな自信になったと思います。その努 文が出るほどでした。 く溶け込み、良いチームになっていきました。多くの県外遠征、練習会 彦君と戸田満君の六名を選抜しました。このチームに他校の生徒も良 早くスタートが切れました。選抜チームには、上記四名に加え、石本正 吉工業高校(大阪)を招請することができ、選抜チームとして例年より 抜チームは出雲北陵高等学校の選手を中心に、足りない所を他のチー に敗れはしましたが、準優勝に輝きました。この結果から、今年度の選 この年の中国高校新人大会で倉敷青陵高校(岡山)を破り、初優勝を果 の多さはチーム二位、一位は・・・、よくチームをまとめてくれまし かに違っていたことを今でも鮮明に覚えています。逆に選手の方から を経験しましたが、熊本インターハイ前と後では選手の目つきが明ら いかと思っています。 で、選手・監督が全国での活躍を身近なものとして感じ始めたのではな バスケットボール関係者にとっても弾みのつく快挙でした。この優勝 たされました。この優勝は、チームにとってはもちろんのこと、島根県 ない年であり、結果として本大会には出場できませんでした。しかし、 ムから補っていくことを決めました。中国大会の活躍で七月には東住 います。この年は、中国ブロックからは一チームしか本大会に出場でき 「全国大会に出るからユニフォームを新調してくれ」とスタッフに注 特に八月の大阪遠征・神戸遠征、九月の福岡遠征では、多くの強豪選 手島幹人君、バスから降りる時は最後、落ち着いているようで忘れ物 平成十三年度に入り、五月の中国高校選手権で倉敷青陵高校 (岡山)

-11 -

頑張れ! いつも、どこでも応援しているぞ
*出逢い*をいつも私は大切にしたい これからも多くの*出逢い*を
*出逢い<本当に素晴らしい そこから 夢・友情・信頼が生まれる
最後に自分の今の気持ちを送って終わりたいと思います。
に対する感謝の気持ちを後輩の選手諸君に伝えてあげてください。
選手諸君も、多くの先輩の上に大輪の花が咲いたことを忘れず、先輩
のおかげだと思います。御苦労様でした。
慈しみ、育てられた監督・コーチ・学校関係者、もちろん保護者の方々
以上六名の選手には本当に感謝の気持ちで一杯です。これも、三年間
の信頼を置いていました。
を盛り上げてくれました。また、ゾーンがきたら満という3Pには全幅
戸田 満君、サイズには恵まれませんが、ガッツあるプレーでチーム
したプレーをしてくれました。
会はあまり多くはありませんでしたが、出場した時には、ベンチの期待
石本正彦君、常に一生懸命な姿は全選手の模範となる所です。出場機
りました。
えてくれました。文句を言わず、黙々とプレーする姿は本当に頼りにな
福岡裕喜君、二年生から選抜チームの大黒柱として良く屋台骨を支
作でした。
い芸術品だと思います。そのタッチを大切に!貴男との漫才は最高傑
藤原宏光君、君の手から放たれるシュートは、多分誰にも真似できな
愛嬌ですか?
シュート、力強いドライブは惚れ惚れします。ただ、時々やるポカはご
植野裕之君、膝の痛みに耐え頑張ってくれました。軸のぶれない



hen

共に島根でがんばりたい
島根県バスケットボール協会理事 三刀屋高校 藤本 数 章
時の味趣はで見なかが可能にはいた時をきました。広島から帰る三月、当平成の幕明けと共に広島から帰ってきました。広島から帰る三月、当
どちらにいようがバスケットをがんばるならそれでいい」と思いもよ
らない言葉をかけていただき、広島に『恩返し』するためにも島根でが
んばらなければとお互いに強く思っていました。
発足当時の出雲北陵は、選手も小粒で3Pシュートのチーム。入れら
れても入れ返す、とことん点にこだわる、全員が3Pシューター(つま
りセンター不在)でした。よく練習試合もし、お互いに松江のチームと
肩を並べたいという気持ちでやってきました。だから、松本先生が初優
勝された時は、我がことのように喜んだことを今でもよく覚えていま
す。
そして、その初優勝からなんと破竹の九大会連続優勝、中国大会も制
覇し名実ともに島根の大監督の仲間入りとなられました。初優勝から
三年間負けなしの驚異的なチームとして成長されました。大会を重ね
るごとに「優勝は絶対!」「負けは許されない!」という周囲の声が、松
本先生に一番のプレッシャーになっていたかもしれません。いや、それ
は私のちっぽけな考えで、松本先生の指導の目はすでに『全国』へ向い
ており、それが連続優勝の原動力となっていたのではないでしょうか。
この九大会の間、印象に残っている試合は、私にとってはやはり平成
十二年六月の県高校総体です。優勝候補筆頭の出雲北陵に対して、久々
に高さとオフェンス力をもった我がチーム三刀屋との対戦。一進一退

平戎十三年十二月、出雲北凌高校いよいよ三年間の集大戎ウィンでまさかのバイオレーションが起き、労せず三刀屋ボールとなりましたが、駅に到着したのはやはり出雲北陵でした。『たかが一秒、された。二十一秒で負けはないと確信し、残り七秒でドライブシュートでゴール示しましたが中に切り込めず、ガードが苦し紛れのシュートでゴールテしましたが、駅に到着したのはやはり出雲北陵でした。『たかが一秒、されびまさかのバイオレーションが起き、労せず三刀屋ボールとなりましの攻防が続き、残り二十一秒4~4000点のはやはり出雲北陵マローイン。ここ

平成十三年十二月、出雲北陵高校いよいよ三年間の集大成ウィン平成十三年十二月、出雲北陵高校いよいよう。 本当の恩返しであり大いに期待したいところです。 本当の恩返しであり大いに期待したいところです。

思います。 て協力があったからこそできたことだけは決して忘れないで欲しいとのご家族、奥様・智枝ちゃん・勇亮君・紗英ちゃんの我慢と辛抱、そし最後に松本先生、選手たちに言いたいのですが、この偉業も松本先生

りますが、この間の先生は、多くの事を犠牲にされても、その思 として、こちらの思いは絶対に伝わるという信念で指導して だろう選手が集まると聞き三年後がとても楽しみだと、期待を 集めることは難しい事で、可能性があるとすれば私学の本校し と感じました。島根県の事情ではなかなか広範囲の生徒たちを すが、それぞれがいいものを持っており集まれば面白いだろう 業生にかけた思いを知る一人として、稚拙ではありますが、卒 67 の強さ、大きさには頭の下がる思いでした。私も指導者の一人 きかったと思いますが、このチームにかける松本先生の気持ち きました。数々の遠征、 長ぶりを他チームの監督として、同県の応援団として見続けて 念ながら全国大会は見る事はできませんでしたが、そこでの成 込めて思った記憶があります。その後、県内大会、中国大会、残 い志を持つかどうかだろうと思っていました。その後軸となる かなく、後は松本先生の熱意が伝わるかどうか、生徒たちが高 ました。その時点では、進路については未定であったと思いま 業生へのはなむけの言葉と併せて、書かせていただくことにし のに寄稿することがふさわしいか迷いましたが、松本先生の卒 大会の役員としてほとんどの生徒のプレーを見ることができ ました。 を信じて頑張っておられたのだと思います。また、選手達 卒業生を知ったのは、彼らが中学三年生の夏になります。県 突然の原稿依頼に、関係のない私が記念文集という貴重なも 勝ち続けることは難しいされど得るものは多い 島根県バスケットボール協会理事 合宿等、保護者の方のバックアップも大 川本高校 永 瀬 嘉 之 も お

> ち続けることは本当に大変なことであり、価値のある事だと思 です。一つの大会に優勝を目指すのは全チームができますが、 います。それを為し得た事を大きな自信とし、 べて打倒を目標として向かってきます。そういう状態の中で勝 連続で優勝できるのは一チームだけであり、残りのチームはす 年間も負けずに勝ち続けると言うことは本当にたいへんな 負けなかったと言う経験はありますが、このチームのように二 う快挙、いや当然の結果につながったのでしょう。私も一年 いと思います。 リアして行けたのだと思います 先生の思いと自分たちの努力を信じることで数々の そしてその結果が、県内九大会連続優勝、 最後に、卒業生に言葉を贈ります。これからの道はそれぞれ 中国大会優勝 誇りに思って 試 練 とい をク 1) 事 間

で行ってほしいと思います。 で行ってほしいと思います。 これからの道はそれぞれ そしてってしいと思います。 これからの道はそれぞれ

松本先生、保護者の皆様、本当にご苦労さまでした。

男子バスケ ッ  $\mathbf{F}$ ボ ル部の 軌跡

主を中いこと十次名の男子が希望していたが、産策客が一人ちいないとえると、どうしても快く引き受ける気になれなかった。当時の一、二年正直なところ困惑していた。狭い体育館の環境や女子部との兼務を考生徒会から、男子部を創部して欲しいという要望が出された時、私は一、創生期(一九九〇~一九九二)	していたものが間違していたものが間違で、
がつくとこ手生まましん (Relianon And Alternation Fleip Fl	敗戦であった。しかた。あの時の感動は、
とであろう。 の強豪といわれるチームに成長することなど誰も予想し得なかったこ来、記録的な大敗をする状態が続き、この時、本校男子部が数年後、県野(171些)ら数名になっていた。初参加の平成三年十一月の県選手権以野(171世)、143、143、143、143、143、143、143、143、143、143	展開となり、一年の4ろのベスト8を懸けてシーに スト8を懸けてシーに していた。
なっていく。 その後、男子を創部して二年目に初めて経験者が入部してくる。土江	新人戦を迎える。ここれ、お人戦を迎える。ここれ、それ、たちに進出した。
成四年四月のことだ。楫(16世)松原(17世)安部(15世)である。彼らが公式戦、負け続けの本校に三名の志を持った選手が入学してくる。平二、躍進期(一九九三~一九九五)	楽は男子初の国体選(18)棟)を加えたメン(18)棟)を加えたメン(18)棟)を加えたメン

本籍した三年間に本校男子バスケットボール部は、大きな躍進を遂げて三つまざななりで、たったのは彼らが間違いではなかったと確信させてくれた初優勝であった三刀屋を準決勝で破り、初優勝を果たした。70㎝に満たない平均身長で、切り換えの速いバスケットを目指し、ひたすら走満たない平均身長で、切り換えの速いバスケットを目指し、ひたすら走た。あの時の感動は、今でも脳裏にはっきりと刻まれている。 た。あの時の感動は、今でも脳裏にはっきりと刻まれている。 たっかであった三刀屋を準決勝で破り、初優勝を果たした。70㎝に たっあの時の感動は、今でも脳裏にはっきりと刻まれている。

顧問

松

本

克

5

-戎五年の県選手権から5大会連続ベスト8を保ち平戎七年妻の県へには恵まれなかったが、シュート力のある選手が揃っていた。Rとなり、一年の伏兵吉田(IZ畑)の劇的な3ポイントシュートが決いたる浜田を突き放した。次の松江東には惜敗したものの連続してるを懸けてシード校、浜田と対戦した。同点のまま延長へ突入するこの年の県新人戦は男子部史上、もっとも厳しいゲームであった。べ

は男子初の国体選手として広島国体へ出場した。 位置し、常に上位をうかがえるチームへと成長していった。また、柳20球)を加えたメンバーで堂々のベスト4であった。翌年もベスト8る。柳楽・屏風・吉田・板垣 (昭独) ら二年生を中心に一年生の濱田人戦を迎える。ここでシード校の松江商を破り、初のベスト4に進出平成五年の県選手権から5大会連続ベスト8を保ち平成七年度の県

-15-

三、充実期(一九九六~一九九九)
平成八年度の新入部員は個性の強い選手が多く、歴代のチームとは
違う、オフェンス能力の高い自由奔放なバスケットを展開した、山田
(181本)大田 (1815) 三代 (1615) 藤本 (1825年)大野 (1715) らである。 彼ら
が二年の県新人戦、第一シード名門松江工を破る金星を挙げ、決勝で松
江東に破れたものの準優勝に輝いた。この年、中国大会へ二度出場する
などベスト4の座を譲ることはなかった。一年後輩に、福代 (18)50)丸
亀(17世)和田(15皴)らがおり、黄金期を迎えた感があった。 なかでも
山田・大田・藤本・福代は平成十年度の神奈川国体に出場し、島根県
の高校バスケットの一翼を担う存在として注目されるチームとなって
いった。
その後、平成十年度には松岡(182年)、翌平成十一年度には藤原
(13))、福岡(19))、植野(13))、手島(18))といった有望選手が入
部し、県制覇、全国大会出場にむけ、機が熟した感があった平成十一年
十一月の県選手権大会で、県制覇の夢は現実のものとなる。準々決勝で
優勝候補の筆頭とみられていた松江高専を破り、 準決勝では前半18点
のビハインドを負いながら松江商に逆転勝ちを収めた。続く決勝では、
これまで大きな壁であった松江東を持ち前の運動量とオフェンスカで
撃破し、悲願の県制覇を成し遂げた。九年間の多くの先輩たちの精進の
上に咲いた大輪の花であった。
全国選抜大会(ウインターカップ,99)では強豪の北陸(福井)を相手
に善戦し、全国に島根に出雲北陵ありと思わせるゲームであった。三年
生の和田・丸亀を中心に故障から復帰した松岡らが精神的な支えとな
り、能力の高い一年生が、迷うことなく力を発揮し、本校らしい質の高

べてのチームから目標とされるチームへと成長したのである。し、二大会連続優勝を成し遂げた。十年の歳月をへて、本校は県内のす続く、平成十二年一月JOTK杯兼新人大会でも決勝で松江東を下いバスケットを展開することができた。

### 出逢いの時

平成十一年の四月が彼らの入学であった。教室で保護者を交えて初のメンバーで中国制覇し、全国三回戦進出を果たすことであった。それのことなどを話した。その上で、彼らにどんなモチベーションを持ってのことなどを話した。その上で、彼らにどんなモチベーションを持ってのことなどを話した。その上で、彼らにどんなモチベーションを持ってに向けての努力が彼らとともに始まった瞬間であった。

の時から始まった。の時から始まった。

## 高一四月 東校との死闘

ることだ。ともすればチームが崩壊することにもなるからだ。六月の県入学後すぐゲームに一年生を起用することは指導者として勇気のい

総体までは、三年生主体で頑張るつもりで私自身考えていた。主将山下	く、準々決
高志(ロクカカ)は、個性の強い連中を、しっかりまとめだしてきていたし、	できなく
丸亀・和田らを中心に、少しずつバランスの良いチームに成長しつつ	た。案の定
あった。山下は新チームになってしばらくして「キャプテンをする自信	退場、ゲー
がありません。」と訴えたこともあった。しかし、次第に彼の顔は主将	3ポイン
らしく変貌していった。そして、それに比例するかのようにガードとし	その後
ての自信も持ち始めていた。ところが、ひとつの悲しい出来事があっ	ゲームと
た。四月に入ってすぐの練習の際、センター福代が膝の靭帯損傷という	た。しかし
負傷を負ってしまったのだ。 中国一次予選まであと10日あまりのこと	むという
だ。この事態に急遽、藤原と福岡をゲームに使うことを決断した。浜田	ド陣は引
での一次予選は、苦戦の連続であった。当時の出雲工、松江南はどちら	るから大
もベスト4に近い力を持ったチームであり、どららのゲームも前半ビ	チームを
ハインドを追い、かろうじて逃げ切るという綱渡りのゲームだった。そ	奇跡の逆
の中で、福岡が何も分からぬまま、リバウンドやルーズボールに転がる	丸亀・
姿を見て「これは伸びるかも知れんぞ。」という期待感を持った。	カップ予測
翌週は上位5チームによる決勝リーグ、ここで全勝優勝を果たした	陣。この時
松江東と再延長という死闘を演じる。最後は残り3秒でファールから	た。このゲ
のフリースローを決められ破れたものの、本校の球史に残る素晴らし	であった。
いゲームであった。ゲームの後の福岡の涙に、絶対勝たせてやりたいと	続く準決議
いう思いが、その時の私の胸を熱くさせていた。	インドを
松岡の戦線離脱	夢がつい
続く6月の県総体は、上手く行けば狙えるなという思いで益田へ出	でこのま
発した。ところがここでまたアクシデントがチームを襲う。松岡の腰痛	すべてや
が悪化し、立てない状態になってしまい即入院となった。それだけでな	め、後半の

その後のミーティングで、弘は不覚こも戻してしまった。三年最後のポイントシュートを一本も決められない状態であった。「場、ゲームも3点差で破れ、またも苦い経験となった。和田は得意の「。案の定、ミスの多いゲームとなり、福岡は後半早々に5ファールで「、準々決勝の松江西戦の前に和田が過呼吸となり、フルに使うことが

ームを思いやる彼らの心に私はひどく感動していた。ームを思いやる彼らの心に私はひどく感動していた。その障は引退した。私が「残らんのか。」と聞くと、「先生、手島たちがいというものだった。この大会で山下、菅森(เ応神)、伊藤(เ焧嘯)のガーームとしてはあまりにもかわいそうだという思いが私をそうさせその後のミーティングで、私は不覚にも涙してしまった。三年最後の

# 跡の逆転~初の全国大会へ~

、後半の終了間際に接戦のゲームとなって、残り数秒で和田から福岡、次半の旅行であった。スタートは、和田・丸亀・手島・藤原・福岡の布に、この時の優勝候補は松江高専。準々決勝で当たることになっていた。この時の優勝候補は松江高専。準々決勝で当たることになっていた。この時の優勝候補は松江高専。準々決勝で当たることになっていた。この時の優勝候補は松江高専。準々決勝で当たることになっていた。このまま負けても仕方ないかとも思ったが、最後までやれることはた。このまま負けても仕方ないかとも思ったが、最後までやれることはた。このまま負けても仕方ないかとも思ったが、最後までやれることは、しかし、たってみようと思いたった。これが思った以上に松江商を苦し、後半の終了間際に接戦のゲームとなって、残り数秒で和田から福岡の布パップ予選であった。人参しのかに、和田・丸亀・手島・藤原・福岡の布パップ予選であった。人参し、

-17-

ヘパスが渡り、ディフェンスを背負ったままターンシュート。これが見
事決まり、劇的な逆転勝利となった。まさに奇跡としかいいようのない
この結末を、誰が予想しただろうか。新しい時代の幕を開けた、最も心
に残る壮絶なゲームであった。決勝では丸亀の活躍で松江東に圧勝し、
念顔の県制覇、全国大会出場を果たす。九連覇の始まりであった。
成長過渡期のロースコアゲーム
彼らが一年生の県新人から、二年生の県選手権まですべての大会を
制したものの、相次ぐ接戦に、応援に来ていただいた方はいつもハラハ
ラしておられたことだろう。県新人は決勝で松江東に終了間際に逆転
し52-47の勝利。四月の決勝リーグでは松江西を延長で退けたものの、
最終ゲームの松江東戦は60-62で破れ、3勝1敗での優勝。総体でも
準々決勝三刀屋に延長57-52、準決勝59-57松江東、決勝の松江西戦も
前半7点のビハインドをひっくり返し70-56というゲームであった。
また県選手権に至っても決勝66-53松江西というスコアを見ると、
ロースコアの接戦が多く、発展途上であったことを感じさせる。それで
も接戦を制していった彼らの強さが、これからの成長を予感させてい
た。
北陵バスケットの開花
二年時の県新人はすべて10点ゲームで終えたい。という目標で彼ら
とともに挑んだ。それは実現できなかったが、決勝の松江北戦で13-51
という記録的な大勝を収める。トランジションの速さ、シンプルな動
き、力強さ、そういったものが如実に現れた初めてのゲームであったよ
うに思う。目指していたのはこういうバスケットだ、というものをコー
トの上で見事に表現してくれたと思っている。

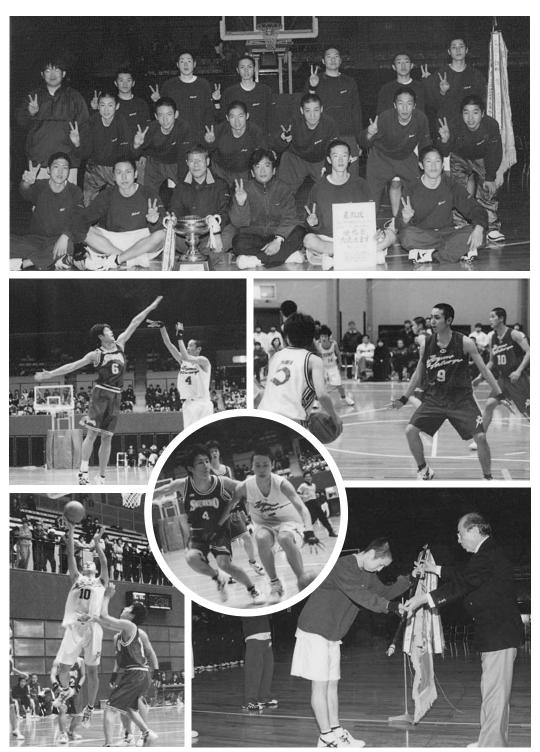
るために出発する。

### 中国大会の思い出

あり、近年の島根の不振を払拭する活躍であった。(岡山)を倒しての堂々の優勝であった。松江工以来五年ぶりの快挙で残っている。水島工(岡山)・下松工(山口)・岡山工(岡山)・倉敷青陵一年の冬、二年の春、二年冬、三年の春の四度出場したわけだが、な

あった。 一年の冬は広陵(広島)、二年の春は広島商(広島)と広島勢に上位 のた。 のずれも接戦となったが、持ち前の運動量はどこにも負けなかった。 決勝では倉敷青陵に破れたものの、二大会連続の決勝進出は見事で た。 決勝では倉敷青陵に破れたものの、二大会連続の決勝進出は見事で た。 決勝では倉敷青陵に破れたものの、二大会連続の決勝進出は見事で た。 決勝では倉敷青陵に破れたものの、二大会連続の決勝進出は見事で た。 決勝では倉敷青陵に破れたものの、二大会連続の決勝進出は見事で た。 ういずれも接戦となったが、 持ち前の運動量はどこにも負けなかっ た。 ういずれも接戦となったが、 持ち前の運動量はどこにも負けなかっ た。 ういずれも接戦となったが、 持ち前の運動量はどこにも負けなかっ た。 ういずれも接戦となったが、 持ち前の運動量はどこにも負けなかっ た。 ういずれも接戦となったが、 うち前の運動量はどこにも負けなかっ

-18-



平成12年度中国高等学校バスケットボール新人大会

#### 平成13年度第45回中国高等学校バスケットボール選手権大会



全国での勝利
初出場となったウィンターカップ'99、名門北陸 (福井) とのゲーム
は、想像していた以上の選手の頑張りで、手ごたえを感じることができ
た。後半、和田のシュートが大当たりし、互角の展開であったことは、
選手達の大きな自信になったと思う。初出場ということで、私も含め何
もわからぬまま無我夢中で臨んだ全国大会であったが、私自身、この時
全国の勝利もそんなに遠くないと感じていた。ところが、その思いは甘
かったことをその後、身に染みて教えられることになる。
彼らが二年時の岐阜インターハイ甲府西 (山梨) 戦、ウィンターカッ
プ東和大昌平(埼玉)戦と、関東の個人技と運動量に押し切られるゲー
ムで破れ去った。東和大昌平がベスト8に入ったことが救いであった
が、もっとよいゲームができると思っていた思いは見事にはずれた。
この全国での苦い思いを抱いて臨んだ三年時の熊本インターハイ。
今度こそはという切なる思いは、私以上に選手達には強かったと思う。
相手は地元代表の熊本国府(熊本)。以前広島の全関西で対戦し、前半
リードしながら、福岡の退場もあり、逆転負けを喫していた。九州特有
のスピードと、運動量を売りにしたサイズはないが力強いチームだっ
た。タイプとしては、我チームが得意とする相手とは言えなかったが、
互角のゲームができると思った。ところが、前半の立ち上がり、相手の
速さを封じることができず、ブレイクを連発される展開となり、手島、
福岡にもファールがかさむ最悪の出だしとなってしまった。後半藤原、
植野の奮闘で追い付きかけるが、福岡の退場を機に失速、よもやの大敗
となった。
その夜のミーティングつらさは、今も忘れることができない。彼らが

たように感じた。また、宮城国体においても福井を相手に終了間際まで 城国体出場を決める原動力となった。国体出場により、秋田・千葉と おうと 君たちを、破れたとしても誰が責めることができるのかと。明日を信じ あった。私がその時彼らに伝えたかったのは、今までの練習は常に全国 信を失いかけていた我チームのメンバーにとっては大きな財産となっ きた。中でも、主力がいなかったとは言え秋田選抜に勝ったことは、自 いった全国トップレベルのチームとの練習ゲームも経験することがで た。そのチームの和が、苦しんだものの見事中国ブロックを突破し、宮 突破して宮城国体に出場するんだという目標に向かって一丸となれ ぐ国体の練習となった。このことがある意味で彼らに気分転換になっ て、みんなを信じて、残った最後のチャンス、ウィンターカップに向か ベルにあるだろうということと、そこまで思い込んでゲームに臨んだ を見据えてやってきたものであり、精神的にも技術的にも十分全国レ ることの苦しさと、その指導者が私であることの喜びの二つが胸中を き、今の子供にはない人の心のわかる集団なのだと感じ、その中に今い たように思う。松江工の斉藤をはじめ今年の県選抜は気心の知れたメ 去来していた。今までの練習で全国で勝てるのか?。最も辛辣な発言も ンバーが多く、北陵というチームを離れ、島根のために中国ブロックを 八月のインターハイが終了して島根に帰ると、三年生の内六名はす

自信を失い、声援してくださる人たち申し訳ないとの言葉を聞いたと

そしてラストチャンスのウィンターカップを迎える。県予選では、全

たりにいるのかということが理解できたと思う。

勝敗が分からぬ好ゲームを展開するなど、改めて自分たちが今どのあ

-21-

チームも大型で走れるチームであった。197㎝、155㎝といったセンターを
が常にベスト8~16に入る関西でも指折りの名門校である。 今年の
育英(兵庫)戦にかかることになった。兵庫育英、全国ベスト4はない
入学時に彼らと目標にした、全国ベスト16の夢の成就は、明日の兵庫
きた。私以上に選手達が安堵したであろうことは表情からみてとれた
北陵にあり、結局全メンバー出場の103-71で初勝利を収めることがで
て終えられた段階で勝負はほぼ手中にしたと思った。その後も流れけ
間で彼らはきちんと立て直してくれ、第一ピリオド終了時にリード」
ある、そう感じた。タイムアウトをとりゲームを止めた。この一分間の
五分で10点のビハインドを負った。 やはり最後ということで気負いが
なコートだった。ゲームは立ち上がり私の予想どおり動きが硬く、開始
試合当日は快晴であった。初めての駒沢体育館、思ったよりもきれい
もそう感じたことだろう。
ゲーム前にみることができた。普段通りやれば勝てる。おそらく選手達
使ってなんとか佐賀東の県予選決勝のテープを東京へ送ってもらい
を感じたからだ。一年生の190のセンターも不気味だった。あらゆる手を
インターハイでの戦いぶりみると、熊本国府に似た、九州のバスケット
まった。必ずしも組みやすしと考えていなかった。サイズはないものの
全国大会最後のウィンターカップの組合せは、佐賀東(佐賀)と沖
い成熟したチームとなっていた。
とを県予選では私に考えさせてくれるほど、ベンチの采配などいらた
チーム。自分はこれ以上のチームを今後創れるんだろうか…そんなこ
チームになったな、全国に出るにふさわしい心を持った高校生らしい
てのゲームを10点という危なげない戦いぶりであった。 本当に良い

していた。



-22-

男子バスケ ッ  $\mathbf{F}$ ボ ル部の 記 铈

平成三年度	一回戦 本校47-23松江北	
1991年4月	1992年10月31日	
出雲北陵高等学校バスケットボール部 (男子)を	○出雲地区秋季バスケットボール大会(於・出雲高) 1	T
創部	一回戦 本校35-10大 社 〇	$\mathcal{L}$
顧問 松本克己 坂本清美	本校48-85横 田	
岸(義久、三成幸雄、小池康治、笠原庸司、	1992年11月13~14日	T
守山晃司、日野雅博、岩崎(剛、馬庭一剛、	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会  ○	$\mathcal{Q}$
市山統史が入部 (部員数 9名)	(於・大社高)	
1992年4月	一回戦 本校51-10松江南	
渡辺茂一、土江政範、太田英司、中尾友和、	1993年1月15~16日	
山西(学、太田進一、田中秀幸、森山真樹、	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会	
椿 聡史、杉原久夫、西尾 徹、渡辺 剛、	兼第26回島根県高等学校」OTK杯争奪バスケッ 1	Ŧ
浜田綱一、松下 稔が入部 (部員数 20名)	<ul><li>トボール大会</li><li>(於・松江東高)</li><li>〇</li></ul>	Ý
1992年4月18~19日	一回戦 本校23-82江 津	
	1993年4月	
平成四年度	楫 宏明、松原信也、安部広志、水 浩二、	
○中国高等学校バスケットボール選手権大会	高橋幹夫、大野紀昭、小島一宏、杉原健二、	T
県一次予選 (於・浜田商高)	今若安緒、曽田典幸が入部 (部員数 19名) 〇	$\mathcal{L}$
一回戦 本校18-13松江工	平成五年度	
1992年5月2~3日	1993年4月17日	
〇出雲地区春季バスケットボール大会(於 ・平田高)	○中国高等学校バスケットボール選手権大会	
一回戦 本校25-56出雲高	<b>県一次予選</b> (於・島根県立体育館)	
1992年6月5~7日	一回戦 本校56-75津和野	
○第29回島根県高等学校総合体育大会	1993年5月1~2日	
(於・益田市民体育館)	〇出雲地区春季バスケットボール大会 (於・出雲商)	

993 三回戦 本校 59 59 3 1 6 月 4 59	5月4~6日 本校33-40大 社
)第29回島根県	)第29回島根県高等学校総合体育大会(於・松江東高)
一回戦	本校68-73松江農林
993年10月30	10 月 30 ~ 31 日
)出雲地区秋季バスケ	<b>季バスケットボール大会</b> (於・平田高)
二回戦	本校67 - 57出雲商
準決勝	本校70-56三刀屋
決勝	本校67-40出雲工
鳫	優勝(初優勝)
993年11月19~20	11月19 ~20日
)島根県高等学校バス	†学校バスケットボール選手権大会
	(於・出雲高)
一回戦	本校64-42益田工
二回戦	本校69-93浜 田
· 993年12月	上月
)第25回中国	)第25回中国商業高校バスケットボール親善大会
	(於・岩国、岩国工高)
一回戦	本校58-74岩 国(山口)
	本校52-77玉野光南(岡山)
	) 59 60 岩国工
	本杉60-59西 京(山口)

<ul> <li>○島根県高等学校ゴOTK杯争奪バスケットボール選手権大会 東第27回島根県高等学校ゴOTK杯争奪バスケットボール 東第27回島根県高等学校ゴOTK杯争奪バスケットボール 大会 町間 松本克己、尾添善行となる 極間 松本克己、尾添善行となる 板垣健次、屛風洋輔、松原祐二、山崎貴康、 吉田大介、渡部 勝、遠藤洋平、竹内正樹、 吉田大介、渡部 勝、遠藤洋平、竹内正樹、 (部員数 12名)</li> <li>平成六年度 県一次予選(於・島根県立体育館、浜田、浜田商高)</li> <li>一回戦 本校33−75大 田</li> </ul>	出ボ     商 裏 東     ト     西 産 松 体       雪     ー     ボ     江 育       雪     ー     市 大       商     選     シ     ジ	本校66-60倉敷商(岡山) 1994年1月4~16日 0島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会 (於・松江市総合体育館、松江工、松江南、松江農林高 一回戦 本校72-23邇 摩 二回戦 本校72-23邇 摩 二回戦 本校72-23邇 摩 二回戦 本校72-23邇 摩 二回戦 本校72-23邇 摩 二回戦 本校72-70松江東 ベスト8 第200日 1995年4月 1995年4
	本本 校校 7174	柳楽信也、日野直樹、金海豎
	)) 1 第3位 0	健、多久和
県立体育館、浜田、浜田商高) 、トオーノ遅手権大会	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会1999年4年1月18~20日	
75 大田	(於・出雲高、出雲商高、大社高)	平成七年度
本校49-74松江北	一回戦 本校76-71松江西	1995年4月15~16日
< 5月1日	二回戦 本校14-75大 田	○中国高等学校バスケットボール選手権大会
出雲地区春季バスケットボール大会(於・出雲商高)	準々決勝 本校91-10浜田商	県一次予選(於・島根県立体育館、浜田、
-52大東	ベスト8	一回戦 本校14-21松江農林
- 60 出 雲	1994年12月28~29日	二回戦 本校49-53松江北
- 86三刀屋	○第26回中国商業高校バスケットボール親善大会	1995年5月6~7日
	(於・広島商、観音、進徳女、修道高)	○出雲地区春季バスケットボール大会(於・出雲高)
	一回戦 本校71-88崇 徳(広島)	一回戦 本校4-5大

-24-

本校3-93松江工		
本校38-66松江商	第4位	優勝 2連覇
県二次予選 (於・松江工高)	三位決 本校61-64松江東	決 勝 本校75-61出 雲
○中国高等学校バスケットボール選手権大会	準決勝 本校45-57松江北	準決勝 本校8-58三刀屋
1996年4月20~21日	三回戦 本校61-59松江商	二回戦 本校79-58出雲工
決勝リーグ進出	二回戦 本校77-25益田工	〇出雲地区秋季バスケットボール大会 (於・出雲高)
ブロック決 本校12-76安来	一回戦 本校74-33松江高専	1995年11月
二回戦 本校2-6三刀屋	<b>ボール大会</b> (於・松江工、松江北、松江東高)	ボール大会が開催される
一回戦 本校4-46松江高専	兼第29回島根県高等学校JOTK杯争奪バスケット	第1回出雲北陵高等学校杯中学校バスケット
県一次予選(於・島根県立体育館、浜田、浜田商高)	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会	1995年7月9日
○中国高等学校バスケットボール選手権大会	1996年1月12~14日	ニア選抜のメンバーに選ばれる。
1996年4月13~14日	第3位	柳楽彰史、濱田健が高校1・2年島根県ジュ
本校59-73下関中央工(山口)	準決勝 本校24-55広 陵	男子)にノミネートされる。
本校60-39萩(山口)	二回戦 本校74-28浜田商	楫 宏明が国体選手選考会 (バスケット少年
本校4-52豊 浦(山口)	一回戦 本校77-33岡山東商	1995年7月
本校3-3大分舞鶴(大分)	(於・出雲北陵、出雲高)	ベスト8
予選リーグ(於・下関)	○第27回中国商業高校バスケットボール親善大会	準々決勝 本校44-88松江工
○西日本モルテンカップ	1995年12月28~29日	二回戦 本校3-59出雲商
1996年4月2~3日	ベスト8	一回戦 本校76-33邇 摩
平成八年度	準々決勝 本校47-60松江東	(於・益田市民体育館、益田、益田産、明誠高)
	二回戦 本校78-59出雲商	○第33回島根県高等学校総合体育大会
(部員数 15名)	一回戦 本校22-52大 田	1995年6月2~4日
山田哲也、吉田正昭、宮本武志が入部	(於・出雲、出雲商高)	優勝
藤本 章、大田武士、三代和久、大野晃祐、	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会	決 勝 本校77-51三刀屋
1996年4月	1995年11月17~19日	準決勝 本校80-74出 雲(延長)

15 名)

第5位	二回戦 本校34-57佐賀西(佐賀)	一回戦 本校58-70岩 国(山口)	1位リーグトーナメント進出	二回戦 本校73-60下 松(山口) 〇	一回戦 本校97-76下関工(山口)    1	(於・防府、防府スポーツセンター)	○第23回三戸杯争奪バスケットボール大会	1996年8月11~12日	ベスト8	準々決勝 本校6-72松江商	二回戦 本校69-54出雲工 〇	一回戦 本校85-64津和野 1	(於・松江北、松江東、松江工高)	○第34回島根県高等学校総合体育大会	1996年5月31~6月2日	優勝 3連覇	決勝本校95-62出雲	準決勝 本校64-54出雲工	一回戦 本校11-47平 田	○出雲地区春季バスケットボール大会(於・出雲高)	1996年4月27~28日	第5位 中国大会出場ならず	本校56-57松江東	本校37-67松江北
決勝本校11-61出雲	準決勝 本校74-56三刀屋	二回戦 本校78-48大 社	一回戦 本校99-36大 東	○出雲地区新人バスケットボール大会(於・出雲商)	1996年12月14~15日	ベスト8	準々決勝 本校47-76松江北	二回戦 本校84-64出雲商	一回戦 本校56-55安 来	(於・大社、出雲、出雲商高)	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会	1996年11月15~17日	一回戦 島根選抜53-89秋 田(能代工)	(於・広島県 日新製鉄呉体育館)	)第51回国民体育大会バスケットボール大会	1996年10月13~16日	国民体育大会出場(対戦成績 2勝1敗)	三回戦 島根選抜47-67山口選抜	二回戦 島根選抜64-49岡山選抜	一回戦 島根選抜75-51鳥取選抜	柳楽彰史、山田哲也が島根県代表として出場	予選大会 (於・鳥取市)	○国民体育大会バスケットボール中国ブロック	1996年8月24~25日
		二回戦 本校77-80岩 国(山口)	一回戦 本校67-59下 松(山口)	○朝日杯 (於・萩)	1997年3月23日	ベスト8	準々決勝 本校8-5松江東	二回戦 本校99-41江 津	一回戦 本校05-46津和野	(於・松江商、松江北、松江東、松江市総合体育館)	トボール大会	兼第30回島根県高等学校JOTK杯争奪バスケッ	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会	1997年1月10~12日	第3位	準決勝 本校46-58広 陵(広島)	一回戦 本校59-36瀬戸内(広島)	決勝トーナメント進出	二回戦 本校3-78高 水(山口)	一回戦 本校4-54岡山操山(岡山)	(於・岡山東商、岡山南、岡山朝日、岡山操山高)	○第28回中国商業高校バスケットボール親善大会	1996年12月28~29日	優勝 4連覇

1997年3月31日	1997年8月1~2日	決 勝 本校12-45出雲
〇松江招待大会(於・松江南高)	○第1回三次サマーカップ	優勝 6連覇
一回戦 本校51-41関西学院(兵庫)	(於・三次カルチャーセンター)	1997年12月28~29日
二回戦 本校36-63泉 北(大阪)	一回戦 本校96-35三 次(広島)	○第29回中国商業高校バスケットボール親善大会
1997年4月	二回戦 本校75-64矢 上	(於・岩国)
菅森悠介、山下高志、松原直樹、久村 慧、	準決勝 本校56-43広 陵(広島)	一回戦 本校99-81田布施農(山口)
丸亀明彦、福代悠介、伊藤宏平、和田孝典、	決勝本校48-57城北(広島)	二回戦 本校67-59西 京(山口)
安井啓介が入部 (部員数 19名)	準優勝	準決勝(本校75-52倉敷商(岡山)
	1997年8月9~10日	決 勝 本校51-37岩国工(山口)
平成九年度	○第24回三戸杯争奪バスケットボール大会	優勝
1997年4月12~13日	(於・防府商高)	1998年1月13~15日
○中国高等学校バスケットボール選手権大会	一回戦 本校9-68防府商(山口)	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会
県一次予選(於・島根県立体育館、浜田、浜田商高)	二回戦 本校77-74岩 国(山口)	兼第31回島根県高等学校JOTK杯争奪バスケッ
一回戦 本校60-63隠 岐	本校47-33山 口(山口)	トボール大会
1997年4月26~27日	本校39-72下松工(山口)	(於・松江商、松江北、松江東、松江市総合体育館)
○出雲地区春季バスケットボール大会 (於・平田)	1997年11月14~16日	一回戦 本校66-20情報科学
二回戦 本校79-36平 田	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会	二回戦 本校11-39津和野
準決勝 本校73-44大 社	(於・大社、出雲、出雲商高)	三回戦 本校9-68松江工
決 勝 本校89-46出 雲	一回戦 本校9-5松江西	準決勝 本校60-3松江南
優勝 5連覇	二回戦 本校11-71大 東	決 勝 本校44-72松江東
1997年5月30~6月2日	準々決勝(本校55-85松江東)	準優勝
○第35回島根県高等学校総合体育大会	ベスト8	1998年2月7~8日
(於・出雲商、出雲、大社高)	1997年12月8日	○中国高等学校バスケットボール新人大会
一回戦 本校94-39川 本	○出雲地区新人バスケットボール大会(於・出雲高)	(於・松江工高)
二回戦 本校53-60松江東	スーパーシード	一回戦 本校67-70岩 国(山口)

決 勝 本校8-61水島工(岡山)	準決勝 本校90-55坂出商(香川) 〇	二回戦 本校70-68高野山(京都)    1	一回戦 本校88-83姫路工大付(兵庫)	○ 倉敷 CDP (於・岡山)	1998年4月4~5日	平成十年度	1		松岡(倫、福島陽二が入部)(部員数22名)	飯塚裕之、高橋雅明、大野友裕、児玉吉治、	顧問 松本克己、陶山浩史となる	1998年4月	予選リーグ敗退	二回戦 本校3-54関西学院(兵庫)	一回戦 本校61-37松江西	○松江招待大会 (於・松江工高) 1	1998年3月28~31日	予選リーグ敗退	四回戦 本校53-91福岡第一(福岡)	三回戦 本校67-62鳥 羽(京都)	二回戦 本校52-85金沢市工(石川)	一回戦 本校67-96北中城(沖縄)    〇	○京都招待大会 (於・京都府立体育館) 1	1000 21 12 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21
(於・岡山)	○中国高等学校バスケットボール選手権大会	1998年5月9~10日	優勝 7連覇	決 勝 本校84-46三刀屋	準決勝 本校86-54出 雲	○出雲地区春季バスケットボール大会 (於・出雲商)	1998年4月25~26日	中国大会出場	第3位(対戦成績 2勝2敗)	本校51-62松江東	本校67-66松江北	本校77-49松江南	本校57-62松江商	県二次予選 (於・松江工高)	○中国高等学校バスケットボール選手権	1998年4月18~19日	決勝リーグ進出	ブロック決 本校103-67益田工	二回戦 本校83-52益田産	一回戦 本校11-41隠岐水産	県一次予選(於・島根県立体育館、浜田、浜田商高)	○中国高等学校バスケットボール選手権大会	1998年4月11~12日	優朋
一回戦 本校99-51松江ABC	〇全日本総合県予選 (於・玉湯町立体育館)	1998年9月12~13日	本校46-65下松工(山口)	本校56-39八幡西(福岡)	二回戦 本校68-77長崎西(長崎)	一回戦 本校73-64早 鞆(山口)	(於・防府、防府スポーツセンター)	○第25回三戸杯争奪バスケットボール大会	1998年8月8日~9日	第2位	決 勝 本校50-93広島皆実(広島)	準決勝(本校90-79広島商(広島)	二回戦 本校81-42益田工	一回戦 本校19-33向 原(広島)	○第2回三次サマーカップ(於・三次カルチャーセンター)	1998年8月2~3日	第3位	準決勝 本校2-71松江商	準々決勝 本校61-59松江工	三回戦 本校89-78矢 上	二回戦 本校12-67平 田	○第36回島根県高等学校総合体育大会(於・金城)	1998年6月5~7日	一回単二本校6一7位島楻実(位島)

二回戦 本校60-83島根大学	二回戦 本校77-57西 京(山口)	一回戦 本校33-41浜 田
1998年10月25日	準決勝 本校22-59瀬戸内(広島)	二回戦 本校3~4泉 北(大阪)
○国民体育大会(於・神奈川)	決勝本校65-60広陵(広島)	準々決勝(本校47-45関西学院(兵庫)
山田哲也、大田武士、藤本 章、福代悠介が参加	優勝	準決勝 本校54-70大阪教育大附天王寺(大阪)
一回戦 島根選抜62-19神奈川選抜	1999年1月15~17日	第3位
1998年11月13~15日	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会	1999年4月
○島根県高等学校バスケットボール選手権大会	兼第32回島根県高等学校」OTK杯争奪バスケッ	顧問 松本克己、泉 一則となる
(於・大社、出雲、出雲商高)	トボール大会	清水 篤、戸田 満、石本正彦、植野裕之、
二回戦 本校04-48明 誠	(於・松江商、松江北、松江東、松江市総合体育館)	清水慎平、藤原宏光、山下明博、手島幹人、
三回戦 本校09-73矢 上	二回戦 本校91-47益 田	福岡裕喜が入部 (部員数 22名)
準々決勝 本校11-73浜 田	三回戦 本校70-54出雲工	
準決勝 本校49-63松江商	準々決勝(本校85-49隠)岐	平成十一年度
第3位	準決勝 本校60-72松江東	1999年4月3~4日
1998年12月12~13日	三位決 本校2-66松江高專	〇 <b>西日本モルテンカップ</b> (於・下関)
〇出雲地区新人バスケットボール大会(於 ・出雲商)	第4位	本校59-95宗 像(福岡)
決勝リーグ	1999年3月28~29日	本校38-72山 口(山口)
本校4-55出 雲	○朝日杯 (於・萩)	本校58-59築上中部(福岡)
本校4-63三刀屋	予選リーグ	本校50-40岩 国(山口)
本校69-61出雲工	本校69-67早 鞆(山口)	1999年4月18~19日
(対戦成績 3勝0敗)	本校56-50岩国工(山口)	○中国高等学校バスケットボール選手権大会
優勝 8連覇	決勝リーグ	県一次予選(於・島根県立体育館、浜田、金城)
1998年12月29日~30日	本校40-62基 町(広島)	二回戦 本校70-58出雲工
○第30回中国商業高校バスケットボール親善大会	本校47-50岩 国(山口) 延長	ブロック決 本校85-71松江南
(於・広島)	1999年3月30~31日	決勝リーグ進出
一回戦 本校84-49玉野光南(岡山)	〇 <b>松江招待大会</b> (於・松江工高)	

-29-

1999年4月24~25日	本校75-81佐賀西(佐賀) 延長	1999年12月22~28日
○中国高等学校バスケットボール選手権	本校52-45長崎西(長崎)	○全国選抜ウィンターカップ99(於・東京体育館)
<b>県二次予選</b> (於・松江工高)	本校4-55西 京(山口)	一回戦 本校77-93北 陸(福井)
本校4-81松江西	1999年8月24~25日	1999年12月27~28日
本校83-87松江商	○国民体育大会中国ブロック予選(於・松江東高)	○第31回中国商業高校バスケットボール親善大会
本校75-77松江東(再延長)	丸亀明彦、和田孝典が参加	(於・松江工高体育館他)
本校60-63松江高專(延長)	島根選抜2-8広島選抜	予選トーナメント
第5位(対戦成績 0勝4敗)	島根選抜78-57鳥取選抜	本校11-57市立広商(広島)
1999年6月4~5日	島根選抜55-62岡山選抜	本校11-71高 水(山口)
○第37回島根県高等学校総合体育大会(於・益田)	島根選抜2-6山口選抜	決勝リーグ
一回戦 本校11-48浜田商	第3位(2勝2敗)	本校48-49瀬戸内(広島)
二回戦 本校18-69益田工	熊本国体出場ならず	本校51-56広陵(広島)
準々決勝 本校54-57松江西	1999年9月25日	第5位
ベスト8	○全日本総合予選 (於・東出雲町立体育館)	2000年1月14~16日
1999年7月31~8月1日	一回戦 本校47-10GATTZ	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会
○第3回三次サマーカップ(於・三次カルチャーセンター)	1999年11月12~14日	兼第33回島根県高等学校JOTK杯争奪バスケッ
一回戦 本校74-44三 次(広島)	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会	トボール大会(於・松江工高体育館他)
二回戦 本校8-31川 本	(於・出雲商業高校体育館他)	二回戦 本校88-28松江高専
準決勝 本校65-80広島商(広島)	二回戦 本校23-45大 社	三回戦 本校75-49川 本
三位決 本校66-63広島基町(広島)	三回戦 本校22-42川 本	準々決勝 本校79-57浜 田
第3位	準々決勝 本校80-67松江高専	準決勝 本校56-40松江工
1999年8月8~9日	準決勝 本校59-58松江商	決勝 本校52-47松江東
○第26回三戸杯争奪バスケットボール大会	決勝 本校11-63松江東	優勝(初優勝)
(於・防府、防府スポーツセンター)	優勝(初優勝)	
本校94-29防府西(山口)		

2000年2月12日	平成十二年度	2000年5月13日
○中国高等学校バスケットボール新人大会	2000年4月1~2日(戸畑高校他)	○中国高等学校バスケットボール選手権大会
(於・広島県立体育館)	○西日本モルテンカップ	(於・松江市総合体育館)
一回戦 本校 50-65 広陵(広島)	本校61-56宗像(福岡)	一回戦 本校60-71広島商(広島)
2000年3月20日	本校63-52長崎東(長崎)	2000年6月2~4日
〇全関西 (於・広島県立体育館他)	決勝リーグ	○第38回島根県高等学校総合体育大会
予選トーナメント	本校纪-50瓊浦(長崎)	(於・松江市総合体育館他)
本校61-66長崎南山(長崎)	本校70-40東福岡(福岡)	二回戦 本校99-41浜田商
本校94-42福山城南(広島)	第3位	三回戦 本校101-50大田
本校78-60早鞆(山口)	2000年4月4~5日	準々決勝(本校8-52三刀屋(延長)
本校52-59広島皆実 (広島)	○倉敷カップ (於・倉敷運動公園)	準決勝 本校59-57松江東
	本校9-62広陵(広島)	決勝 本校70-56松江西
2000年3月26~27日	本校76-62城東(徳島)	(初優勝)
○京都招待大会 (於・東山高校)	本校86-73水島工(岡山)	2000年8月2日
本校67-80東山 (京都)	本校89-56姫路工大附属(兵庫)	○第53回全国高等学校バスケットボール選手権大会
本校79-59松山城南(愛媛)	2000年4月22~23日	(於・岐阜高山)
本校61-61金沢(石川)	○中国高等学校バスケットボール選手権大会	一回戦 本校62-82甲府西
本校67-73名古屋大谷(愛知)	県二次予選 (於・松江商)	2000年8月12~13日
2000年3月30~31日	決勝リーグ	○第27回三戸杯争奪バスケットボール大会
〇松江招待大会(於・松江市総合体育館)	本校95-45出雲	(於・防府西高他)
本校48-47三刀屋	本校86-51松江工	本校74-71田布施工(山口)
本校49-62関西学院(兵庫)	本校74-72松江西(延長)	本校63-66長崎西(長崎)(延長)
林(大輔、堀江由樹、狩野諭司、手銭(稔、	本校60-62松江東	本校85-45松江商
黒崎洋志、中岡(紳、竹田健太が入部	3勝1敗(初優勝)	本校81-47下松工(山口)
(部員数23名)		

-31-

2000年9月23日	決勝 本校75-39倉吉西(鳥取)	本校80-72高知工(高知)
○全日本総合県予選 (於・島根町立体育館)	(三度目の優勝)	2001年3月26~27日
一回戦 本校91-55レッド・S・ロンスター	2001年1月12~14日	○京都招待大会 (於・山城総合運動公園体育館)
二回戦 本校79-89ビック・ウェーブ	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権大会	予選リーグ
2000年11月16~18日	兼第34回島根県高等学校JOTK杯争奪バスケッ	本校75-42鳥羽(京都)
○島根県高等学校バスケットボール選手権	<ul><li>トボール大会</li><li>(於・松江工他)</li></ul>	本校22-80七尾(石川)
(於・出雲商他)	二回戦 本校33-43江津	本校59-82福岡第一(福岡)
二回戦 本校88-61松江北	三回戦 本校10-46矢上	本校75-61岐阜農林(岐阜)
三回戦 本校94-43大田	準々決勝 本校8-5明誠	本校64-69湘南工科大附(神奈川)
準々決勝(本校92-53松江商)	準決勝 本校22-58松江商	勝部 悟、坂本 淳、波多賢人、小川頼之、
準決勝 本校67-47松江東	決勝 本校13-51松江北	竹下敦久、日野幹稔、岡田 優、嘉藤泰輔、
決勝 本校66-53松江西	(二年連続二回目の優勝)	神田雄一郎、佐藤(力、錦織建太、山口醸次、
(二年連続二回目の優勝)	2001年2月10~11日	宇野 諭、関 孝太が入部 (部員数30名)
2000年12月24日	○中国高等学校バスケットボール新人大会	
○全国選抜ウィンターカップ,00	(於・岡山総合文化体育館)	平成十三年度
一回戦 本校33-83東和大附昌平(埼玉)	一回戦 本校84-55水島工(岡山)	2001年3月31~4月1日
2001年12月28~29日	二回戦 本校33-51下松工(山口)	〇西日本モルテンカップ (於・東福岡高他)
○第32回中国商業高校バスケットボール親善大会	準決勝 本校73-49岡山工(岡山)	予選トーナメント
(於・倉吉西高他)	決勝 本校52-49倉敷青陵(岡山)	本校62-45山口(山口)
予選トーナメント	(初優勝)	本校91-84東福岡(福岡)
本校91-34由良育英(鳥取)	2001年3月20~21日	決勝リーグ
本校93-47津山東(岡山)	○全関西 (於・広島県立体育館)	本校61-40瓊浦(長崎)
決勝リーグ	本校59-79熊本国府(熊本)	本校65-52春日(福岡)
本校68-33崇徳(広島)	本校81-50基町(広島)	決勝 本校51-57長崎東(長崎)
本校60-38広陵(広島)	本校56-57長崎南山(長崎)	(準優勝)

2001年4月21~22日	2001年8月2日	2001年12月23~24日
○中国高等学校バスケットボール選手権大会	○第34回全国高等学校バスケットボール選手権大会	○全国選抜ウィンターカップ ?0
県二次予選 (於・松江東)	(於・益城町)	(於・東京体育館、駒沢体育館)
本校101-53松江工	一回戦 本校72-94熊本国府	一回戦 本校10-71佐賀東(佐賀)
本校88-64松江東	2001年8月11~12日	二回戦 本校85-04育英(兵庫)
本校83-47松江商	○第28回三戸杯争奪バスケットボール大会	2001年12月28~29日
本校77-61松江北	(於・防府西高他)	○第33回中国商業高校バスケットボール親善大会
4勝0敗(二年連続二回目の優勝)	本校47-74山口(山口)	(於・岩国工他)
2001年5月11~13日	本校12-72萩(山口)	本校10-27岩国商業(山口)
○中国高等学校バスケットボール選手権大会	本校54-41岩国工(山口)	本校92-34津山東(岡山)
(於・徳山市総合スポーツセンター)	本校35-42豊浦(山口)	決勝リーグ
一回戦 本校81-68豊浦(山口)	2001年9月22日	本校85-54玉野光南(岡山)
二回戦 本校84-82美鈴が丘(広島)	○全日本総合選手権県予選(於・島根町立体育館)	本校41-79広島商(広島)
準決勝(本校62-61広陵(広島)	一回戦 本校31-42島根県立大学	第3位
決勝 本校50-79倉敷青陵(岡山)	二回戦 本校71-113ZERO	2002年1月10~13日
(準優勝)	2001年11月15~17日	○島根県高等学校新人バスケットボール選手権
2001年5月31~6月2日	○島根県高等学校バスケットボール選手権大会	兼第35回島根県高等学校JOTK杯争奪バス
○第39回島根県高等学校総合体育大会(於・出雲商他)	(於・出雲高)	ケットボール大会 (於・鹿島町立体育館他)
二回戦 本校11-75松江西	二回戦 本校20-39松江農林	二回戦 本校15-4大田
三回戦 本校87-49松江高専	三回戦 本校24-48大社	三回戦 本校112-49江津
準々決勝 本校15-43出雲	準々決勝 本校11-71松江西	準々決勝 本校93-56松江南
準決勝 本校91-57松江北	準決勝 本校07-51松江高専	準決勝 本校79-103松江工
決勝 本校85-76松江東	決勝 本校03-81松江工	三位決 本校74-76松江商
(二年連続二回目の優勝)	(三年連続三回目の優勝)	第4位

全国大会の記録

#### 平成12年度 全国高等学校総合体育大会

## 第53回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

■個人トータル表

男子		1回単 平成			2日	15	:50周	開始				Ŧ	飛騨体	本育	館		
		O 甲	府西	82		36 46	前≐ 後≐		31 31	62		雲北 高 相					
番 号	氏	名	得 点	3 P	2 P	F T	反則	番 号	氏	名	得 点	3 P	2 P	F	Т	反	則
4	横山	裕三	0					<b>*</b> 4	松岡	倫	16	2	3		4		3
<b>*</b> 5	浅野	豊	19	5	2			5	大野	友裕	0						1
* 6	清水	誠太	22	1	9	1	3	6	高橋	雅明	0						
* 7	中田	正重	9	1	3			* 7	児玉	吉治	6		3				2
8	村瀬	慶太						8	清水	慎平							
9	丸山	泰樹						9	石本	正彦							
10	古屋	儒	0				1	*10	手島	幹人	7	1	2				5
*11	根岸	博樹	28		11	6	3	11	戸田	満							
12	五味	大輔	0					12	植野	裕之	5	1	1				3
13	宮沢	直人	0				1	*13	福岡	裕喜	10		5				2
14	鈴木	達矢	0					<b>*</b> 14	藤原	宏光	18	2	6				1
<b>*</b> 15	長田	寛之	4		2		4	15	山下	明博							
コーチ	逆瀬川	慶浩						コーチ	松本	克己							
Aコーチ	唐沢	幹男						Aコーチ	泉	一則							
合		計	82	7	27	7	12	合	·	計	62	6	20		4		17
			主報	F:宮日	田宗	典(莎	5城)	副審	:大森	: 智之	<u>z</u> ( <u>=</u> 1	重)					

■戦評

両チームともハーフからのマンツーマンディフェンス。緊張のせいかファンブルやシュート ミスが続き、3分経過するも1ゴールのみ。先に固さの取れた出雲北陵が10分頃まではリー ドするも、甲府西のセンター⑪がポストプレーで得点すると、一気に流れは甲府西に傾いた。 その後は、2-2-1ゾーンプレスと、2-1-2ゾーンで突き離しにかかるが、出雲北陵も 粘り5点差で前半を終える。

後半立ち上がり、甲府西は⑪のポストプレーと⑤⑥の外からのシュートが決まり始め、一気 に10点差とする。その後出雲北陵は2-3ゾーンディフェンスに切り換えるも、甲府西の勢 いを止めることが出来ず、苦しまぎれのシュートもことごとく外れた。結局インサイドと外か らの攻撃がかみ合った甲府西の圧勝となった。

#### 記載者 安藤 和章 所属 岐阜県高体連















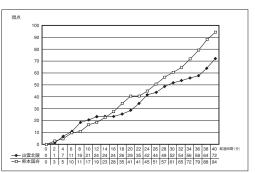
## 平成13年度 全国高等学校総合体育大会 第54回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

■個人データ表

		7	1回					12: Aコー					章田 竹内		
				【 <b>雲北</b> 陵 島根県)	庱 72	$\left  \begin{array}{c} 29\\ 43 \end{array} \right $		前半 後半	41 53	94		<b>本甲府</b> (本県)			
出	雲北	陵高校													
番	*         4         手島         幹人         11         4         9         3         4         5         2         2         4														
*	4	手島	幹人	11			4	9	3	4	5	2	2	4	
*	5	植野	裕之	23	3	8	6	6	2	4		4	3	7	
	6	山下	明博	4					4	4		4		4	
	7	清水	慎平	2			1	3					2	2	
*	8	藤原	宏光	20	4	15	4	7			2		2	2	
*	9	石本	正彦	9	1	2	2	5	2	2	3		3	3	
*	10	福岡	裕喜	3		2	1	2	1	3	5	9	3	12	
	11	戸田	満					1			4				
	12	清水	篤												
	13	狩野	諭司												
	14	林	大輔												
	15	堀江	由樹												
コ-	ーチ	松本	克己												
	à		計	72			18	33	12	17	19	19	15	34	
J,	戉	功	率		29.	6%	54	.5%	70.	.6%					

#### ■戦評

試合が始まるやいなや選手はエンジン全快。 攻防の移り変わりが激しい立ち上がりだった。 両チーム主導権を握りたいという気持ちが全面 に押し出されていた。国府④内田が3Pで先制 したが、出雲のミスマッチを利用した攻めと⑤ 植野と⑧藤原の3Pによって流れは出雲のほう へ傾く。リードを許した国府だったが、粘り強 いディフェンスと上手いメンバーチェンジで逆 転しペースを握る。その後も国府は選手が自発 的に声を出し、相手に流れを渡さず前半を終えた。



後半の先制は出雲⑧藤原の3P。それで波に乗った出雲は国府のミスからの速攻、⑤植野の 3Pで後半開始4分で1点差にまで詰め寄った。しかし、国府も流れを取り戻そうとディフェ ンスのプレッシャーを更に強くして開始9分、再び10点差をつけた。その後も国府のディフェ ンスは止まらず出雲のミスも目立ちはじめ、それに乗じて国府が速攻を出すという形で点差を 離していった。終わってみれば、94対72の快勝だった。

#### (文責 松田 春喜)









## **INTER HIGH<sup>2</sup>2001** 第54回 全国高等学校バスケットボール選手権大会







- 試合結果

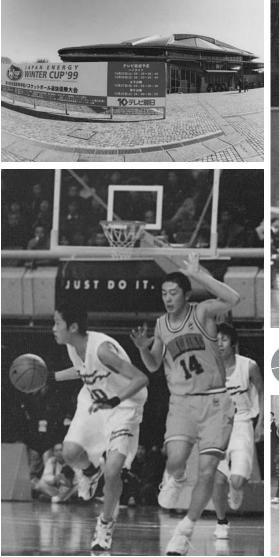
回戦	コート	チーム1	試 合	結 果	チーム2
男子1回戦	D	出雲北陵高校	●77 (35,42)	○93(47,46)	北陸高校

#### ■戦評

前半は両チームともマンツーマンでスタート。北陸は#10島袋の3連続スチールや5アシスト、#4勝又の確実なゴール下などで前半12点差で折り返した。後半も両チームともマンツーマンでスタート。後半は出雲北陵は、#17和田が後半だけで3Pを7本決めるなどして追い上げるが、北陸は#4勝又と#15張がゴール下を制して快勝した。

#### ■個人トータル表

		出	雲	北	陵					北			陸		
No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則	No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則
4	松岡	倫	4	0	2	0	2	4	勝又	穣次	29	0	14	1	1
5	飯塚	裕之	0	0	0	0	0	5	七夕	進	2	0	1	0	0
6	大野	友裕	0	0	0	0	0	6	林	昌克	0	0	0	0	0
7	児玉	吉治	0	0	0	0	0	7	藤本	博信	0	0	0	0	0
8	高橋	雅明	0	0	0	0	0	8	山本	洋平	1	0	0	1	2
9	石本	正彦	_	_	_	_	_	9	松村	裕康	3	1	0	0	1
10	手島	幹人	2	0	0	2	4	10	島袋	正彦	4	0	1	2	1
11	戸田	満	_	_	_	_	_	11	池戸	孝之	13	0	0	0	0
12	植野	裕之	0	0	0	0	0	12	井上	義政	5	2	2	3	3
13	福岡	裕喜	6	0	2	2	4	13	岩永	敏夫	10	0	2	1	1
14	藤原	宏光	13	3	2	0	3	14	伊藤	拓郎	26	0	4	2	2
15	清水	慎平	_	_	_	_	_	15	張	程	0	0	8	10	2
16	山下	明博	_	_	_	_	_	16	藤原	勝幸	0	0	0	0	1
17	和田	孝典	35	8	5	1	4	17	山田	真輝	0	0	0	0	0
18	丸亀	明彦	17	0	6	5	5	18	塚本	貴之	0	0	0	0	0
	合	計	77	11	17	10	22	í	÷	計	93	3	32	20	14













試合結果

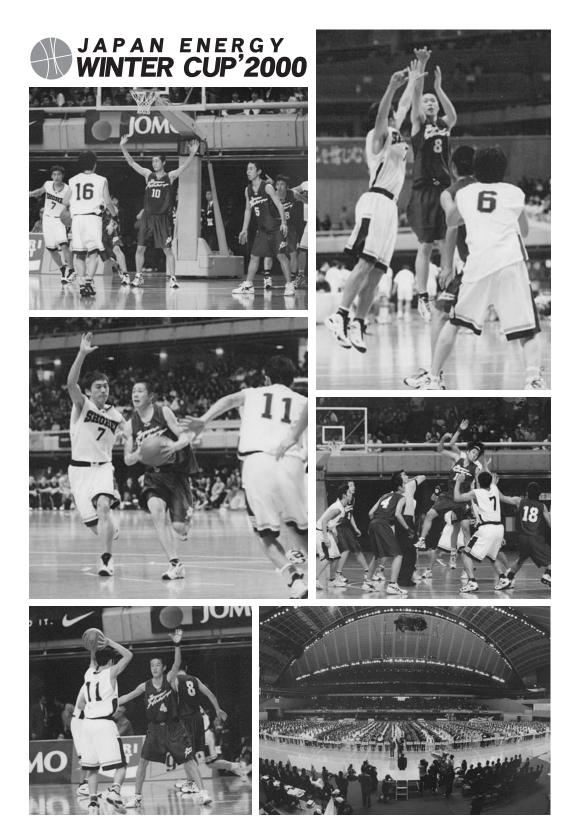
		2000年12月24日					
男子2回戦		Dコート	Dコート 第3試合				
	合計得点	前半得点	合計得点				
東和大附昌平	83	46 - 34		出雲北陵			
(埼玉)		後半得点	53	(島 根)			
		37 - 19					

#### ■戦評

両チームともマンツーマンでスタート。前半10分間は一進一退の攻防が続く。残り4分、 昌平の速攻と#11瀬田の3ポイントをきっかけに点差が開き、7点差で前半終了。後半始まっ てすぐ、昌平が速攻から波に乗り、いっきに点差をつけた。出雲も巻き返しを図ったが、点差 は縮まらず、昌平が圧勝した。

#### ■個人トータル表

東和大附昌平										出	雲	北	陵		
No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則	No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則
4	須賀	善仁	6	0	3	0	3	4	手島	幹人	13	0	5	3	4
5	千葉	宏樹	11	1	4	0	3	5	植野	裕之	5	0	2	1	2
6	金子	稔	24	0	12	0	1	6	山下	明博	0	0	0	0	0
7	樋渡	大樹	14	0	7	0	0	7	清水	慎平	0	0	0	0	0
8	村本	洋平	0	0	0	0	0	8	藤原	宏光	14	2	4	0	0
9	篠田	千隼	0	0	0	0	0	9	石本	正彦	0	0	0	0	0
10	岡本	隆行	0	0	0	0	0	10	福岡	裕喜	6	0	2	2	3
11	瀬田	康晴	26	3	8	1	3	11	戸田	満	0	0	0	0	0
12	宇田	剛士	0	0	0	0	0	12	清水	篤	0	0	0	0	0
13	永島	壮平	0	0	0	0	0	13	狩野	諭司	0	0	0	0	0
14	山崎	雄大	0	0	0	0	0	14	林	大輔	0	0	0	0	0
15	高橋	一将	0	0	0	0	0	15	堀江	由樹	0	0	0	0	0
16	清水	洋	0	0	0	0	3	16	手銭	稔	0	0	0	0	0
17	宮腰	祐輔	2	0	1	0	0	17	児玉	吉治	2	0	1	0	0
18	高橋	裕之	0	0	0	0	0	18	松岡	倫	13	1	4	2	3
,	合	計	83	4	35	1	13	Î	È	計	53	3	18	8	12



試合結果

	2001年12月23日								
男子	·1回戦	F =	1ート 第2	試合					
学	校	名	1Q	2Q	3Q	4Q	合 計		
出雲	北陵(島	暑根)	26	23	25	26	100		
佐賀	冒東(他	[賀]	23	12	14	22	71		

#### ■戦評

両チーム、マンツーマンでスタート。佐賀東の速攻が良く決まり、開始5分で10点リード するが、北陵#8藤原の3Pをきっかけに追いつき逆転。そのまま14点のリードを奪い前半 終了。

後半に入り、佐賀東のシュートが落ち始める。それとは逆に北陵はシュート、リバウンド共 に確実にとっていき、後半開始6分で20点のリードを奪う。追いかける佐賀東は、ディフェ ンスでのファールが多くなり3人が退場。北陵はそのままリードを広げ、29点差の快勝だっ た。

		出	雲	北	陵					佐	旮		東		
No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則	No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則
4	手島	幹人	11	0	4	3	2	4	古川	宗治	0	0	0	0	2
5	植野	裕之	28	4	7	2	4	5	香田	猶人	18	0	9	0	5
6	山下	明博	2	0	0	2	0	6	唐	显魁	6	0	3	0	2
7	清水	慎平	1	0	0	1	0	7	松本	卓也	1	0	0	1	5
8	藤原	宏光	13	3	0	4	0	8	宮原	佑輔	_	_	_	_	_
9	石本	正彦	4	0	1	2	1	9	貞松	大	21	4	3	3	1
10	福岡	裕喜	22	0	8	6	2	10	香田	知樹	8	1	2	1	3
11	戸田	満	11	2	1	3	1	11	古川	尚	6	0	3	0	5
12	手銭	稔	2	0	1	0	0	12	寺地	浩一	0	0	0	0	2
13	狩野	諭司	2	0	1	0	0	13	木塚	隆輔	0	0	0	0	2
14	林	大輔	0	0	0	0	0	14	田中	隆治	8	0	4	0	1
15	堀江	由樹	0	0	0	0	0	15	高園	博典	_	_	_	_	_
16	小川	頼之	2	0	1	0	0	16	山田	健二	3	1	0	0	1
17	勝部	悟	2	0	1	0	0	17	西原	裕二	0	0	0	0	0
18	宇野	諭	0	0	0	0	0	18	大井雪	手一世	_	_	_	_	_
,	合	計	100	9	25	23	10	Ĩ	\$	計	71	6	24	5	29

■個人トータル表















試合結果

				2001年1	2月24日		
男子	·2回戦	E =	1ート 第1	試合			
学	校	名	1Q	2Q	3Q	4Q	合 計
出雲	北陵(島	晶根)	26	22	22	15	85
育	英(乒	(庫)	31	28	22	23	104

#### ■戦評

両チームともにマンツーマンでスタート。第1ピリオドから両チーム譲らず、点の取り合い となる。出雲は#8、育英は#5、#8を中心に得点を重ねる。第2ピリオドになり、育英# 5がリバウンドを頑張り、#8がアウトサイドから確実にシュートを決め、11点のリードを 奪う。後半に入ると、出雲は#8の3Pなどで反撃する。だが対する育英はディフェンスのプ レッシャーを強め、攻めては着実にインサイドで得点を重ねて突き放し、19点差で勝利した。

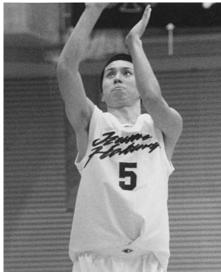
■個人トータル表

		出	雲	北	陵						育			英		
No.	氏	名	得点	3 F	2	Ρ	自投	反則	No.	氏	名	得点	3 P	2 P	自投	反則
4	手島	幹人	3	1	(	)	0	3	4	桑原	泰彦	2	0	1	0	0
5	植野	裕之	18	2	Ę	5	2	3	5	大西	崇範	34	2	13	2	3
6	山下	明博	0	0	(	)	0	0	6	高橋	大輔	13	0	6	1	4
7	清水	慎平	0	0	(	)	0	0	7	興津	優樹	0	0	0	0	1
8	藤原	宏光	41	9	4	1	6	0	8	沼波	望	34	7	6	1	0
9	石本	正彦	0	0	(	)	0	1	9	藤澤	紀幸	0	0	0	0	1
10	福岡	裕喜	18	0	ę	)	0	4	10	中嶋	知彦	0	0	0	0	1
11	戸田	満	5	1	]	L	0	0	11	松本	健史	11	0	5	1	1
12	手銭	稔	_	_	-	-	_	_	12	南川	健	0	0	0	0	0
13	狩野	諭司	_	_	-	-	_	_	13	福島	正之	_	_	_	-	—
14	林	大輔	_	_	-	-	_	_	14	高橋	由城	_	_	_	_	_
15	堀江	由樹	_	_	-	-	_	_	15	大河P	内 要	_	_	_	-	—
16	小川	頼之	_	_	-	-	_	_	16	石原	徳也	0	0	0	0	0
17	勝部	悟	-	_	-	-	_	_	17	椿本衫	谷一朗	_	_	_	_	_
18	宇野	諭	_	_	-	-	_	_	18	熊谷	宜之	10	0	5	0	5
,	合	計	85	13	1	9	8	11	Ĩ		計	104	9	36	5	16











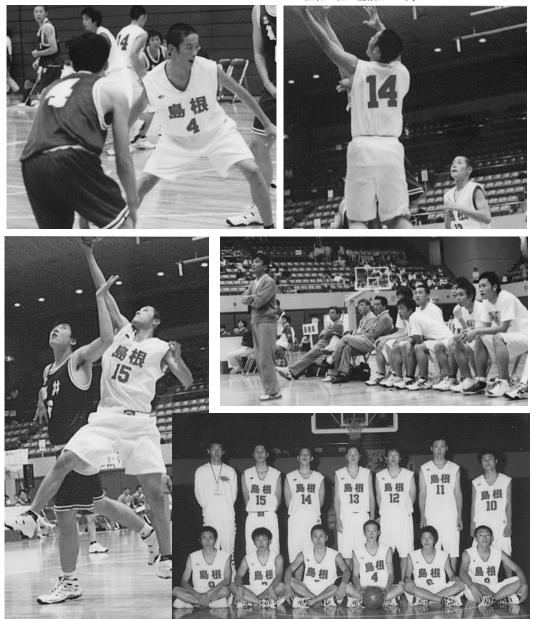


#### 第56回 国民体育大会 中国ブロック予選大会(第21回中国ミニ国体) H13年8月24日(金)~26日(日)広島市東区スポーツセンター

【少年男子】

-	-						
	山口	島 根	鳥取	岡 山	広島	勝 敗	順位
山口	☆	●60-63	○ 98-49	●77- 83	○95-89	2勝2敗	3位
島 根	○63−60	\$	○109-78	●60-110	○82−69	3勝1敗	2位
鳥 取	●49-98	●78-109	\$	●79-100	●84-89	0勝4敗	5位
岡 山	○83-72	○110-60	○106-79	\$	●81-83	3勝1敗	1位
広島	●89-95	●69-82	○ 89-84	○83-81	\$	2勝2敗	4位
				and all a			201-20

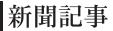
※1・2位、3・4位は当該チーム間のゴール・アベレージによる



## 第56回 国民体育大会

#### H13年10月14日 16:45開始 仙台市体育館

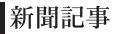
チームA Team 13 島根 67 13 15 18	$ \begin{array}{c c} - & 24 \\ - & 22 \\ - & 14 \\ - & 20 \\ - & - & \end{array} $	ムB m 畐井	主審:Referee 大家 一 副審:Umpire 平田 貴浩	A.スコアラー:A.Scorekeeper 早坂真奈美 <sup>タイムキーパー:Timekeeper</sup> 菅野恵美子
<sup>チームA:</sup> 島根 <sub>Team</sub> 選手氏名 Name of Players	No. Pl-in ファウル Fouls Tear	ーム ァウル m Fouls	スコアラー:Scorekeeper 澤口 美子 ランニング・スコア A B A B 1 1 1 13 4 4 5	24秒オペレイター:24'Operator       川合     詞子       RUNNING SCORE       A     B     A       81     121     121
1       手島 幹人 (CAP)         2       植野 裕之         3       柄川 祥         4       日野 行夫         5       戸田 満         6       石本 正彦         7       桐田 陽平	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	K ĽIJオK d Period		84         84         124         124           85         85         125         125           86         86         126         126           87         87         127         127
8         新見         進           9         雑賀         勇太           10         藤原         宏光           11         斎藤         貴男           12         福岡         裕喜           13         14	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	4 K ĽIJオK		91         91         131         131           92         92         132         132           93         93         133         133
15 16 17 18 <del>Zosch:</del> 松本 克己 A.Zosch: 宮脇 理夫	+12:Signature	4	5     16     56     4       17     17     6     15     57       5     18     5     58     56       4     9     59     59	95         95         135           96         96         136         136           97         97         137         137           98         98         138         138           99         99         139         139
	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	ド ピリオド d Period		101         141         141           102         102         142         142           103         103         143         143           104         104         144         144           105         145         145
5         藤原         勝幸           6         山田         真輝           7         石崎         巧           8         網野         条           9         桐山         知也           10         小柳         龍一           11         中山         賢吉	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	107         147         147           108         108         148         148           109         109         149         149           110         150         150         150
12 内江 元泰 13 14 15 16 17		d Period 1!	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	113         153         153           114         154         154           115         155         155           116         156         156           117         157         157
18  <sup>コーチ:</sup> 津田 洋道 A. <sup>コーチ:</sup> 入井 茂稔	サイン:Signature	6	58         58         7         78         9           539         39         6         79         79           40         40         80         60         5	119 119 159 159





新聞記事







旅立ちの言葉

駅まで行ったこともあった。目が開いた時は既に川跡駅で、扉が開くの にぶつかり挫折を味わった。そんな中で私を助けてくれたのは、 など歴代主将を目標に練習に打ち込んだ。しかし、何度も重く険しい壁 た土台の上で、バスケットボールを学んだ三年間は、日々進歩していっ ら、三年のウインターカップ島根県予選まで県大会九連覇という偉業 みると、とても充実した部活動であったと思う。「バスケ命、目指すは頂 かなと思えば電車は進んで行ってしまった。その時の赤面した私の顔 分からないうちに、朝食をとり電車に乗る毎日。時には乗り過ごし次の 始まった。「幹人、幹人。」となかなか目覚めない時には夢の中まで出て 山下副主将をはじめとする同級のチームメイト達だった た。そして、二年の時は主将という役目を任され、山下さん、松岡さん た黄金時代であった。先生と先輩方が十年もの歳月を費やし築いてき を成し遂げた。今から思えば、この三年間は正に北陵バスケが築き上げ 日々打ち込んでいった。そして一年のウインターカップ島根県予選か 点」という中学の頃からのスローガンを胸に刻み入部し、厳しい練習に の熱さと、心の中で思った恥かしさは今でも忘れることはできない。 きた母の声、今思えばとても懐しい。起きているのか起きていないのか この九人は個性的であったが、チームが大会前で一番大事な時、モチ そんな毎日の生活習慣の中で、メインであった部活動を振り返って 私の高校生活は、目覚まし時計よりも効果のある母の奇声によって 手 島 幹 植野、 人

代を築いてもらいたい 「バスケ命、

ベーションを高め、チームの中心になってくれていた。そのパワーにい

たことを、とても嬉しく思い、 を始めとする先生方と出雲北陵高校で三年間バスケットボールができ 主将を越えることはできなかったかもしれないが、九名の同級生、多く の先輩や後輩、私達の生活を支えてきてくれた保護者の方々、松本監督 れ私は、主将をしてよかったと思えるようになった。二人の偉大な歴代 つも私は驚かされ、毎日のつらい練習が楽しくなった。その友情に包ま 正に感無量である

出

三北陵高校で培った三年間

てこられた土台の上で、北陵生らしく能力でも精神面でも負けない ボールをしてほしいと望んでいる。変なプライドは捨て、先輩方が築い 代交代をした新生出雲北陵男子バスケット部を背負っていく後輩達に チームになってほしいと思う。そして、今度は自分達の手で北陵黄金時 は、少しでも私達と同じ意識で、目標に向かってひたむきにバスケット そして、私達は自分達の夢に向かって旅立とうとしている。そこで世

置きたいと思う。 このような願いと、今までお世話になった方々への感謝の気持ちと 目指すは頂点」のスローガンを心の中に深く刻み、ペンを



ばる。なんだか一、二、三年生がまとまった様でした。それに加え、試 保護者の方々の存在でした。大会前になると後輩たちは遅くまで残り ました。また、僕たち三年生にとって大きな支えとなったのが下級生や であきらめる事なく向かっていきました。結局、試合には負けて悔し ぞみました。立ち上がりリードするもすぐひっくり返されあっという 残っている事がいくつかあります。それは、三年生のウィンターカップ 方々、入学した時から暖かく指導して下さった西野さんなどのパワー 後輩が応援する。三年生やベンチメンバーはその分コートの上でがん 応援練習したり、応援グッズを作ったりしてくれていました。試合では かったです。最後に北陵カラーの「ひたむきな心」が発揮できたと思い かったけど、やることをやって負けたんだからちょっとだけ気分が良 ル離される所ですがチーム一丸となって声を出し、走り、守り、最後ま まに十点差ぐらいまで離されました。普段の北陵ならそのまま、ズルズ のまま育英も倒して全国の上位に入ってやろうと気合十分で試合にの での育英戦での事です。前日の一回戦で初の全国初勝利を手に入れこ い一つの目標に向かって努力しました。その三年間の中で僕が印象に います。一年生の頃から大好きなバスケットボールに夢中になり、お互 す。その中でも特に良い仲間、良い環境に恵まれた事が一番大きいと思 合があるたびわざわざ遠くから駆けつけてきてくださった保護者の 僕にとって出雲北陵高校で過ごした三年間というのは一生の宝物で

れしく思います。が一つになって「北陵」というすばらしいチームができあがったと思いが一つになって「北陵」というすばらしいチームができあがったと思い

高校生活で得た宝

植

野

裕

之

れないけど先生やチームメイトを信じてがんばればよい。」かったと思えるようになってほしい。だから今はまだ勝てないかもし姿勢で努力してくれれば。そして後輩達にも北陵でバスケットして良姿勢で努力してくれれば。そして後輩達にも北陵でバスケットしよう。」それと、後輩たちへも一言。「結果が出せなくてもいい。前向きなかったと思えるようになってほしい。だから今はまだ勝てないかもしれないけど先生やチームメイトを信じてがんばればよい。」

できて良かったです。できて良かったです。

今まで北陵を支えてきてくれた皆さん本当にありがとうございまし

た



<u> </u>	年	間
		山下明博
「入学	しても	「入学してもう三年たつんだなぁ。」と、僕はよく考えます。本当にこ
の三年間	向はあっ	の三年間はあっという間でした。だけどとても充実した高校生活を送
ることが	できた	ることができたと思います。
入学以	気前はこ	入学以前はこの北陵高校に進もうか地元の高校に進もうか悩んでい
ましたが	~、卒業	ましたが、卒業された先輩方の試合を見て北陵に進むことを決めまし
た。一年	生とない	た。一年生となり僕の高校生活が始まりました。練習はとても厳しくて
先輩方に	について	先輩方についていくのがやっとでした。その頃キャプテンをしていた
兄には上	6く怒ら	兄にはよく怒られ、「何で俺だけ?。」と不満を持つこともありました
が、今考	えると、	が、今考えると、この時怒られたのは自分自身の中にまだ中学生の甘さ
があり高	高校生と	があり高校生としての自覚がなかったからだと思います。
僕にと	こってバ	僕にとってバスケットボールについての考え方が大きく変化した出
来事があ	りまし	来事がありました。それは初めて全国大会に出場したことです。この出
来事がな	はければ	来事がなければ大学でバスケットを続けようとは考えなかったと思い
ます。こ	の全国	ます。この全国を経験したことによってチームも全国で勝つことを目
指して補	「習に取	指して練習に取り組みました。しかし初めて参加した全国大会から二
○ ○ 一 丘	-のイン	○○一年のインターハイまでの4回の挑戦で一度も勝つことができま
せんでし	した。 そ	せんでした。その中で「なぜ勝てないのか?」「何がいけないのか」と
チームで	、議論に	チームで議論になることもありました。
そして	て本当に	そして本当に最後の全国大会、今まで一緒に頑張ってきた仲間とは
これが最	取後の大	これが最後の大会です。その大会で初めて全国で勝つことができまし
た。勝つ	為には	勝つ為には何が必要かを一人一人が考え悩んだからこそ生まれた

この三年間を振り返ると話せばきりがないほどの思い出がたくさんいていたのでかなりもらい泣きしました。周りを見るとみんな泣試合でしたが惜しくも敗れました。「終わった。」と試合終了の瞬間、こ結果だと思います。次の育英戦では今まで僕が見た試合の中で最高の

に、最高の友達と出会えて本当に良かったです。て下さった先生方、保護者の方々本当にありがとうございました。最後できました。又、指導して下さった松本先生をはじめこの三年間を支えこの三年間を振り返ると話せばきりがないほどの思い出がたくさん

# 三年間の思い出

## 清水慎平

高校でもバスケットを続けたい、そんな想いが中学三年の後半に強高校でもバスケットを続けたい、そんな想いが中学三年の後半に強た。私は大田から電車通学だったので、最初のころは、患ずそれでいった。私は大田から電車通学だったので、最初のころは、勉強と部活動の毎年でした。私は北陵高校への進学を決めました。高校に合格してからは、

になっていました。しかし、置いていかれるわけにはいかないので必死最初の頃は、練習についていくのがやっとの状態でかなりヘトヘト

いました。
これな真うな見てきたらずうここうであっていたいです。その後、県内大会を次々と制覇し、中国大会でも優勝、準優勝、さら
そんな気持ちがあふれてきました。
た。部をやめなくてよかった、チームメイトを裏切らなくてよかった、
言いようのない喜びを感じました。そしてベンチに戻った時思いまし
リーポイントを打つチャンスができ、そのシュートが入った瞬間、私は
出るチャンスがやってきました。コートに入り試合の流れの中でス
そして、自分達の代の年の県の新人大会の決勝、自分自身その舞台に
持ちを新ためて、再スタートを誓いました。
感じます。申し訳ない気持ちでいっぱいでした。その後は自分自身の気
てみれば、非常にわがままで恥かしい、情けないことをしてしまったと
いました。その結果その年の選手権にも出場しませんでした。後で考え
い込んだりしました。そして現実から逃げようと学校を放棄してしま
イトが自分はチームにいらないと思っているのではないかと勝手に思
くいかないことで自分に腹を立て、一人で落ち込み、さらにはチームメ
た年の同じ時期、また同じことを繰り返してしまいました。練習がうま
た。その時はなんとか立ち直り復帰をしました。しかし、二年生になっ
校、部活を休み、先生やチームメイトに多大な迷惑をかけてしまいまし
近づいてきた時でした。私は自らの心の弱さを出してしまいました。学
やはり夏の練習はハードでした。そして二学期に入り、選手権の時期が
試合にも出たりしてとても嬉しかったことも覚えています。それでも
も苦しかったです。しかし、遠征先では、自分自身高校生になって初の
入学してから初めての夏休み、過酷な練習の時期に入り毎日がとて
で頑張りました。

ました。 ました。 よした。 してフラーガックの最後の試合では終わった時間、涙があふれてき たいターカップの最後の試合では終わった時間、涙があふれてき たいターカップの最後の試合では終わった時間、涙があふれてき

## 高校の三年間

藤原宏光

とを思いつくままに書こうと思う。 過ぎるし、伝え難い。だから、僕の中での高校三年間特に心に残ったこ思い出なんて数え切れないし、こうやって文章にすることなんて難し 高校三年間、みんな言うように本当に短かった。そして楽しかった。

- と。ただひたすらくやしかった。一、一年生時の総体ベスト8で終わって、三年生と一緒に泣いたこ
- 生と一緒に勝ち取ったってことがたまらなくうれしかった。二、一年生時の県選手権で初優勝したこと。総体負けてた分、三年
- り先輩が最後の所では勝負を決めていた。三、二年生時の総体。正直全部の試合負けそうだった。でもやっぱ

四、自分達の代の二月の中国大会初優勝。	1優勝。県大会以外での大会での
唯一の優勝だった。	
五、三年生時のインターハイで負けた後、チームでミーティングし	た後、チームでミーティングし
たこと。みんな泣いた。	
六、高校生として最後の大会ウィンターカップで、全国一勝したこ	ターカップで、全国一勝したこ
と。出雲北陵での三年間をおもいっきりぶつけてやった育英戦。	いっきりぶつけてやった育英戦。
これが僕の中で大きな出来事だと思う。他にも本当にたくさんあっ	心う。他にも本当にたくさんあっ
たが、絞り込んで六つにした。	
高校に入って、いや出雲北陵高校に入って、バスケットに対しての姿	へって、バスケットに対しての姿
勢・考え方、私生活、がものすごく変わったと思う。自分がどれだけバ	わったと思う。自分がどれだけバ
スケットに情熱を注いでいるか、人に対してきちんとあいさつできる	対してきちんとあいさつできる
か、そして、それがどのようにプレーに影響するか、など、常に自分に	に影響するか、など、常に自分に
問いかけることができていたと思う。しかし、それは入学時からできて	しかし、それは入学時からできて
いた事ではない。そんなのできて当たり前の様に思える。しかしそれは	り前の様に思える。しかしそれは
難しい事。僕はおそらく北陵でプレーしていなかったら、それが永遠に	していなかったら、それが永遠に
できなかったように思う。でも北陵にはそんな僕でも当たり前にでき	はそんな僕でも当たり前にでき
るようにしてくれる人達がいた。指導してくれた、松本先生、西野さん、	してくれた、松本先生、西野さん、
バスケット経験豊富な保護者の方、島根県のバスケット関係の皆様、常	<b>松県のバスケット関係の皆様、常</b>
に応援し、温かい目で見守ってくださった保護者・先生、面倒見の良	った保護者・先生、面倒見の良い
先輩、気が合う同級生、気配りのできる後輩、応援してくれた友達、み	<b>る後輩、応援してくれた友達、み</b>
なさんに支えられ出雲北陵バスケット部は大きくなり、くさっていた	-部は大きくなり、くさっていた
僕は当たり前の事を当たり前のようにできるようになった。	できるようになった。
これからは大学へ行き、環境も変わるだろうけど、北陵で身につけた	るだろうけど、北陵で身につけた
ことを生かし、日々挑戦し続け、今以上大きくなりたいと思っている。	上大きくなりたいと思っている。
後輩へ、これからだ。まだまだ変われる。北陵のバスケットはこんな	る。北陵のバスケットはこんな

かなか全国一勝できず、二度、三度も全国での初勝利の難しさを思い知
二年生になり、部活にも慣れ、すべての県大会を制覇したものの、な
でき、ますますやる気が出ました。
ました。全国のレベルを思い知らされましたが、チームの課題や目標が
す。初めて全国大会に出場し、福井県代表の北陸と戦い、負けてしまい
冬の選手権では、県で初優勝することができ、とてもうれしかったで
されて、最後までやり通すことができました。
これからの練習についていけるか心配でした。でも、先輩や友達に励ま
の頃は、最初の練習で足が痙攣を起こしてしまうこともあり、自分でも、
両親の反対をおしきって、親元をはなれ、北陵に来ましたが、一年生
出ができました。
僕は、出雲北陵高校男子バスケットボール部に入部し、たくさん思い
石本正彦
三年間の思い出
ざいました。
最後に、みなさん三年間お世話になりました。そして、ありがとうご

ものではない。だから、挑戦し続けろ。

三年生へ、楽しい三年間だった。また一緒にバスケやろう。

らされました。

三年生になり、二度目のインターハイで惜しくも負けてしまいまし

-55-

た。だから、最後の全国大会、三度目のウィンターカップで、三年間、
一度も全国一勝ができなかったので、最後こそはと、みんな気合いが
入っていました。
そして、十二月二十三日、東京駒沢体育館、一回戦、佐賀県代表佐賀
東と試合が始まりました。一時は、十点差をつけられましたが、ディ
フェンスを立て直し、一気に逆転することに成功しました。後半も着実
に点を決め、全国大会での初勝利を成し遂げることができました。
二回戦は、十二月二十四日、東京体育館サブアリーナで、強豪の兵庫
県代表育英とでした。三クォーターまでは、育英との差は十一点でしの
ぎ、最終クォーターで逆転したかったのですが、やはり、そう簡単にい
きませんでした。そして、高校バスケは、終わりました。
北陵にきて、大好きなバスケットをすることができ、全国大会に出場
することもできたこと、また、それ以上にバスケットを通した、チーム
メイトである仲間達が僕の一生の宝物です。
四月からは、みんながそれぞれの進路に向かいます。大学でバスケッ
トを続けていく僕は、また大学でも頑張って、違うチームで頑張る今の
仲間達と全国大会で戦いたいです。
僕達をここまで成長させてくれた松本先生をはじめ、たくさんの先
生方や応援をしてくださいましたみなさんに感謝の気持ちでいっぱい
です。また、僕のわがままを聞いてくれて、最後まで僕を支えてくれた、
両親や家族にも、ありがとうと言いたいです。 そして、いつも一緒に頑
張ってきたチームのみんなや、先輩、後輩にも、ありがとうという言葉
とともに、お互い頑張ろうと伝えます。3年間、いい思い出をみなさん、
ありがとうございました。

三年間を振り返って

## 福 岡 裕 喜

ことを決めました。これが僕の出雲北陵高校での始まりです。決めていたので、やるからには強い所でやろうと思い、北陵に入学するの話がきて、正直すごく悩みました。でも、高校ではバスケ部に入ると中学ではバレー部だった僕に、出雲北陵高校からバスケットで推薦

高交三年間で一番印象こ実っている式合な、高一の寺の選手権予選びっていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらにす。その時は、まだ何にもバスケを知らなくて、ただがむしゃらに動すす。その時は、まだ何にもバスケを知らなくて、ただがむしゃらに動すす。その時は、まだ何にもバスケを知らなくて、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらに動いていました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらでも追っています。この話合が初勝利だったので、とても印象で、うでした。生命でも、この話合が初勝利だったので、とても印象でのたった瞬間、緊張でのどが力ラカラに渇いたのを今でも覚えていた。この時は、また何にもいます。この話合いで、今の自分があるんだなあとので、とても印象でいました。今、一年生の時のビデオを見ると、ただがむしゃらにす。

ました。そしてこれを入れたら逆転という所で、和田さんから僕にパスい上げていき、そして残り一分を切ったぐらいで一点差まで詰め寄りた。前半は、松江商業ペースで試合が進み、十八点リードされて、前半の対松江商業戦です。そして、この試合から僕達の快進撃が始まりまし高校三年間で一番印象に残っている試合は、高一の時の選手権予選

T, 学びました。そして、生涯の仲間を見つけました。本当に北陵に来て良 良さは、県内一だということです。チーム全体としての信頼感、チーム かわかりません。ただ、僕自身はっきり言えることは、チームワークの バスケットが上手だったからではありません。練習量も、県内一かどう ても誇りに思っています。これだけの成績が残せたことは、ただ単に、 国大会でも優勝、そして全国大会でも一勝することができたことをと ています。でも、ちょっと残念だったのは、新聞に逆転シュートを決め が来ました。「入れ。」と思いながらシュートを打ったら、見事に決まっ ワークこそが僕達の「強さ」だと思っています。 たのは、僕ではなく、宏光の名前が書いてあった事です。 かったと思います この大会から優勝して、県内の大会では、 最後にこの出雲北陵高校バスケットボール部に入って、色々な事を 逆転勝ちしました。その晩、 興奮でなかなか眠れなかったのを覚え 九連覇を達成できたし、中

そして保護者の方、本当にありがとうございました。てっしー、植野、明博、慎平、宏光、石本、満、篤に松本先生と泉先生、

そしてこれからも温かく見守って下さい。よろしくお願いします。



三年間を振り返って

## ⊞

満

戸

野が気持ち悪い足のつりかたをした2次リーグの松江北高戦。 終わり方ができたんじゃないかなと思いました。部活を終えて思い出 おもしろい試合だったし、三年間最後の試合として、自分では納得いく 戦突破です。その次の日の育英戦は、負けてしまったけど今までで一番 時は本当に最高でした。でも一番嬉しかったのがウィンターカップ初 と思っていたベスト5賞、念願の国体メンバー。もう両方とも選ばれた うがありませんでした。しかも自分が一回でもいいから入ってみたい がうまく使ってくれ、少しずつ自信がついてきて、大会が楽しみでしょ りませんでした。でも遠征や大会などで試合中、松本先生、手島の父さ もらったりして同じポジションの先輩を目標にして二年間必死でやり 毎日毎日の練習が辛くなって部活を辞めようかと思ったこともありま ベンチに入れなくて練習内容は中でフットワークして外で校周。その 岐から出てきて三年間部活動をやっていけるか不安でした。一年の時 せる試合は宏光と手島がペアでねんざした中国大会の広島商業戦。植 ん、植野の父さんにたくさんの事を学んで、3Pしかない自分をみんな なったけど、宏光、手島、植野、裕喜の四人は一年から出ていて、新チー ました。そして、自分たちの代になって試合にまともに出れるように した。でも先輩に部活の相談にのってもらったり、一対一の相手をして 試合や大会など色々な経験ができて本当に楽しかったです。自分は隠 ム最初の遠征で自分が足をひっぱってる様な気がしてあまり自信があ 令、 三年間の部活動を振り返ってみると練習はきつかったけど練習 自分の

三年間のバスケット生活で 「年間のバスケットボール部に入ってみんなと一緒にバスケットができて本当によかったです。 「年の時は、慣れないせいか何度も辞めようと思いました。それは、 朝五時半に起き、九時頃に帰宅の毎日だったし部活では、外に出て十周 朝五時半に起き、九時頃に帰宅の毎日だったし部活では、外に出て十周 朝五時半に起き、九時頃に帰宅の毎日だったし部活では、外に出て十周 朝五時半に起き、九時頃に帰宅の毎日だったし部活では、外に出て十周 朝五時半に起き、九時頃に帰宅の毎日だったし部活では、外に出て十周	たありがとうございました。
--	---------------

僕もみんなに負けないぞと思いついていきました。たのが友達です。みんな、文句も言わず毎日外に出て走っていました。家族のことを思うと絶対に辞めまいと思いました。特に一番大きかっめました。でも、一生懸命応援してくださった中学校の時の先生、友達

で、やっぱりもっと頑張ろうと思いました。がプレーをしていてもいやな顔ひとつせず一緒にプレーしてくれたので助けてくれたのが友達でした。みんな頑張れと励ましてくれたり僕なっていくことで取り残されたような気がしてきたからです。又、そこと思いました。それは、後輩がうまかったし、どんどんみんながうまくそして、一年が過ぎ二年生になりました。二年生の時も一度辞めよう

そして、三年最後の総体がやってきました。惜しくも一回戦で負けていました。

みんな、離れてしまうけどまた会ったら遊ぼうな。

保護者寄稿

追想と〝北陵スピリット〟に感謝
手 島 勇 人
今想い起こせば、あの一瞬が幹人の芽生えであった。それは、一年生
の夏、三戸杯。長崎西との対戦中のこと。思うように動かない自分がい
て、自分のボールをもぎ取った相手の足をつかんだ一瞬。観戦していた
私は「あっ、テクニカルファール。」と思ったが、転んでも只では起き
ない幹人の根性を観た。
この根性は、一年生の冬、JOTK杯決勝での前半終了間際にえらく
遠くから放った三ポイントシュートに現れた。このシュートは、後半の
追いつき逆転での初優勝へのきっかけとなった。キャプテンとなって
からも、この根性は接戦で勝ち抜いてきた県大会、中国大会、全国大会
など数々の試合で現れた。三年生での希望の進学が決まった後の全国
選抜大会島根県予選では、ポイントガードとしてのリード及びゲーム
コントロール、カットイン、三ポイントシュート、ディフェンスで相手
チームを圧倒した。そして、全国選抜大会では、三年間の集大成とも言
えるビッグゲーム、最高の試合の口火を切る三ポイントシュートに現
れた。いい根性を育てていただいた。
平成十一年一月八日、島根大学教育学部附属中学校での模擬テスト、
最後の結果を見た私は、幹人に問うた。「勉強だけに集中するなら松江
北高。バスケットと勉強共にベストを尽くすなら出雲北陵高、どちらに
するか。」私は、島根県内でバスケットボールに情熱を注ぎ、選手と共
に打ち込める指導者は出雲北陵の松本克己先生であると確信していた
ので、こう問うた。「行ってみるわ。」一夜考えた幹人の目には、附属小

た。 こんな中で初めてのキャプテン。宮城国体でもキャプテンを務めた。 た。 この決意の先には、三年間、毎朝六時三十分発の一畑電車で登校し、 時久には、よい仲間がいた。一つ上の松岡、児玉、飯塚ら、二つ上に は和田、丸亀、山下らと先輩に恵まれた。そして、よく頑張る後輩が一 つ下、二つ下と入ってきて出雲北陵の力強い地響きに似た大太鼓と大 た。 こんな中で初めてのキャプテン。宮城国体でもキャプテンを務めた。 た。

こんな中で初めてのキャプテン。宮城国体でもキャプテンを務めた。こんな中で初めてのキャプテン。宮城国体でもキャプテンを務めたの時代に業に除ったりから私と幹人の関係は、逆転の方向へ動き始めた。卒業前頃になったくると、バスケットボール関係者から「まだまだ父親を越えてはいないよ。」と言ってくれる人を探すのに苦労するようになってきた。でもいよ。」と言ってくれる人を探すのに苦労するようになってきた。でもいよ。

様には大変お世話になりました。親しく子どもの話に花を咲かせるここんなに成長した。中国大会優勝、そして県大会九連覇は、偉業である。産ってボールを追える19㎝の福岡、どんな相手でもシュートを決めるが一ドは良きセンター、良きフォワードによって生きる。あんなに

-59-

とができました。この場を借りて感謝を申し上げます。皆様のおかげで	く振り返ることができます。出雲北陵高校の皆さんや先生方、保護者の
選手が思い切ってバスケットに打ち込めたと思います。	皆さんと出会えて、本当に良かったと感謝の気持ちで一杯です。
ひたむきな心、弛まぬ努力、やり抜く根性は、松本先生と選手らに	皆さんの仲の良さはもう言うまでもありませんが、逃げたくなるよ
よって出雲北陵高校バスケット部の人間として生きて働く〝北陵スピ	うな苦しい時もつらい時もみんな本音で励まし合い、助け合ったから
リット、として後輩に受け継がれた。卒業生の進路は様々であろうが、	こそ乗り越えられたのだと思います。苦労を苦労と思わないひたむき
この三年間で得た無形の精神を大切にし、有形の宝を築いて欲しいと	な心は、皆さんの友達環境の中でごく自然に培われていったのだとつ
願っている。	くづく感心させられました。そして、皆さんは多くの障害を克服して見
	事に目標を達成しました。勝負事ですから、勿論勝ったり負けたりの繰
	り返しです。たまたま勝った試合もあったでしょう。でも皆さんは、常
	に努力を惜しみませんでした。やるべきことをしっかりやりました。素
出雲北陵高校男子バスケットボール部	直で、常に友達のことを最優先で考えていました。だから、いい試合が
卒業生に贈る言葉	できたのです。九連覇もできたのです。結果として勝てた事はうれしい
	のですが、その取り組む姿勢に最大の敬意を表したいと思います。
植野淳一	県内のバスケットボール関係者の中でこれほど北陵が強くなること
Ē	など予想した人はたぶん誰一人としていないでしょう。その理由はい
卒業生の皆さん、三年間本当に良く頑張ってくれました。	くつかありますが、私は皆さんが大器?晩成型であったことだと思い
お疲れ様。そして、ありがとう。	ます。最初に皆さんは中学校時代の中心的な選手であったというよう
今から三年前、皆さんは何をしていましたか。何を考えていましたか。	な事を書きましたが、県内の先生方は松江の生徒を中心に考えていま
バスケットボールが好きな皆さんのことだから、きっと早く高校で部	すので、中学卒業の時点ではそれほど北陵の選手は眼中になかったの
活をしたいなと、四月の入部を心待ちにしていたことでしょう。しかし、	です。しかし、私は、皆さんが入学して間もない頃からぞくぞくするよ
中学校時代は、それぞれの地域で活躍していた人ばかりといっても、遠	うな期待感で一杯でした。チームとしては、ガードからセンターまでバ
距離通学や下宿生活を余儀なくされて、体力はもつかな?さびしくな	ランス良く揃い、シュート力があり、まだすれていない。人の言うこと
るのかな?高校で通用するのかな?など不安な気持ちと葛藤すること	を食い入るような眼差しで真剣に聞こうとする態度を含めて、今後必
もきっと数多くあったと思います。我が家の三年前も、期待と不安が交	ず伸びるチームであると確信していました。強さの秘訣はもう一つ。生
錯し、ものすごく揺れ動いていた時期であったと、今だからこそ懐かし	活力を含めたたくましさだと思います。親元を離れたり、苦労して通学

-60-

「俺は北陵でバスケッ	もずっと応援してゆきます。三年間私達家族に大きな夢を与えてくれ
な。」と自分を叱咤激	いはず。自信を持って未来に向かって挑戦していって下さい。これから
場と上り坂のバスケ	きことをよく頑張ったと思います。君達の夢はまだまだ終わっていな
思い出があります。一	ました。みんな与えられたこと以上の課題を持ってそれぞれがやるべ
を物にする事が出来	か試合に出れない悔しさを自分の胸に秘め、チームのためによく耐え
えます。二人の道は対	をさらに大きくしました。山下、慎平、篤、能力がありながら、なかな
息子二人と歩んだ	田、悩みながらもスタメンと控えを交互にこなしたその努力はチーム
	最後に、手島、藤原、福岡、裕之、本当に上手くなりました。石本、戸
	る方も少なくないと思います。
	変わっていくのと反比例して、私の声のトーンが下がったと思ってい
息子と北陵	て、落ち着いてゲームを進めていました。差し入れの品物が良いものに
	も、最後の方は、ほとんど何も言う事がないほど、選手同士でまとまっ
	島大の監督ということで、偉そうにして申し訳ありませんでした。で
	チームから退くことが残念でなりません。
贈る言葉にかえたい	でいたと思います。まだまだ伸び盛りとでも言ったところでしょうか、
どうぞよろしくご指述	るのですが、皆さんは最後のウィンターカップまで集中して取り組ん
北陵高校の先生方の	慢心・油断・惰性など心のスキからガタガタと崩れてしまうことがあ
子どもたちがこのよ	チームが誕生したと言っても過言ではないはずです。多くのチームは
ボール部顧問の先生	まで強いと言われていた松江勢とまったく違ったスタイルの最強の
た坂本教頭先生をは、	ほど心と体の栄養になったかわかりません。このような環境から、これ
退職を一緒に迎えよ	岡さんをはじめ多くの方に事あるごとに差し入れしていただき、どれ
せず運転手になりき	はしっかり取るように気を使われたと思います。特に、下宿生には、福
いた松本先生、肝臓を	たくましい青年に成長していったと思います。保護者の方も食事だけ
最後の最後に、ご室	けは自分でやらなければという責任感が養われ、図太さも兼ね備えた
て本当にありがとう。	することによって、人から助けられときの感謝の気持ちを基に、これだ

# 息子と北陵バスケット

### 山下幸美

は北陵でバスケットをやって良かった。」と三年間の思い出を語っ」と自分を叱咤激励しておりました。「ここまで来たらやめられん比があります。一方弟は、県大会、中国大会を制覇し、全国大会出にする事が出来ず、「優勝」という文字には手が届かなかった苦いなす。二人の道は対照的で、兄は栄光を目の前にしながらもチャンスな子二人と歩んだ北陵バスケットの五年間を振り返ると感無量とい

る 輩のバスケットを返り見るとき、 タートラインを得ることができました。支えてくださった皆様方に深 多くの皆さんとの出会いの中で、たくさんの忘れられない思い出を いるんだ。」と判り心の中は、曇りのち晴れとなりました。その後、数 いるから仲が好いんで。」とさりげなく言ったことばが「息子を支えて いしぐさの変化に、感じるんですね。あるとき「一人ずつが認め合って だことと思います。口に出して言うことはありませんでしたが、何気な 敵なしの強い地位となる中で「自分は?。」と自問自答を繰り返し悩ん ケット生活が始まりました。早朝から夜遅くまで文武両道の出雲北陵 と決意し進学を決めました。胸を膨らませ、やる気いっぱいでのバス てくれました。今二人に、一言であらわすなら「ありがとう、よくやっ 少し早く現役のときわかっておくべきだった。」と、今、生き生きと社 く感謝を申し上げます いっぱい作ることができました。有難うございました。 なったり、時には分流となり決心が揺らぐこともありました。チームが 高校生徒に変身しました。決意は流れのなかで濁流になったり、急流に た。」と誉めてやりたいと思います。 か、見つけることができるのではないかと思います。 会と向き合い、闘っている先輩の思いを贈りたいと思います 今 先輩達が築き上げたチームワークの大切さ、ひとりひとりを思いや 又、「なぜここまで勝ち続けることができたのか。」とこれまでの先 最後に、部員の皆様に、北陵バスケットの『ひたむきな心』を「もう 「僕は出雲北陵高校でバスケットをやりたい。 ぜったい頑張るから」 認め合う心の寛大さと精神力の強さを軸に、頑張りと勢いのある 旅立ちの時、 一本人の決めた進路が定まり、目標に向かって進むス 自分達のバスケットに何が必要なの

カップ予選での松江商業戦での大逆転は感動しました。又、 バスケットボールの虜になってしまいます。一年の冬にはウィンター 護者の方から聞きびっくりしました。それからは応援に行き始め私は す。ラッキーで入学後一ヵ月位で試合に出ている事をほかの学校の保 配でなりませんでした。一日入学で初めて松本先生の顔を拝見して、 断しましたが、バスケットの経験が少ないのと、それに下宿する事が の頃正直バスケットに興味はありませんでした。それに下宿するとの れしく思うと共に三十数年前の青春の想いを味わさせて戴き子供達 大会五回、県大会九連覇、 江東校に勝って初優勝。次の年のJOTK杯と二年の高校総体など全国 の後半には試合に出られるといいな、と話して帰った事を想い出しま 事、私達は反対でした。しかし本人はどうしても行きたいと言うので決 高校に行ってバスケットボールをやってみたいと言うのです。 本当にびっくりしました。それはなんと言う学校か、と聞くと出雲北陵 の正義感あふれる話ぶりを心強く思いました。入学式後に私は二年生 三年前のある日、突然に出雲の学校に行きたいと言うのです。私共は 又昨年の宮城国体に出場させてもらい大変う 決勝では松 私はそ そ

今後の、出雲北陵バスケットのご活躍をお祈り申し上げます。

「見せるバスケット。」を期待しています。

#### 想い出

#### 岡 多 喜 夫

福

-62-

松本監督、泉コーチに感謝の念で一杯です。保護者同士の親睦も一致団	与.
結し素晴らしい集団でした。又、水谷校長先生はじめ副校長先生、坂本	俋
教頭先生、諸先生方には心強い励ましなどの御言葉を頂き有りがとう	L
御座居ました。私は本当に出雲北陵高校に入学させて頂き良かったと	<i>t</i> -
思いました。文武両道の教育方針にこれからも多少なりとも応援して	L)
いきたいと思っております。ひたむきな心をモットーの北陵バスケッ	
トボール部を心より応援いたします。	ĥ
最後に出雲北陵中学・高等学校の益々の御発展を祈念いたしており	tr
ます。	*
	氺
	tr
	ŧ,
私達の宝物	良
	7:
清 水 (繁・純 江	- え
北陵へ入学が決まった時、遠方でその上、各地区からバスケットの選	<i>†</i> -
手が沢山集まっておられる中、果たして三年間やっていけるのだろう	ĥ
かと内心不安でした。それでも、本人には「お母さんもお弁当作りがん	$\star$
ばるから、あなたも三年間頑張ってよ。」と約束したのが、つい昨日の	
事のようです。	ž
遠方への通学・慣れない学校・きつい練習くたびれて帰り、食	<i>t-</i>
事をして、お風呂に入るのがやっとの生活でしたが、少しずつ慣れてい	田
く篤をいつも心の中で応援していました。初めて、試合を見に行った時、	Ь
マネージャーという仕事をもらい試合に参加していましたが、自分に	在

**はかった親の方とも話ができるようになりましたし、岐阜・東京・熊** 帰ってから、精一杯誉めてやりました。「あなたは、縁の下の力持ちだ」 ~があってこそ、がんばってこれたと思っています。 篤にとっても、私 午当にありがたいことです。 にようです。 部活のみんなから、 残るように勧められたり、 助言をも J一緒に続けて欲しかったのですが、本人は総体までと心に決めてい **ベ感じられるようになりました。親は、ウィンターカップまでみんな** なくてとても気持ちいいよ。」と自慢をしていました。又、篤自身、家 2、挨拶の良さ。 私の周りの人達には、「北陵のバスケット部は、挨拶が はが大好きで、試合の時に会えるのがとても楽しみでした。何といって そしかった思い出は忘れられません。私は、北陵のバスケット部のみん 年といろいろな所へ出掛けることができました。バスの中、ホテルでの ういました。みんなでひとつになって応援することによって、全々知ら いました。 にのを聞いて、いい人間関係ができているんだなーと、とても嬉しく思 」。すると篤は、「レギュラーの人もみんなもそう思っとるで。」と言っ ったりしたのですが、これも篤なりに考えがあったのだと思います。 も挨拶、言葉使いが良くなり、日々成長していく我が子に頼もしささ 先生、バスケット部のみんな、保護者のみなさん、いろいろな人の支 バスケット部に入っていた御蔭で、親も随分楽しい思いをさせても

うえられた仕事を一生懸命に熟している我が子を見て、涙が出ました。

+間をばねに自分の夢に向かって大きく羽ばたいて下さい。そして、何-部のみなさん。それぞれみんな違う道を歩いていくのですが、この三心っています。みなさん、本当にお世話になりました。そして、バスケッんち夫婦にとっても、バスケット部での三年間は一生の大きな宝だとんがあってこそ、がんばってこれたと思っています。 篤にとっても、私先生、バスケット部のみんな、保護者のみなさん、いろいろな人の支

-63-

四月から新しい生活が始まり、一緒に下宿する皆さんは声を掛け式まで、どんな仲間が居るか分からないままで不安だったと思います。入学が決まり、一日入学の時、熱が出て出席することが出来ずに入学の度もく\繰り返し言い聞かせ納得した上で行くことに決めました。入ったとしても記名にどれたけ出られるかも分らない言と同じことを	べったこうであたこうですからからからないまで見たことでルが違うからベンチに入ることも出来ないかも知れないヨ、もしこれが三年間の始まりであり、正彦には出雲北陵高校へ行ってもレ	思いお会いし話を聞き、先生にお任せすることにしました。 松本先生 (監督)に一度お会いしてから結論を出しても良いのではとた。	チャンスだったのでしょう。もう気持ちは北陵高校に決まっていましでも正彦にとっては嬉しいことであり、自分の力を試せる絶好のだろうと思い親としては反対でした。	べっこう かだい かんざい かいだい ほっこう かいせいせい アイ 本 まゆみ 早いもので、もう三年が過ぎようとしています。 石 本 まゆみ	想 い 出	さい。三年間ありがとうございました。かにつまずいた時には、支えてくれる仲間がいることを思い出して下
とは良い想い出になりました。初自分の目で確めたくて、応援ハスに申込み皆さんと利しくなれたことは良い想い出会う人達と行くのは不安でいっぱいでしたが、最初からいにしました。	い目かり目で進りたことが愛ぐくこれにみ皆をした一番といことうと正彦は無理をしなくてもいいよと言いましたが、どんな大会なの一年生の時、ウィンターカップの応援に行こうと思うんだけどと言	熊本へと色々行くことが出来ました。と優勝する素晴らしいチームとなり、お陰で東京、広島、岡山、岐阜、一年生の時、ウィンターカップ予選で優勝したのを初め、県内で次々	め、試合がある日はなるべく応援に行くよう努めました。生活の様子や試合の様子等が電話の声だけでは表情が感じ取れないたこの頃から正彦の表情に少しずつ明るさが見えて来たようですが、きます」と食く如wそことてした	食べる時、一番感心したのは高校生にしては皆んなが揃ってから「頂顔を見ると、今度は何を作ろうかなと考えるのが楽しくなりました。の方が楽しみの一つになり、下宿の皆んなが美味しそうに食べているて行く様にし、何にしようか、なるべく季節感のある物を考えたり、親	半かけて出雲通いが始まりました。下宿の食事がない時に食事を持っこのままではいけないと思い二学期頃から、月に一度位はと、二時間て来ました。    に帰って来るので、ホームシックになったのか?練習のことで悩んで	最初は下宿へあまり行かない様にしていましたが、練習が休みの度合って仲の良い姿を見て安心しました。

-64-

菅
泣拏の公は七とど刀の者七と与こよ、この三月司に自事或をドレニ
えてほしいと思います。
をすることでしょうが、でも貴重なこの三年間の経験を生かし乗り越
これから長い人生、まだく、楽しいこと、苦しいことなど色々と経験
ではないでしょうか。
下宿生活で仲間と一緒だったお陰で、三年間を頑張ることが、出来たの
離れて暮らすことで親も正彦も色々な面で勉強になりました。また
ことが出来たように思います。
バスケットを通してこの三年間、親としては張りのある毎日を送る
協力して頂いたことを感謝しています。
れたり理解して貰うのも大変でした。でも多くの人に励ましの言葉や
願いすると「バスケット?北陵高校?」とか、ライバル校だからと断ら
ましたが、回数を重ねる度に段々と頼みにくくなり知り合いの人にお
正彦の同級生の家を一軒〳〵廻り、何とか一年目は協力をして頂き
いため難しいものがありました。
ケットで寄付を集めることは、今まで無いことであり地元の高校でな
大会出場の寄付を募ることが一番、苦労しました。石見地区ではバス

## 三年分の喜怒哀楽

#### 清水 恵美子

その間、喜怒哀楽に満々た日々を過ごしました。長男が出雲北陵高校に入学してから早三年が終わろうとしています。

をたくさん飲ませてもらいました。すべんち親は影でささえることしか出来ませんでしたが、勝利の美酒す。私たち親は影でささえることしか出来ませんでしたが、勝利の美酒して何よりもチームメイトの良さがあってこその勝利だったと思いままず、喜ばしい出来事は、バスケットボール部の県内大会九連覇です。

でもわかりませんが最後まで頑張ってやり遂げました。でもわかりませんが最後まで頑張ってやり遂げました。私が言ったのは、高卒の資格はあった方が良いと言うことと、本気で止めるなら自分の気持ちを先生に話しなさいと言うことと、本気で止めるなら自分の気持ちを先生に話しなさいと言うことと、本気で止めると言ったことでしょう。始めのうちはハラハラドキなのに何度止めると言ったことでしょう。始めのうちはハラハラドキ

子供にとっては三年間苦しい事や楽しい事を共にわかち合った九人のですが…。でも一番の哀しみは、せっかく知り合えた方々との別れです。供の心の内側に入り込むことを恐れて見て見ぬ振りをしてしまったとし、いた時に親として少しも力になれなかったことでしょうか。子

この三年間を取り戻すことは出来ないし、これからの人生に三年間で 下さい。これからの皆様の活躍を大田の町からお祈りしています。 わけですが、急がずあせらず、一歩一歩大地に根をはって、この三年間 感じた喜怒哀楽を生かして行ってほしいと心から祈る⑧母です。 重ねるごとに忘れて行く悲しさ…。 でも更に年令を重ねるときっとこ たことも楽しかった事です。他にもたくさんあったはずなのに年令を 長先生をはじめ、副校長先生やその他の先生方とも親しくお話し出来 リしたり、少々ミーハーになってしまいました。でもとても貴重な体験 仙台、洛南、北陸etc…、それぞれ試合を見てウットリしたり、 ガッカ ろん応援が主ですよ。雑誌で見たことのある有名校の選手達、 仲間達との別れ、私にとっては、気さくな父兄の皆様との別れがすぐそ シャーもあるでしょうが、これからも楽しく、真剣にバスケに取り組ん 皆様に感謝と敬意をもっている大人達がたくさんいた事を覚えていて ます。もちろんこれからの人生の方がより大変だと思いますが、九人の があったから今の自分があると思える人生にして行ってほしいと思い 日を大切に過ごしてほしいと思う気持ちが強くなります。もう二度と の三年間のことを楽しく、なつかしく思い出すことでしょう。 をすることができて北陵のバスケ部員に感謝々です。貴重と言えば、校 くおいしかった。岐阜、熊本と二年連続で家族旅行兼試合の応援、もち こまで来ている事です イナリーの常連になってしまった保護者会、焼肉もワインもこの上な そして、新たに北陵バスケットを支え、引き継ぐ後輩の皆様、プレッ 卒業と言う文字が現実になりつつある今日この頃、子供には、一日一 楽しかった事を上げれば切りがありません。優勝のたびに祝勝会、 最後になりましたが、九人の同志がそれぞれ別々の方向に歩き出す 能代工、 ワ

で行って下さい。期待しています。ありがとうございました。

# 三年間に思いを寄せて

#### 藤原夫季子

にとっても宏光にとっても密度の濃いものでした。の三年間も"アッ\*という間でした。しかしこの"アッ\*という間は、私高校の三年間は「アッ」という間に過ぎるとよく言われますが、北陵

春₅を感じつつ、バスケットonlyでいいのかな?と少し不安も感じ されから三年たち、可愛らしさを残しつつ、逞しく成長した子供達に た。これから部活で疲れて帰ってから毎日洗濯をし、お風呂掃除をする た。これから部活で疲れて帰ってから毎日洗濯をし、お風呂掃除をする た。これから部活で疲れて帰ってから毎日洗濯をし、お風呂掃除をする た。これから三年たち、可愛らしさを残しつつ、逞しく成長した子供達に 羨望を感じつつ、嬉しく、頼しく思いました。冷たい雨の降る日でした。 あれから三年たち、可愛らしさを残しつつ、逞しく成長した子供達に うです。一にバスケット二にバスケットfoolになりかねない我子に、\*青 がスケットonly、バスケットfoolになりかねない我子に、\*青 れるくして若さ、ひたむきさ、どれを取っても今の私には羨ましい限 しです。一にバスケット二にバスケット

分	保護者の皆様、ありがとうございました。りかとうこさいました
) ま	)ダュンヴラ゙ュヘ ミン ド。
1	最後になりましたが、校長先生、教頭先生、松本先生、泉先生、北陵
合	ケットをした事を忘れずに、各々の道を歩んでいって欲しいです。
な	これから各々が歩む道が違っても、部員全員が "ひたむき" にバス
あ	な事だと思います。
さ	成果だと思っています。これからバスケットをやっていく上でも大切
も	事、人の事を少しでも考える事が出来るようになった事、これは大きな
理	様の暖かさ、やさしさを知りました。そして、それなりに自立が出来た
る	釜の飯を食べた仲間は、一生の友になると思います。そして保護者の皆
ケ	バスケット部の友人達 * 下宿の友 + 三年間同じ屋根の下で過ごし、同じ
	*友達、県内外から多くの出会いを得る事が出来ました。 そして北陵の
親	そして、宏光にとってもたくさんの宝物を手に入れました。まずは
の	い思い出が出来ました。
活	れ出してくれた保護者の皆さん、ありがとうございました。私もいっぱ
ケ	さんの感動、喜びをくれてありがとう!そして、出不精な私を県外へ連
か	追う時の胸の競動、そしてそれを跳ね返し逆転した時の感動、私にたく
	平成十一年十一月ウィンターカップ県予選の商業戦で二十一点差を
	時、バスケットのお陰で、落ち込む暇がない位、振り回わされました。
	ました。ともすれば気持ちが沈んで、落ち込んで落ち込んでいきそうな
	救ってもらったように思います。宏光が中学二年の時、主人が急死をし
	でも私は、宏光に、北陵のバスケット部員に、北陵の保護者の方に
	ています。

大好きな北陵バスケット

植野 美重子

「母さん、ぼく北陵高校に行く!」

税子にとって、最良のものだったことを今改めて実感しています。の種は次から次へと浮かんできました。しかし、あの時の決断は、私達ケットの盛んな高校もいくつかあります。しかも、親元を離れて下宿生から半径一キロメートル内にある高校の数は五つ。その中にはバス裕之が目を輝かせて私達に告げた冬から、丸三年が経ちました。我家

7自身にいくら言い聞かせても涙でかすんでしまうほどでした。7月は○○大会、来月は…我家の行事予定は、この三年間北陵バスケットの何もかもが大好きだったからです。好調の時4年日は、北陵バスケットの何もかもが大好きだったからです。好調の時4日は、北陵バスケットの何もかもが大好きだったからです。好調の時4日となった育英高校との対戦では、最後まであきらめることなくプレロとなった育英高校との対戦では、最後まであきらめることを感じん心を忘れることなくバスケットに打ち込んだ子供達。特に最後の試らした。第四クォーターの途中からは、しっかり見ておかなくちゃと自らった時も、連勝を続け追われる立場となってからも、決してひたむきしく、なった育英高校との対戦では、最後まであきらめることを感じん。なく、東月は…我家の行事予定は、この三年間北陵バス

この三年間を一つひとつ思い浮かべながら、この原稿を書いています。あの日から約一ヶ月。たくさんの素適な出会いと思い出のつまった

私達家族の大切な宝物となったこの三年間。 本当にありがとうござい	そして去年のウィンターカップの一回戦の試合の前は今から試合が
ました。そして、大好きな北陵バスケットの応援をこれからも続けてい	見れるという楽しみな気持ちと、もし佐賀東に負ければこれが最後の
きたいと思います。	試合になるのだという二つの気持ちが入りまじりとても複雑な思いで
	一杯でした。
	しかし、さすが北陵バスケット。三十点も突き離し、私のもやもやし
	た気持ちをどこかに吹き飛ばしてくれました。その日の夜は全国初勝
北陵バスケット	利‼というすばらしい結果に保護者の皆さんと一緒に喜び合いました。
	そして育英との二回戦・・・惜しくも負けてしまいましたが、私にとっ
植野の頃子(植野裕之の妹)	ては今までの北陵の試合の中で一番感動した試合でした。
	もう、兄達の出る北陵バスケットを観ることはできないけれど、今ま
今年のJOTK杯の時、私が友達と体育館の入口で話していると、手	での北陵、そしてこれからの北陵を応援していきたいです。
島さんに会ったのであいさつをしました。すると近くにいた東高の選	私も高校に入ったらバスケットが好きな仲間をマネージャーとして
手が「えー!!!手島くんと知り合いなの?」と私に聞いてきました。 私が	支え、三年後のインターハイという夢の実現にむかってがんばってい
「兄の友達です」と答えると「北陵ってすごいうまくて格好いいチーム	きたいです。
だよね。うらやましい、よろしく言っといてね」と言われました。北陵	北陵のみなさん、本当にありがとうございました。
のメンバーはよく家に来てご飯を食べたり、みんなで話をしたり。私に	
とってはごく普通の事なのに他の人にとってはうらやましい事なんだ	
という事が分かり、改めて北陵のすごさを感じました。	
私がはじめて北陵の試合をみたのは東京であったウィンターカップ	感動をありがとう!
です。残念ながら負けてしまったけど私はあの時。バスケットってすご	
くおもしろいなぇと思いました。その後行われたJOTK杯、中国大会な	植野邦昭・一恵(植野裕之の祖父母)
ど負けた試合もあったけどとても楽しみながら観させてもらいました。	
それだけでなく試合の度に保護者の方と知り合いとてもかわいがって	出雲北陵バスケットボール部の九連覇達成おめでとうございます。
もらいました。一緒に試合を見ながらお話をしたり喜んだり、悲しんだ	さて、私と出雲北陵バスケット部との出会いは平成十一年四月のモ
り。とても楽しかったです。	ルテンカップ杯下関大会でした。本大会には九州地区の強豪チームと、

-68-

監督さん、コーチ陣、選手諸君、一・二年生の応援団の皆さん本当にあまれる。「およしませず甲冑で長します」と、「フィップと雪ンNC
最後こ、臥達こ幸せな侍間と思ハ出を与えてくださつた出雲化凌のの高され那利につれた。尤貴高の話を行した
り高さが券則こつよがった長高り式右でした。
ていた様に思います。北陵の持ち前の速攻と堅い守備がよく機能し観
県決勝戦も完勝でした。私が観戦した試合の中でも、内容が一番充実し
いよいよ、九連覇のかかったウィンターカップが始まりました。その
た。おかげで、今でも暇さえあれば、北陵のビデオを見て楽しんでいま
<b>身内からの要望もあって、 不慣れなビデオを撮るようになっていまし</b>
て、下関から三百キロ余りの松江(出雲)に車で出かけました。その頃
した。裕之の最後の年でもあり、島根県の地区予選には老骨にむち打っ
の行事日程と、ミニバスケット(下関の孫)の予定とで埋めつくされま
平成十三年度に入ると、私達の年間スケジュール表は、島根県高体連
も親しくなり、気軽に応援に参加できる程になっていました。
の追っかけは、その頃から始まったのでした。北陵の保護者会の方々と
平成十二年度に入ると北陵チームは勝ち続けました。私達(老夫婦)
と力強く言われたことが思い出されます。
「一・二年生に素質のある子がそろっていますよ。期待して下さい。」
出来、その時Aコーチは、
んて失礼。この大会初日に、偶然北陵のAコーチと会話することが
た。ましてこのチームが数ヵ月後にウィンターカップに出場できるな
ています。私の第一印象は、お世辞にも強いチームとは思えませんでし
この大会での北陵チームの戦績は確か一~二勝止まりだったと記憶し
これを迎え打つ中国の雄、豊浦高、広島商業の面々が出場していました

活躍される事をお祈りいたします。くれることを願っています。出雲北陵バスケットボール部が、今後益々ると思いますが、見ている人に夢を与えてくれるような選手になってりがとうございました。卒業される三年生はバスケットボールを続け



-69-

に襲われ何度か駅を乗り過ごし、恥かしい思いをしたこと、帰りは電車 と思うと、入学した当初は親子とも気が重くなるようでした。朝、睡魔 拶、きびきびとした態度、高校生らしいひたむきなプレーはどこの高校 からだと思います。北陵バスケット部の子どもたちのすがすがしい挨 何度も経験し、数々の結果を出すことができたことは、先生のバスケッ う偉業を達成してくれました。中国大会や全国大会など大きな大会を り遂げられたのは、バスケットへの熱い思いと、廻りの本当にたくさん したこともありました。過ぎてみれば早いものですが、何とか三年間や した。朝の洗濯物を干しながら、我が家の二階のベランダから遠く見え は笑い話です。「通うことが勉強だね。」と言ってくださる方がありま が駅に着いても起きないので、車掌さんに起こされたりしたこと、今で 時過ぎ、松江から約一時間かけての電車通学、これが三年間も続くのか 弁当を持たせます。帰りは帰りで、練習が終わり、帰宅するのが夜の九 ら朝ご飯を掻きこみ、私は始発の電車の時間を気にしながら、急いでお トを通しての幅広い御指導と、子どもたちの努力とふんばりがあった の方々の支えがあったからだと思っております る幹人の乗った電車に、「今日もがんばって。」と親バカながら応援を そして、すばらしい先生や先輩、仲間と巡り合い、県大会九連覇とい 毎 前五時の目覚まし時計で一日が始まりました。 幹人は半分寝なが 手 島 由美子

にも負けなかった、正に県チャンピオンだと言えるでしょう。平素は遠

くから見守ることしかできませんでしたし、幹人も私には多くは語り

私たちの世界もうんと広がりました。バスケットのことはあまりわか る姿を観戦することが楽しみの一つになりました。 らなかった私も、今では一端の評論家です。高校生が一生懸命プレーす 親密になりました。子どもたちもたくさんの経験をしたと思いますが ませんでしたが、親として、各地に応援に出向き、保護者同士も本当に

北陵バスケットは宝物

ることを楽しみにしています。 部の保護者の一員であったことを宝物にして、これからの子どもたち くなったこと、夢と希望で胸が膨らんだこと、出雲北陵高校バスケット を枯らして応援したこと、何度もバンザイをしたこと、そして目頭が熱 でも忘れないでいてほしいと願っています。私も応援太鼓と一緒に声 と精神力、仲間たちとの絆、そして、いろいろな方たちの支えをいつま す。歩む道はそれぞれ異なりますが、北陵バスケット部で培われた技術 ちます。ひとりひとりの人生に、新しい未来と、可能性が拡がっていま を応援していきたいと思っています。そしてまた皆さんとお会いでき これから子どもたちは出雲北陵高校でいただいた宝物を持って巣立



- 70

と良きライバルとなり、全国の晴舞台。誰でもが経験できる事ではあり 観戦した光景。あなたの、プレーを見ながら、内心ドキドキしていまし す。おじいさん、おばあさん、そして家族全員が、大会の中継をテレビ 離れた大会会場へは、一度も足を運ぶ事が出来ず、少し心残りもありま が出来たか良くわかる事と思います。そして、我々家族も同様に。遠く ませんよ。これから、社会へ出れば、どれだけ自分が、良き環境でプレー たかもしれません。ハイレベルの高校生プレイヤーのチームメイト達 細かったでしょう。今となっては短い様に感じますが、家族としては 変だけど、頑張ろう。」と明日への励みとなりました。 た。知人の方々から、「満をテレビで観たよ。」と聞くと、私も、「仕事大 も、自分をよく見極め、常に向上心をもって取り組めた事と思います。 海の向こうのあなたの頑張る姿を思い続けた年月でした。 意志を貫いた事は、人生の大きな大きなく、収穫です た皆々様方、本当にありがとうございました。 「スタメンの一人」「公式試合でのポイント」それが、あなたの目標だっ これまで十分な事はしてやれなかったけど、今後社会人として、三年 あなたは三年前、バスケットボールに、夢と希望を持ち、 何事も、地味ではあるけれどコツコツと取り組む性格。バスケットで 隠岐の親元を離れての一人暮らし。見知らぬ土地での第一歩。大変心 自らの強い

間で学んだ事を生かし、自分のカラーを大切に、大きく太い人間に成長

して下さい。

卒業にあたり贈る言葉

# ״おめでとう ∉ そして ״ありがとう 〟

高校課程、三年間終了お疲れ様でした。満へご指導、ご鞭撻頂きまし

戸

田

育

美

#### 松 本 Ø か 1)

れさまでした。 三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、三年間 お疲

好きでした。 思い出の一試合です。あの頃からですね、出雲北陵というチームが花開 凛とした姿、会場内で交わす、すがすがしい挨拶、そんなあなた達が大 り、観戦するのが楽しみでした。なによりも、コートに立つあなた達の き始めたのは…。試合ごとに一人一人がうまさを増し、チームがまとま 出雲商業高校体育館での対松江商業との準決勝、今も忘れられ ない

でしょう。本当に喜ばしい限りです。 度、何とも言えない威圧感を感じ、試合を観る前から、ただその存在に 模様のウェアのチームが全国で名をはせていました。彼らの横を通る が、ブルーのユニフォームのあなた達にあこがれ、目標にしていること あこがれを抱いていました。現在、たくさんの小さなバスケット戦士達 まだ私がユニフォームを着ていた頃、ずい分前のことですが、白に赤

ありました。私達夫婦の十二年間の歩みは、出雲北陵バスケット部の軌 響くコート、涙でかすんだその向うに、一つの目標を成し得た夫の姿が まだ感動さめやらぬ駒沢体育館での勝利、 終了のホイッスルが鳴り

なりました。 なりました。 なりました。 「Basketball is my life」と語る彼と人生を共にし

気持ちを伝えたいと思います。 今、あらためてあなた達に "おめでとう \* と心から "ありがとう \* の





教職員から

ごい先生がおられるなあ。」と感じたのが率直な所である。広島でお勤 当 スケットボール部がなく指導者としてのお付き合いはなかったが、私 た赤木努先生である)からお聞きしたのが最初であった。 るいは同じ学年部であった先生 めになる前は、松江市内の公立高校におられた先生であり、「根っから 督が松本先生であった。その時の松本先生の第一印象は「熱血漢」。「す ように審判をすることにしたのだが、その時来られた女子チームの監 ていた。ある日、 ろん、県でも優勝を狙える強豪であり、よく高校とも練習試合をこなし 頭先生のもと、コーチングの勉強をしていた。女子部は松江市内はもち るような形で、現在松江市立湖東中学校に勤務しておられる斎藤隆教 子バスケットボール部の顧問を務めながら、女子バスケットボール部 が進路指導を担当していたため生徒募集に来られた時にお話したり、 年に平田市立旭丘中学校に赴任してからであった。旭丘中学校にはバ のバスケット好き。スポーツ万能の好青年」ということを斎藤先生、あ の副顧問も担当し、午前中男子の練習をしたら午後は女子の練習に出 る。当時私は大学を卒業し、松江市内の公立中学校に勤務していた。男 |時松本先生が高校の大会の審判割りをしておられたので、 その後私は隠岐の中学校に赴任し、松本先生と再会したのは平成四 松本先生に初めてお会いしたのは、もう十五、十六年も前のことにな 広島の中学から練習試合に来られると聞き、いつもの (前任の高校で松本先生の同僚であっ 副校長 水 谷 厚 出雲地区 志

卒業に寄せて

や県大会の折りに声をかけていただいて笛をふかせていただいたりし

を受けた。松江商業高との準決勝での大逆転劇、快勝した松江東高との 男子部は、学園創立90周年を迎えた平成十一年の十一月十四日、県選抜 しやすい環境を作っていただいたおかげと今でも感謝してい が自分のことのように喜んで下さったこともよく覚えている。 ベスト4に入った時、あるいは初めて中国大会に出場した時、 練習方法や戦略、目標としていた中国大会出場や県優勝、そして全国 休暇中もほとんど毎日のように顔を合せ、お互いのチーム・選手のこと ことになった。それからは当然のごとく放課後はもとより、休日や長期 松本先生が男子部を、女子部(正式には新チームから)を私が担当する 勤務することになり、松本先生と同僚という関係になった。また同時に る あり、 決勝戦と、松本監督、 私は当日も所用のため応援に行けず、電話で優勝、全国大会出場の朗報 が好成績を収められたのも、先生に色々アドバイスいただいたり、指導 の夢について語り合ったものだった。女子が初めてシード校を破り県 松本先生の涙は今も鮮明に覚えている ることが出来た。「鬼の目に涙」と言っては大変失礼であるが、あの日 決勝で三刀屋高、決勝で出雲工高を破り、見事初優勝を遂げた場面を見 いていた。会場は確か平田高校だったと記憶しているが、 大会でついに悲願の県制覇を果たした。この年から副校長に就 ていた。その頃松江に住んでいた私は、何度か泊めていただいたことも ベスト8からベスト4の強豪へと、着実にステップアップしていた それからおよそ一年半後の平成七年四月、 平成五年の出雲地区秋季大会、いつものように審判に呼んでいただ 奥様をはじめご家族にも大変なご迷惑をお掛けした思い出もあ 泉コーチ、選手諸君が一体となった素晴らしい試 私自身も出雲北 北陵男子が進 松本先生 陵高 女子部 記任した 校に

63 果の一つひとつが、松本先生がご指導、実践してこられたことの素晴ら 61 練習に励んだ。一般的に顧問が留守の時には、生徒達だけではとかくい くれているかは全く不明である。 た諸君も大勢いる。特に印象に残っているのは植野君と藤原君なのだ あるが、先生ご自身自らがそれを実践しておられたと思う。環境的には 導への信念をもっておられた。その中心にあるのが「ひたむきな心」で く口にしておられたが、松本先生は常に目的と確固たる自分なりの指 しさを物語っている。「こんなチーム、こんな選手に育てたい。」と、よ 実に県内大会九連覇、ウインターカップとインターハイを合せ全国大 が花開いた瞬間だった。その大会以降、平成十三年の県選手権大会まで が、彼ら二人をはじめ、果たして何人が当時の私のことを何か記憶して ル部顧問を務めていたので、 しかお手伝いできたらと思っています。 人間を育てて行って下さるよう願っています。微力ながら、私もなにが れまで本当にご苦労さまでした。そしてこれからも、素晴らしいチーム、 チームを育てられた松本先生には頭が下がる思いがする。松本先生、こ 決して恵まれているとは言い難い本校で、志を強く持たれ、ここまでの 会5連続出場という偉業を達成。またこの間、平成十三年二月の中国新 合だったと聞いた。まさに松本先生のこれまでのご苦労、ご努力、信心 人大会で優勝、五月の中国選手権大会では準優勝に輝いた。これらの結 色んな縁があって本校に集った君達であるが、 次に県大会九連覇の原動力になった現3年生の九名に言葉を贈りた 君達が入学する前まで私は中学と高校両女子部のバスケットボー 中学の大会でプレーを見させていただい みんなは本当によく め

.加減な練習になりがちであるが、みんなは違った。頼れるキャプテン ター、 意外に負けん気が強く、力が入っている石本君。元気よくコートを走り 藤原君。熱い想いを表には出さないが、眼光鋭くシュートを放つ戸田君。 陵の切り込み隊長、副キャプテン植野君。 嫌な笛を吹かれてもいつも礼儀正しい司令塔、キャプテン手島君。 福岡君。 誰にも真似できない、天性のシュートタッチの持ち主 インサイドの要、 頼れるセン

北

でするとは思わなかった。 りをしていた。まさに、真、の仲間だった。(ただ1年の時、 することはなかなかできるものではない。みんな本当にバスケットが 感心していた。自分達だけでモチベーションを高め、あれだけの練習を 取り組んでおり、時々体育館の2階からのぞかせてもらった際、 手島君を中心に、いつも、ひたむき、で手を抜くことなく全力で練習に 好きで、常にお互いが深い信頼とプラス思考を持ち、素晴らしい仲間作 丸刈りにま いつも

にとってはみんな最高のヒーローだった。 こと、二回戦の育英高戦も集大成と言うにふさわしい最高の試合だっ えてもらった。そしてこの三年間の集大成であった昨年末のウイン 戦毎に逞しくなってゆくみんなを感じると共に、たくさんの感動を与 る。」と言って下さったことが大変嬉しかった 高校飯塚修先生も観戦しておられたが、試合後「全国ベスト16の力は たという満足感、高校でのバスケが終わった淋しさが見て取れたが、私 伝わって来た。試合後のみんなの涙には、負けた悔しさ、やるだけやっ た。敗れはしたもののインターハイベスト8の強豪相手に一歩も引 ターカップ、佐賀東高戦で悲願の全国一勝をあげた試合はもちろんの 会優勝など多くの勝利の瞬間を見させていただいたが、 この三年間の公式戦の中で、JOTK杯優勝、県総体優勝、 、堂々の戦いぶりであり、観戦していた私達にもみんなの熱い想い 当日は専門部長である矢上 敗戦を含め 中 -国新 人大 が か

-74-

達も、 ないかもしれない人、春からの道はそれぞれ違いますが、いつまでも仲 しい贈り物を残してくれましたね。「北陵魂」をしっかり受け継ぎ、モチ ましたが、林キャプテンを中心とした新チームにも伝統という素晴ら の良い友達でいて下さい。教師としてはもちろん、バスケットを愛する してバスケットを続ける人、就職してもうバスケットを続けることは ベーションの高いバスケットを展開していました。応援に来ていた君 しい足跡を残してくれました。また、先日のJOTK杯を観戦して思い 全国に「出雲北陵」の名前を轟かせ、九十余年に及ぶ本校の歴史に輝か 水篤君。この三年間、 ゴールを奪う清水慎君。よく声を出し、最高のムードメーカーである清 まわる山下君。物静かでプレーも控え目だが、出場すると必ずのように 後輩の頑張りを見て嬉しかったのではないでしょうか。 みんな本当にご苦労さま。中国五県はもとより、

ら後輩の活躍を温かく見守ってやって下さい。 ピリット、フェアプレー、フレンドシップを決して忘れません。遠くか れからの人生に幸多きことを願っています。頑張れ北陵 一人の人間として、私は君達のバスケットに対するファイティングス 平成十四年三月二日、いよいよ卒業の日を迎えます。上級学校へ進学 君達ひとりひとりのこ

> 九 連 「覇達成の主力選手の卒業に寄せて

#### 教頭 坂 本 清 美

ボールを追う、その姿をしっかりと見届けておかなければ、 部以来のモットーである「ひたむきな心」で、最後まで必死の形相で 駄目かも知れない、と思い始めていた。しかし、選手達はそれこそ、 決り、 第三クオーターまではほぼ互角、 ある三年生にとっては高校時代最後の大会であり、しっかり見届けて 歩き回ったが、しかし、今回は違った。当り前のことだが、主力選手で ウィンターカップ出場であり、その度に応援に出掛けたが、一、二回 Ę 勝たせてやりたい!、そして一試合でも多くコートに立って欲 ある。もうこれが最後の試合になるのでは!なんとか勝って欲しい! 故か重苦しかった。兵庫代表の強豪育英高戦を目前にしていたからで 目 おかなければという、言わば悲愴感を持っての応援となった。育英戦は は久しぶりの東京見物気分で、試合の合間にはお台場、赤坂界隈やらと 伏せ、全国大会初勝利を上げたその余韻が残る朝ではあったが、心は何 の経過とともに点差は開くばかり、残り二分余りで、20点差、 てるチームが精神的に優位に立つのは当然のことである。そして時間 まだまだ大丈夫!と自分に言い聞かせてはいたが、僅差でもリードし が光っていたが、この試合では藤原選手の3ポイントが面白いように 平成十三年十二月二十四日、 頭が熱くなってきた。選手達には済まないが、心の中では「もういい いわば祈りにも似た気持で選手の動きを追っていた。三年連続の 第四クオーターを迎えた。とにかく立ち上りさえうまく乗れば 前日の佐賀東高戦を圧倒的な力でねじ 前日の佐賀東戦では植野選手の活躍 想いは複雑 ああもう じい 創 . Ħ

ルスコアになるのも稀ではなかろうか。
りする、力の差を見せつける試合であった。優勝戦が百点ゲームのダブ
ファンに、"よく見とけ!"と誇って言いたくなるような気分がすっき
のJOTK杯は、伝統校松江北高との対戦であったが県内のバスケット
の思いで勝ち上った試合も忘れられない。それにひきかえ十三年一月
三回戦だったろうか、三刀屋高と対戦、同点のまま延長に入り、やっと
原選手のスリーで勝利を確実にした場面、同じ年の県選手権大会では、
後半は一進一退の攻めぎ合いの中、終了一分前ぐらいだったろうか、藤
シュートが決ったと同時に笛が鳴ったのを今でもはっきり覚えている。
ばなしであったが終了間際に放った手島選手の3ポイント、 あの時は
シュート、十二年一月のJOTK杯決勝では松江東高に前半は追されっ
選手権、準決勝対松江商業戦は残り5秒前の福岡選手の苦肉の逆転
ば、忘れられない名場面ということになろうか。平成十一年十一月の県
利もあったが、手に汗握る紙一重の勝利もあった。今にして思い起こせ
そもそも、県内大会九連続優勝という偉業は、勿論余裕を持っての勝
手にも十分伝わっていたと思うからである。
ることに加え、今度こそ全国大会で初の一勝をという周囲の願いが選
め選手達のプレッシャーは大変なものであったろう。最後の大会であ
感極って我を忘れていたのである。この大会が始まるまでの監督はじ
問の泉先生さえ声を掛けず、真先にロビーに出てしまっていた。まさに
た方に、お礼の挨拶をするのが当り前である。しかし、松本監督、副顧
東京まで出掛けていただいた保護者の皆さんをはじめ応援して下さっ
感じた第四クオーターが終り、本来なら選手の労をねぎらい、わざわざ
ん、三年間数々の感動をありがとう。早く出雲へ帰ろう」、とても長く
もういい、もう十分だ」と心の中で叫んでいた。「長い間本当にご苦労さ

年二回、 部員にも、進む道はそれぞれ違っても人生の友として、生涯変わらぬ 誇りでもある。本校バスケットボール部の黄金期を築いた9名の三年 め上げられ、「それ程でも…」と軽く受けながしてはいるが、秘かに私の ている。近年の話題は「北陵は強いのお」、「北陵はすごいのお」と、誉 しくもあった。あの時のメンバーで地元に残っている7名で、今もって ていたし、3ポイントもなかった。毎日の練習はとても苦しかったが楽 ていた。あの当時は、今の用語ではトラベリングをキャーリングと言っ けたように思う。それは、 チームワークであって欲しいと思う。 ておらず、校庭の一角で時には泥ん子になりながらボールを追っ掛け ケットに夢中になっていたことにもよる。当時は体育館などまだ出来 たこともあるが、およそ半世紀も前、私が中学生の時、 そもそもバスケットボールの公式戦は、ほとんど全試合応援に出掛 盆と正月に集まって一杯やりながら当時を懐かしく語り合っ 創部当時、松本監督の元で副顧問を勤めてい 部活動でバス

たのだろうか。また、いつのことだか年号はよく覚えていないが、私が中・高ともに午前中授業で、午後は応援に出掛けなさい、ということだった。私は昼食を終えると、すぐ一度家に帰り、当時小学生だった子だった。私は昼食を終えると、すぐ一度家に帰り、当時小学生だった子だった。私は昼食を終えると、すぐ一度家に帰り、当時小学生だった子さんが出場しておられたことを後で知った。二階席から、島根県チームも見たし、バスケットボール成年男子決勝では、手島君、槙野君のお父さんが出場しておられたことを後で知った。二階席から、島根県チームで陸上部を指導する別所(大国)美喜子選手の1500m優勝の瞬間も見たし、バスケットボール成年男子決勝では、手島君、槙野君のお父で陸上部を指導する別所(大国)美喜子選手の1500m優勝の瞬間も見たし、バスケットボール成年男子決勝では、手島君、槙野君のおく

-76-

だろうと予感した。初めて試合の応援に出掛けたのは県選手権大会で く申し訳けなかったが、帰り際十分程でもと思い、毎日練習を見せても 顧問を引受けたことを昨日のことのようによく覚えている。当時は総 出掛けた自分を恥た。これは、 選手が代役をしていたが、ベンチからは耐えず「ヒロ走れ!ヒロ帰れ はずのキャプテン矢野選手がケガで出られず、普段は控えの石田浩子 大社高校で行なわれた、対情報科学高戦だったと思う。センターに入る た。その練習の厳しさに驚くと同時に、近い将来必ずのし上がって来る しておいて欲しいと言ってるよ。」ということだった。バスケットは嫌 先生はバスケットの指導ができるらしいよ。すぐにでも高体連に加盟 と思う。校長先生から「今度四月からウチに来ることになった、国語 練習試合に出掛けた。到着したのは8時を回っていたと思うが、体育館 立つ程寒い日だったが、当時県ベスト4入りを果していた矢上高校へ バスケットボール部のアッシー君をしている時のある日曜日、霜柱が らっていた。時には椅子に坐ったまま、ついウトウトと居寝りをしてい 務部に所属し、学校行事、入学試験と結構忙しく体育館に行く時間がな !」と大声で叫び続ける松本監督を見て、カメラを肩に暇つぶし気分で いではなかったので、放課後時々体育館の二階から練習風景を見学し 力の差はさほどでもないと知ったのは収穫だったように思う。 議な縁だな、と思っている。試合は勿論北陵チームの惨敗で終ったが、 ムの監督を務める篠原勝利先生がいたことを、これも後から知り、不思 心したことがあった。そのチームの主力メンバーに現在本校女子チー はすでにきちんと準備されており、さすがに強いチームは違うな、と感 あれは松本先生が本校に入ることが決まった平成元年のことだった しっかり支えなきあと強く感じ、快く副 の させたのだろう。見つけた時は、フロアに下りましょうと誘っていたが れた。チームの勝利とご主人の勝利を願う。いたたまれない気持がそう 引き、きまってあまり人目に付かない二階席の隅の方で応援しておら

斐川西中から安部選手達が入ってきた頃からである。松本監督の指導 これは案外強いチームになるぞ、と感じたのは、大田 連れて病院へ走ったことも二度や三度ではない。そうこうするうちに 単に移動できたが、それだけに毎日の練習はきついの一言で、スリーメ 7、8名しかいなかったので、練習試合に行ったりするのは車二台で簡 応援に来てもらった。一番下の子供さんを背に負い、2人の子 の下る思いがする。勤め、さらには子育ての傍ら、寸暇を惜しんで必ず 得し、誇りに思ってもらえることだろう。一方奥さんの内助の功には頭 きな大会で、ベンチで総指揮をとる父親の姿を目の当りにし、きっと納 ろう。しかし、県内大会ではずっと勝ち続け、さらには全国大会など大 父親不在で、一緒に遊びに出ることもなく寂しい想いをされたことだ の子供さんにとっては、連日夜も遅く、土曜、 のだと思う。 された。出雲市内はもとより、松江、大田、遠くは広島まで出掛けて行 も、いよいよ熱をおび、 ン、一対一と休む間もなく、過呼吸になる生徒もしょっちゅう、 人達がある。それは松本監督の奥様をはじめ、家族の存在である。 在が知られるようになったのは、私が部を離れてからであり、皮肉なも たことを覚えている。しかし、県内で北陵高校バスケットボール部の存 たこともあり、選手に怒られてしまったこともある。なにしろ部員数が 今日のバスケットボール部の活躍を語るうえで、忘れてはならな お蔭で土曜、日曜もなくお付き合いを余儀なく 日曜は当然のことながら 一中から楫、 供の手を 選手を 松原 3 人 1)

オギャンレギー 存まいフミニ いえし こうしこ しナス シ 万一二年 0
お母さんこも、本凋よ万全でよなハ、と聞ハてハたが、平龙十二年の
うされるだろう。
ゼントして欲しい。それぐらいは当然だろうし、他の監督なら、多分そ
念して、ミンクのコートでも買って奥さんに感謝の気持を込めてプレ
!**歩いた!* *キレロ!*の組合せだろう。彼には是非この偉業を記
い彼のことだから、寝言もきっと試合中と同じ。帰れ!。、3秒!3秒
の力には、敬服と感謝の念を禁じ得ない。バスケットのことしか頭にな
バスケット一筋の主人を支え、勤め、子育て、家事とやり遂げられた蔭
を達成されたことは、家族にとっても大きな誇りだと思うが、とにかく
聞いてくれない。県内大会九連続優勝など、かつての記録にもない偉業
てば祝い酒、負ければやけ酒、その度に随分厳しく言ったが、今もって
たの家庭にも良いのでは…」と言って、えらく怒らせたことがある。 勝
トラックに乗り、奥さんに学校に入ってもらった方が、学校にも、あな
時の様子を松本先生に話し、「あんたは車の運転が得意だから、長距離
代って、それはそれは見事に選手を動かされ感心したことがある。その
さんは体育教員の免許もあり、バスケットが専門だったようで、私に
全くの素人同然、ベンチで作戦の指示などできるはずもない。幸い、奥
たのだろうと思いつつも、雪の中、車で選手を運んだ記憶がある。私は
に行ってくれ」とのことだった。なんたることを!夕べの深酒がたたっ
んし、体が動かない、済まないが家内を行かせるので、二人で練習試合
ることが決っていたが、当日の朝松本監督から電話があり、「首が回ら
かなかった時だったと思う。ある日の日曜日、大社高校で練習試合をす
奥さんとはちょっとした思い出がある。まだ、本校には女子チームし
遠慮されていた。

いたことは、彼にとっては、良い親孝行だったと言えるだろう。

一昨日、平成十四年二月九日は、鳥取市で開催された中国高校新人バスケットボール大会の応援に出掛けた。女子チームが見事優勝したことを思い出した。あの大会では開代表の男子チームは全て初日で敗退しただけに、去年出場の本校チームがいかに強かったか想像できる。この大会では開代表の男子チームは全て初日で敗退しただけに、去年出場の本校チームがいかに強かったか想像できる。この大会の県予選に出場した本校男子チームも、新チームでの練習は、僅か二週間ばかりで、期した本校男子チームも、新チームでの練習は、僅か二週間ばかりで、期した本校男子チームも、新チームでの練習は、僅か二週間ばかりで、期は良いチームになる予感のする戦いぶりだった。

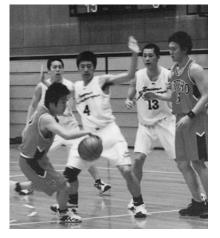
今後の大会が大いに楽しみである

彼等九名が、北陵のユニフォームで出場する姿は、もう見られなく

した。した。とれることを信じ、拙文の終りとします。ありがとうございまの詩りを胸に、どんな困難な場面に遭遇しても決してひるまず頑張りなってしまいましたが、これからの長い人生、どうか高校時代の九連覇
中村 宏子 私達の宝物
の福岡君が授業に行くクラスに居たからです。いつとなく、私が勝手に私とバスケットボールの出会いは、人なつこい手島君と、はにかみ屋
になりました。
練習や遠征そして試合と、家庭学習の時間が足りない分、授業に集中しなぜなら、彼等の授業態度は前向きで一生懸命でした。きっと厳しい
ったのだと思います。そういう彼等の姿勢にも感銘を受けました。もち
でいたのでしょう。松浦先生が高山市へバスケットの応援に行きま
しょうと誘ってくださいました。勝部先生と三人の旅はそれは楽しい
阪、そして岐阜。乗車しているだけで体力消耗です。なにしろ飛ばし屋ものでした。当日は六時出発。鳥取、兵庫、岡山、京都、奈良、滋賀、大
松浦先生の運転ですから、アクセルの踏みっぱなしで、それはそれは疲
れ、サービスエリアでは栄養補給は欠かせませんでした。試合開始には

余裕で高山の会場へ到着しました。

活躍を楽しみにしています。す。楽しい思い出をありがとうございました。みなさまのますますのごす。楽しい思い出をありがとうございました。みなさまのますますのごが、予部の皆さんや保護者の方々と仲良くなれたことを嬉しく思いま選手一人一人の名前と顔は結びつきませんが、これを機会にバス



九車覇の栄光に寄せて	+-
	-
永 見 廣	- +-
男子バスケットボール部の県大会九連覇達成、ほんとうにおめでと	1.
うございます。	
一言で九連覇と言うものの大変価値ある戦績です。この偉業は松本	
監督就任以来、監督自身のバスケット精神であった「ひたむきな心」に	-
よるチームづくりが見事に開花し、日々精進された結果であったと言	
えるでしょう。	L
私自身もこの三年間において数多くの試合を観戦する機会に恵まれ、	$\sim$
多くの感動を味わうことができました。それぞれの県大会決勝戦はも	17/57
とより、特に岡山での平成十二年度中国高等学校バスケットボール新	-
人大会優勝、東京での平成十三年度全国高校バスケットボール選手権	17
大会初戦初勝利、そして二回戦強豪育英高校に全くひけを感じさせな	
いプレーはまさにそこで見る者にとって胸を打たれるような試合展開	2
でした。プレーする五人がしっかりと自分の役割に対し責任を果たそう	11
と常に一生懸命でした。そして選手である生徒諸君が試合が重ねるご	+++
とにぐんぐんと成長し、そして同時に彼らを導く松本監督も勝利の度	1 *
ごとに大きな人物に感じられたのは私ばかりではなかったと思います。	
連勝の主たる要因は何よりもまず部員全員が真面目に日頃から努	HH
力したということだと私は思います。強くなるにはセンスと技術という	.>
ことがよく言われますが、それに固執するチームには早い段階で限界	+24
がきます。特に多感な成長期にある高校生の団体競技ではその気持ち	×.
の在り方が大きくかかわってくるのだと、彼らを見ていて気が付きまし	H+

であるためには本人も多くの苦労や努力があったことだと思います。であるためには本人も多くの苦労や努力があったことだと思います。彼らには普段の学校生活でも清々しさがありました。私は部員全員のクラスの授業は受け持っていませんでしたがそのこた。私は部員全員のクラスの授業は受け持っていませんでしたがそのこた。私は部員全員のクラスの授業は受け持っていませんでしたがそのこた。そしに謙虚さがありました。このことが彼らの真面目さの礎になっていた。彼らにはまずバスケットボールに対する尊敬心がありました。そし

に理解できるというところです。 に理解できるというところです。

**けの気持ちを持って打ち込むか、教えるものはどれだけその気持ちを持って打ち込むか、教えるものはどれだけその気持ちを持って打ち込むか、教えるものはどれだけその気持ちをけの気持ちを持って打ち込むか、教えるものはどれだけが集まってじます。** 

中国そして全国に名を轟かせていくことでしょう。や国そして全国に名を轟かせていくことでしょう。近い将来再び県内、き上げた北陵バスケット精神を引き継ぎ、精進し、近い将来再び県内、背上でた、気がしました。きっとあとに続くメンバーも先輩達が築間は本当に幸せだったと思います。彼らは個々の才能もさておきながよき指導者と巡り合い、志をもって入部したバスケ部員はこの三年

すばらしい体験
椿 英史
まずは三年生の皆さん卒業おめでとうございます。皆さんのお陰で
たくさんの全国レベルの試合をみさせて頂くことができました。あり
がとうございました。
たくさんの思い出があり、どんな事を書いていいのか分かりません
が約二年間、県内で九連覇、中国大会でも久しぶりの島根県チームの優
勝、島根の代表としてミニ国体を突破し宮城国体に出場するなど数々
の素晴らしい記録であったと思います。また、島根のバスケット界でも
記憶に残るチームであったと思います。
今思えば一~二年生の間は、ただひたむきに優勝を目指しプレーし
ていたと思いますが、三年生としてむかえたインターハイ予選、ウイン
ターカップ予選では負ける事ができないといった、とても大きなプ
レッシャーを感じていたのではないかと思います。全国でなかなか勝
てなかったのも、そういった目に見えないプレッシャーがチームや個
人にのしかかっていたと感じました。しかし、最後の大会となったウイ
ンターカップでは、苦しみながらも初戦に勝ったことにより、次の試合
で負けはしたものの、いつも県内の試合で見ているチームの姿だった
と思いました。特にバスケットの経験の少なかった福岡君には大変な
重圧があったと思います。島根では大きなセンタープレーヤーでも全
国にいけば小さなセンターとして、なかなか思うようなプレーが全国
ではできずにいて悔しい思いをしたと思います。僕は福岡君には厳し
いことを試合毎に言ったのを覚えていますが、最後の最後まで粘り強

でも、身近な手本であったと思います。ていたいで、いますです。ほんのバスケットに対する姿勢はとても勉強になりました。中学生にとっしたのではないかと思います。僕もバスケットの指導者として皆さんが、技術的にはまだまだの所があると思いますが、精神的にとても成長僧に三角龍智さんのほとんどの話名と練習を見させてもらいました

切にして欲しいです。

して近い将来、対決する日を楽しみにしています。

-81-

ちょうど体育教官室の僕の席から皆さんの九連覇の記念碑が見るこ	出雲出発は午前6時。普通お出かけといえば、バシッと決めて、それ
とができ、いつも皆さん九名を思い出すことができます。これからも皆	なりの服装でちょっとオシャレに身構えるものであるが、私はいつも
さんのご活躍を期待しています。	と変わらずTシャツに短パン、つっかけ。我ながら完全装備であった。
	前日私は吹奏楽コンクール島根県大会の引率をし、すでに身も心もボ
	ロボロであったが、なぜか次の日に備えてワクワクしている自分がい
	た。疲れているはずなのによく眠れなかった。というよりはっきり言っ
バスケ道中膝栗毛	て寝てない。
	島根、鳥取、岡山、兵庫、大阪、京都、滋賀、愛知、岐阜と9県にまた
音楽コース教諭松 浦 謙	がるドライブは全走行距離ウン百㎞。新車購入から5年目にして早く
	も10万㎞を越えた愛車カロゴンの走りは当時絶好調であった。 もちろ
いよいよ作戦は実行された。泣く子も黙る北陵高校の美女教諭(勝	ん今でもカロゴンは絶好調である。 燃費は常に12㎞/ℓをキープして
部・中村)を両手に花状態でのバスケの応援。出雲から高山まで死を覚	いる。
怡の上、片道キップの遠距離ドライブであった。そもそも言い出しっぺ	片道8時間、不眠の運転は全くと言っていいほど苦にならなかった
は中村。遠くへ行ってみたい。おもしろそう。美女2人が一緒!!??動機	それは何故かと問われれば内緒である。道中、滋賀県多賀サービスエリ
は不純であるが、常に出たがりで刺激を求めて右往左往し、いつも家に	アで北陵の応援バスと遭遇したらしいが私は全く気付かなかった。N
いない私にとっては、スリル満点の企画であり、二つ返事で飛びついた	HK-FMの邦楽番組をボリューム全開大音量、車の窓全開で聞いてい
のは言うまでもない。	たら通行人はカロゴンを避けるように逃げていった。もちろん勝部・中
スポーツ観戦といえば、野球しか知らない私にとって(この年はプロ	村両美女はあまりの恥ずかしさに下を向いたまま、絶対に通行人と目
野球も4回見に行ったのだが…) バスケの応援とは未知なるもので	を合わせようとしなかった…。
あった。日頃音楽コースの授業ばかりでバスケ部員との接触の機会は	試合開始1時間前に会場到着。クソ暑い夏の真っ盛り。会場入り口に
ない。知ってる選手はいないが、まァ彼らのスピード感あふれる頑張り	は無料の缶ジュースが氷水の中に大量に沈んでいた。タダと分かり大
を一目見てみたい。自力で勝ち取った全国への切符、そんなすばらしい	量に飲みまくったのを鮮明に覚えている。
選手がごく身近にいるわけだ。選手から何かを学ばなければ…。バスケ	さて、肝心な試合であるが、私はバスケの試合をこの年にして生で初
も集団競技、吹奏楽だって集団演技。何か共通するものがあるのではな	めて見た。北陵は一回戦で負けはしたが、選手諸君の最後まで絶対にあ
いか、という期待感もあった。	きらめない、ひたむきなプレーに大きな感銘を受けた。夏の盛り、日差

-82-

のフレーズが頭の中をグルグル回って離れなくなることがある。メガのフレーズが頭の中をグルグル回って離れなくなることがある。メガしの入らない体育館とはいえ試合中はかなりまで、関係諸先生方に心から敬意を表したい。 松本先生をはじめ、関係諸先生方に心から敬意を表したい。 松本先生をはじめ、関係諸先生方に心から敬意を表したい。 とれをとっても全国に通用する選手をここまで育て上げられた 松本先生をはじめ、関係諸先生方に心から敬意を表したい。 との入らない体育館とはいえ試合中はかなりきつかったであろう。常

焼き付いた。

焼き付いた。

なな応援形態を垣間見た気がする。



出会い

篠原勝利

「一年目」「一年目」

初めて彼らが出場している試合を観たのは、4月の中国選手権県予初めて彼らが出場していた姿は、今でも覚えています。「二年目」

岐阜インターハイでは、山梨県の甲府西高校と対戦し、どんな試合にな大会での彼らの戦いぶりを早く見たいと楽しみにしていました。初のに向上心を持ち、県内の大会では次々に優勝しました。中国大会や全国一年目に比べ、落ち着きが出てきて成長した姿が見て取れました。常

ます。少々相手にリードされても逆転するんではないかと観ていて思
一回戦の佐賀東戦では、三年間の集大成ができた試合だったと思い
こそ全国で初戦突破してくれると確信した内容でした。
ナームを寄せ付けることなく、全試合100点ゲームで優勝しました。今度
ました。実際に高校生最後の大会である選手権大会県予選では、県内
よく勉強し、経験を積み、本当に素晴らしいチームになったなと直感し
を出されず、選手達自身が動きを分かっていたのでした。バスケットを
する攻撃の手本のようにシンプルに攻め崩しました。松本先生は指示
思っていましたが、またも予想が外れました。ゾーンディフェンスに対
した。相手チームも素晴らしく、なかなか攻撃できないんじゃないかと
スはゾーンディフェンス。どのように攻撃するのか楽しみにしていま
然違ったように思いながら笛を吹きました。相手チームのディフェン
までにも多くの練習試合の審判をしてきましたが、この試合だけは金
台での事でした。相手は県外のチームで、私はその審判をしました。今
いチームになってきたなと思いました。そう思わせたのは、ある練習試
中国大会や全国大会など数多くの試合を経験しその実力は本当に強
「三年目」
優勝を果たしました。
新人大会に於も、何か吹っ切れたように北陵バスケットを展開し、見 <b>事</b>
レッシャーを跳ね除け、堂々の2年連続の優勝を飾りました。続く中国
ナームになって初めての県高校新人大会では本命視された中で、プ
しかし、全国で数多くの事を学んだんではないかと思います。彼らの
抜優勝大会でも北陵のバスケットがさせてもらってない気がしました
さ、特にディフェンスの当たりの違いを感じさせる試合でした。次の選
るか楽しみにしていました。結果は負けてしまいましたが、全国の厳し

やって来たことが全部出し切れたように思いました。本当に素晴らし 晴らしいプレーの連続で、負けはしましたが、自分たちが三年間信じて じさえします。観ていて面白く、また高校生らしいはつらつとしたプ シュートをきっかけに逆転しました。何かやってくれそうなそんな感 いました。第一Qの開始五分は10点リードされましたが、藤原君の3P い試合でした。 レーで気持ちがいいなと感じます。最後の試合となった育英戦でも素

「最後に」

きく、たくましくなったなと思います。 気を良くしてくれ、助かりました。一年生の時から考えると、本当に大 したと思います。私が担任をしていた植野君、清水君にはクラスの雰囲 らいました。バスケットだけでなく、生活面でもすばらしい人間に成長 彼らには本当にいろいろな所に連れていってもらい、勉強させても

を作りたい思います。 なく。向上心を持って欲しいと思います。そして私もこのようなチーム 今後就職、進学と進む道は色々ですが、「ひたむきな心」を忘れること

	泉	_	則
早いもので、県内大会九連覇、中国大会優勝、全国大会出場・初勝利	至国大会出	場 •	初 勝 利
を成し遂げた平成十三年度入学生(現三年生)が引退し、卒業を迎えよ	<b>引退し、</b> 卒業	業を	迎えよ
うとしています。私は三年前の平成十一年四月に本校に赴任し、同時に	本校に赴任	Ľ	同時に
男子バスケットボール部の副顧問となりました。この年、入部したのが	この年、入	部し	たのが
現三年生です。この時から試合、遠征等、共に行動をしてきましたが、	動をしてき	まし	たが、
今、改めてこの三年間を振り返り、私が思ったこと、感じたことを述べ	と、感じた	こと	を述べ
たいと思います。			
私が初めて彼らに同行したのは入学後の四月、中国高校選手権大会	中国高校	選手	権大会
県一次予選からでした。今までにバスケットを専門的に取り組んでき	門的に取り	り組	んでき
たわけではなく、試合を見る機会も殆どありませんでした。学生時代、	んでした。	学生	一時代、
個人種目のアーチェリーに取り組んでいた私にとってバスケットとい	こってバス	ケッ	トとい
う競技に新鮮さを感じたことを覚えています。そしてこの頃から様々	してこの	頃か	ら様々
な大会、遠征に同行し、選手と共に行動し、出雲北陵というチームに魅	北陵という	チー	ムに魅
力を感じ始めたのでした。このチームの魅力は選手全員が本当にバス	会手全員が	本当	にバス
ケットが好きであること、礼儀正しいこと、部のモットーである「ひた	セットーで	ある	「ひた
むきな心」の通り、現時点の力に満足するのではなく、常に高い目標を	なく、常に	局い	目標を
もち、向上心をもって練習にひたむきに取り組む点にあると思います	点にある」	と思い	います
この魅力を欠くことなく毎日、遅くまで練習に励み、監督の教えを素直	み、監督の	教え	を素直
に受け入れ、試合を見るたびに力をつけていく様子には毎回驚かされ	(子には毎)	回驚	かされ
たものでした。			
今までの本校の快進撃を語るに欠かせないのがやはり全国高校選抜	かやはり全	国高	校選抜

その後の全国高校選抜優勝大会では北陸高校と対戦し、敗れはした でした。そして創部以来の監督や多くの先輩達が築き上げてきた祭 時でした。そして創部以来の監督や多くの先輩達が築き上げてきた祭 か、思いをも感じることができた大会、優勝でありました。 力、思いをも感じることができた大会、優勝でありました。 力、思いをも感じることができた大会、優勝でありました。 たるの後の全国高校選抜優勝大会では北陸高校と対戦し、敗れはした

去りゆく君たちへ

勝ち得ました。 勝ち得ました。

つけていただき、厚い声援をいただきました。時にはコーチとして選手にもかかわらず、県内大会はもちろんのこと、県外遠征や大会にも駆け者の皆様には様々な方面において大きな援助をいただきました。遠方このような快進撃の裏には様々な人の支えがありました。特に保護

-85-

校戦では惜しくも敗れたものの、大型チームを相手に善戦し、彼らの三 もって練習に励むことにより必ずや次の大会では勝利を勝ち取ってく 感じていたことと思います。しかしこの言葉、この試合の敗北が改めて 互角に戦い、着実に力をつけているにもかかわらず、全国の壁に憤りを 語りました。県内では圧倒的な力を発揮し、県外遠征でも強豪チームと ミーティングで生徒が「四回も全国に出て、こんなに練習しているのに もののまたもや全国の厚い壁に阻まれた試合となりました。この夜の けで集まり、指示の確認をする。お互いに声を掛け合う。ベンチも盛り 清々しい、頑張りが伝わってくる、などと。たしかに必死でボールを追 そして外部からの声をよく耳にします。北陵高校のプレーは見ていて らの声援も後押しをして今の本校の快進撃があったのだと思います。 のも印象的でした。保護者の皆様を筆頭に生徒や先生方、一般の方々か においても試合を重ねるごとに応援の皆さんの人数が増えてきている 的支えとして選手にとって大きな力になったと思います。また各大会 選手権大会では悲願の全国初勝利を成し遂げました。二回戦の育英高 れると確信するミーティングとなりました。そしてこの冬の全国高校 チームを全国での勝利という目標に向けて結束を固め、この気持ちを なぜ勝てないんだろう。応援してくれる皆に申し訳ない」と涙交じりに 勝利への期待を胸に地元の熊本国府高校と対戦しました。善戦はした ポーツマンらしさ、精神面も成長し、誰もが応援したくなるようなチー 上げる。このような姿を目の当たりにし、技術面の向上だけでなく、ス いかける姿、監督の指示をしっかりと聞き、それを守る。また自分達だ ムに成長し、そして頼もしさも感じました。 人一人に指導を、時には遠征の移動の手助けを、なにより生徒の精神 平成十三年夏、熊本インターハイの出場が決まり、悲願の全国大会初

年間の高校部活動を終えました。



-86-

指導者とし ての思い ~ 雜感

顧問 松本 克己	
	はゲ
◆九連覇を成しえたもの◆	時間
多くの人たちが夢を追い明日に希望を持って今日を生きている。か	境 面
なわぬ夢であっても人は夢を追うことをあきらめはしない。しかし、道	よ
半ば挫折するものも多いわけである。そう考えると、彼らの熱い思いは	はだ
ほぼ現実となったわけで、十代でこれほどの成就感を持てたというこ	だっ
とは素晴らしいことであり、珍しいことではないかと思う。九連覇とい	囲 の
う偉業を達成せしめたものは何か。私の思いを述べたいと思う。	の ゲ
	感動
・九人の絆 ~全国大会に出場するにふさわしいチームたれ~	の 目
チームプレイであり、コートに立てるのは五人。つまり九人の三年生	本
がいれば四人はベンチからゲームが始まる。この時点での心の在り方	以上
がチームの強さと大きく関係していると私は考えている。コートに	自信
立った五人の四人に対する思いと、ベンチの四人の五人に対する思い	た。
に、絆がなければ数々の苦しい戦いを乗り越えることはできなかった	
であろう。	
九人がそれぞれに認め合っていたし、人の心を思いやれる人間の集	そ
団であったように思う。技術の差、サイズの差、それはたしかにあった	いた
かもしれないが、人間性の差、バスケットに対する思いの差はほとんど	トに
なかったと思う。これが、このチームの強さではなかったろうか。その	で 本
ことは三年間の練習の中で私が一番感じたことである。部訓の「ひたむ	とを

きな心」。それに忠実にあの狭い体育館の中で実践してくれた。私自身
はゲームで結果が出たことよりも、そのことを一番嬉しく感じている。
時間的にも十分に使えない、狭い、ゴールの数も少ない・・・そんな環
境面での不満を言わず、黙々とやれることをやり抜いた。
よく話しをしたのは全国大会へ出場するということは、強さだけで
はだめであり、出場するにふさわしいチームでなければならないこと
だった。あのチームなら島根県代表として、全国へ出場して欲しい、周
囲の人々にそう思わせるチームになることが最大の目標だった。一つ
のゲームを見た人が、そのチームの普段の姿を想像しうるような、人を
感動させられるようなそんなゲームのできるチーム、それが私の究極
の目標だと思っていた。
本当に全国に出るにふさわしいチームに成長してくれたと思う。今
以上のチームを創ることが次の目標となるわけだが、はっきり言って、
自信が持てない。それほどまでに私の思いを彼らはよく理解してくれ
た。指導者冥利に尽きることである。

## 様々な人たちの支え

|を選択してくださった方。選手の苦労もだが、背後におられた保護者|本校を選択してくださった方。通学に電車で何時間もかけて通うこ・に関わっていらっしゃる人たちの温かい思いだろう。下宿させてま-た校長先生をはじめ教職員の方々、そして、島根県に限らずバスケッそんな彼らを支えたのは、家族の方であろうし、学校でご支援いただ

<u>-87</u>

の皆さまのご努力がなければこの栄冠はつかみえなかったと思う。ま	れとしても
た、保護者会長の手島さんを中心にした保護者会のスクラムは県内随	とつの言葉
一であったろう。様々な面で選手達を助けていただいたことは感謝の	「こうした
念に耐えない。そして、校長先生をはじめ、学校の様々な職員の方にも	たがって、
会場へお出かけいただきご声援をいただいた。またバスケットに関	とってい
わっておられる方からもご支援を賜り、勇気づけられたこともあった。	チーム
	とを常に
・渡辺晴夫先生のこと	チームを創
かつて松江工の黄金時代を築き上げられた名将渡辺晴夫先生。全国	たちも様
制覇も、インターハイ、国体と経験された島根の顔というべき方であ	ことだろう
る。 る。	
先生と初めてお話をさせていただいたのは、平成九年の十一月の県	・彼らの
選手権のゲームの後だったと記憶している。それまでも面識があるに	そうい
はあったが、話をさせていただく機会に恵まれなかった。その時は、	価された
ゲームを見ておられた簡単な感想を伺っただけであったが、随分緊張	として同行
していたように思う。それほど私には遠い存在であった。	た。
そのことを機会に県大会の度に一言二言、忠告をいただくように	
なった。必ず試合を見に来ておられ、そのバイタリティには敬服した。	
今の三年生が入学してきたときから、ふらりと本校を訪ねられること	
が時々あるようになった。時には「一時間ほど時間をくれ、選手に言い	
たいことがある。」といわれ、ご指導をいただいたこともあった。普通	
は、体育教官室でご自分の体験を話して帰られるのが常だった。私はだ	

た。 たのだ」という言い方をされた。私は先生と接触していくにし は絵と同じだ。白いキャンパスにどんな絵を描くかというこ 葉が新鮮で、嬉しかった。「こうしなさい」とは言われず、私は 指導者についたことがなく、我流でやってきたので、ひとつひ 先生の持っておられる器の大きさや、人間的な魅力を感じ

う。 々な場面でアドバイスをいただき、彼らの成長の糧となった 創る上の指導者の心構えを教えてもらったように思う。選手 指導者は考えなくてはいけない。公式試合は発表の場だ。・・・

#### の人柄

行された藤原さんから帰校後、次のようなお手紙をいただい ものだと考えている。全国大会・中国大会にJRバスの運転手 った支援をいただいたのも彼らのバスケット以外での面が評

ばならぬものが何なのか、ということをよく知っていた彼らであった。	りる時、「ありがとう御座居ました」乗車する時、「帰りましく
ではないかと思う。バスケットの技術よりも人として身に付けなけれ	こんでした。そして礼儀が正しく感心しました。
この手紙の中に書かれていることが、多くの人たちに支援された理由	によく守り、他人に迷惑を掛ける行動は一度
	直についていっていると感じました。ホテル内においても、決め
	輩は後輩に先輩面する事なく、後輩を大切にし、後輩は先輩に素
Ţ	ね。先輩、後輩のけじめもあり、良い関係だと思いました。(先
	バスケに対する努力、チームワーク、特に全員仲が良いです
JRバス出雲営業所運転系	徒を観光バスに乗せていますが初めてです)
▶ 平成十三年二月十二日	又、高校生として最高の生徒だと思います。(永年いろいろな生 🤇
して、お祝の言葉とします。 敬 具	又、先生の御家族の理解と協力にも感動するものがあります。
出雲北陵高校の益々の発展をされます事をお祈り申し上げま	しいの一言です。
保護者の皆様の熱心な応援と支援にも感銘を受けました	スケの技術面の指導、生徒と信頼関係によるスキンシップすばら
人生に新しいすばらしいーページを作る事が出来ました。	松本先生の苦労、努力が十年やっと花が咲きました。先生のバ(
した。感謝しております。	はお許し下さい。
皆様との出会いにより、私自身、教えられ、勇気づけられま	私の感激を伝えたく、何十年ぶりにペンを取りました。拙い文(
結果がこの優勝を導いたものと思いました。	ケットボール部の皆様に同行致しました。
の方針、理事長様、校長様、教職員の皆様、関係各位の皆様の	昨年のインターハイ、そしてこの度の中国大会の運転をしてバス(
▶ 松本先生、泉先生、バスケ部員のすばらしさ、これも、学校	私はJRバスの運転手です。
らしい素質がありますが人間としてのすばらしさを感じました。	<i>↓</i> .
)(マナー、エチケットすばらしいです)。バスケの技術もすば	北陵高校優勝おめでとう御座居ます。心から御祝い申し上げま
> た。そして、バスの中で飲食してもいつもきれいな車内でした	この度、高校中国新人戦バスケットボール大会において、出雲
と。」又は「御世話になります」と全員が私に言ってくれまし	拝啓

<u>-89</u>

・異色の指導者と呼ばれて
平成十一年の県選手権で初優勝を成し遂げた直後、県体協の金津さ
んとお逢いする機会を作っていただいた。その席で、「君は異色の指導
者になるな。」と言われた。どういう意味かよくわからなかったが、自
分なりにその後いろいろと考えてみた。まず松江出身ではないという
こと。またプレーヤーとしても実績があるわけでもない。つまり、バス
ケットの世界において認められるものが何もないと言うことだ。平成
元年に広島から藤本先生(現三刀屋高)、伊藤先生(現松江東)、錦織先
生(現松江三中)とともに島根に帰ってきた。その時、島根県のバスケッ
トボールの関係者の私に対する期待はほとんどなかったと思う。
そんな中、松江農林で講師をしていた二年間の出逢いで、何度となく
救われた。飯塚先生、前田先生、真田先生、森山先生、永瀬先生、妹尾先
生たちには、本当にお世話になり様々な面で助けていただき、また育て
てもいただいた。そして、出雲の地では、岩本先生、塔村先生、小村先
生らに温かく見守っていただいた。その他にもたくさんの方にご支援
いただいて出雲北陵というチームは大きくなっていたように思う。
数々の大会、遠征、また審判員として県内外で出逢った人たち。そう
いったものを大切にして一歩一歩階段を昇る毎日だった。自分でも驚
くほどバスケットに対してひたむきであれたのは、やはり選手たちと
の出逢いがあればこそだと思っている。特に広島の三次にいた頃の中
学の女子チームの子供たちには、様々なことを教えてもらった。素人の
彼女たちのバスケットに対する真直ぐな思いに、私は指導者とは何な

なれると今思う。バスケットを通じて出逢った人々が大好きだったかで、素晴らしいチームを創れたことは、栄光こそつかむことはで支まらしいチームを創ればよいのかという指針は、その時すでに私の中た。どんなチームを創ればよいのかという指針は、その時すでに私の中た。どんなチームを創ればよいのかという指針は、その時すでに私の中に芽生えていたと思う。

いたい。

## ・指導者としての思い

だけにとらわれないように生きてきたように思う。かなわぬまでも夢みることこそ尊いのだと自分に言い聞かせて、結果人を動かすものは誠意と情熱だと若い時から思い込んでいた。夢は

えば、忍耐強く思い込めていると、その思いはかなうということだ。そ私の人生の中で初めて自分の思いがかなった今、何を思ったかとい

の思いがかなう大きな要素は本人の精進だけではないように思う。そ
れは何か。私は出逢いではないかとつくづく思う。九人との出逢い、バ
スケットを通して出逢った様々な人々、保護者の方々、校長先生や創部
以来ご迷惑をおかけした坂本教頭先生、そういった人たちによって私
や選手達の未来は開かれたような気がしてならない。勝負の世界だか
らこそ、これだけやれば勝てるという保障はどこにもない。これだけの
成果を収めることができたのは、そういったたくさんの人々に後押し
されたからだ。己の力だけで道を切り開けるほど人生は甘くないと感
じる。
亡くなった河島英伍の「時代おくれ」という歌が好きで二十五歳すぎ
からよく歌うようになって十七年が経つ。「不器用だけれどしらけず
に、純粋だけど野暮じゃなく。」「昔の友にはやさしくて、変わらぬ友と
信じこみ、あれこれ仕事もあるくせに自分のことはあとにする。」とい
うフレーズがお気に入りで、最後に「目立たぬように、はしゃがぬよう
に、似合わぬことは無理をせず、人の心を見つめつづける時代おくれの
男になりたい。」と歌っていると、こんな男になれたらいいなと思い、
何だか、自分の応援歌のようだと思っていた。
自分に似合わぬことは無理をしないという人生観が、私が自分らし
くありたい、自分に忠実でありたいと考えていることが正しいのだと
言ってくれているようで、この彼らとの三年間にも酒場でよく歌った
ものだ。人を信じて裏切られるならそれはそれでいい。また信じてや
る。そう思って生きてきたし、今後もそんな自分でありたい。 何よりも

三月らりがたら。いつつ日いまたらにつければ見いけたいてきるかえられたことは、私にとって大きな喜びであった。 しれば真の絆は生まれない。飾ることなく一人の人間として彼らとまければ真の絆は生まれない。飾ることなく一人の人間として彼らとまうがあり、その瞬間に彼らとの真摯なぶつかり合いがあった。とは、私にとって大きな喜びであった。

らしくコートに立とうと思う。日に九人の教え子たちと、一献かわすことを楽しみに、明日からも自分三年間ありがとう。いつの日か君たちとの日々が思い出として甦る



-91 -

チームにやっとなれたのかなと感じます。バスケットと仲間を愛し最近「北陵バスケット」という言葉を聞くと、そんな風に言われる読んでもらえたら幸いに思います。	。この小冊子をバスケットを愛し、日々精進している選手たちや、彼らを支えた様々な人々の温かい思いが、ちりばめられてアロローで、ストレーク、この調査にしてユミー・レーファの考	とない喜びでありました。こり记念志こは卒業していくも人り恐い守っていただいた多くの方々から、ご寄稿いただいたことは誠にこケットボール専門部委員長飯塚先生をはじめ、卒業生たちを温かく	「九連覇の軌跡」創刊に際して、ご多忙のところ山、安堵しております。	学校のご理解で、このような記念誌を創刊することとなり選手たちと走り出していたと思います。その彼らとの決別に	た。去年の今頃は中国新人大会の優勝の直後であり、次の目標に向けな気配でありましたが、思ったほど雪も降らず穏やかな冬となりまし久しぶりに今年は正月明けに大雪となり、この冬は厳しくなりそう
を お れ る	ちて新していま	热 に か 盟 い こ く ア 見 ス	出 刊 バロ で 、県 き	りまし	に り り そ う

た、たくさんの歴代の選手たちの熱い思いが今のチームを創り上げた

上げます。誠にありがとうございました。 上げます。誠にありがとうございました。 上げます。 はただき、このような立派な記念誌が創刊できたことにお礼申し上げまただき、このような立派な記念誌が創刊できたことにお礼申し上げまただき、このような立派な記念誌が創刊できたことにお礼申し上げまただき、このような立派な記念誌が創刊できたことにお礼申し上げま 編

集を終えて

出雲北陵高等学校 松本 克己

平成十四年二月十四日